0052137001

0052137-001

２９２－８２

長岡高等工業学校一覧

長岡高等工業学校・編

長岡高等工業学校

昭和２至３年－昭和１０至１１年

昭和２－１０

AHN

292
82

長岡高等工業學校一覽

自昭和2年
至昭和3年

292
別庫
82

長岡市全圖

校寄贈本

長岡高等工業學校一覽

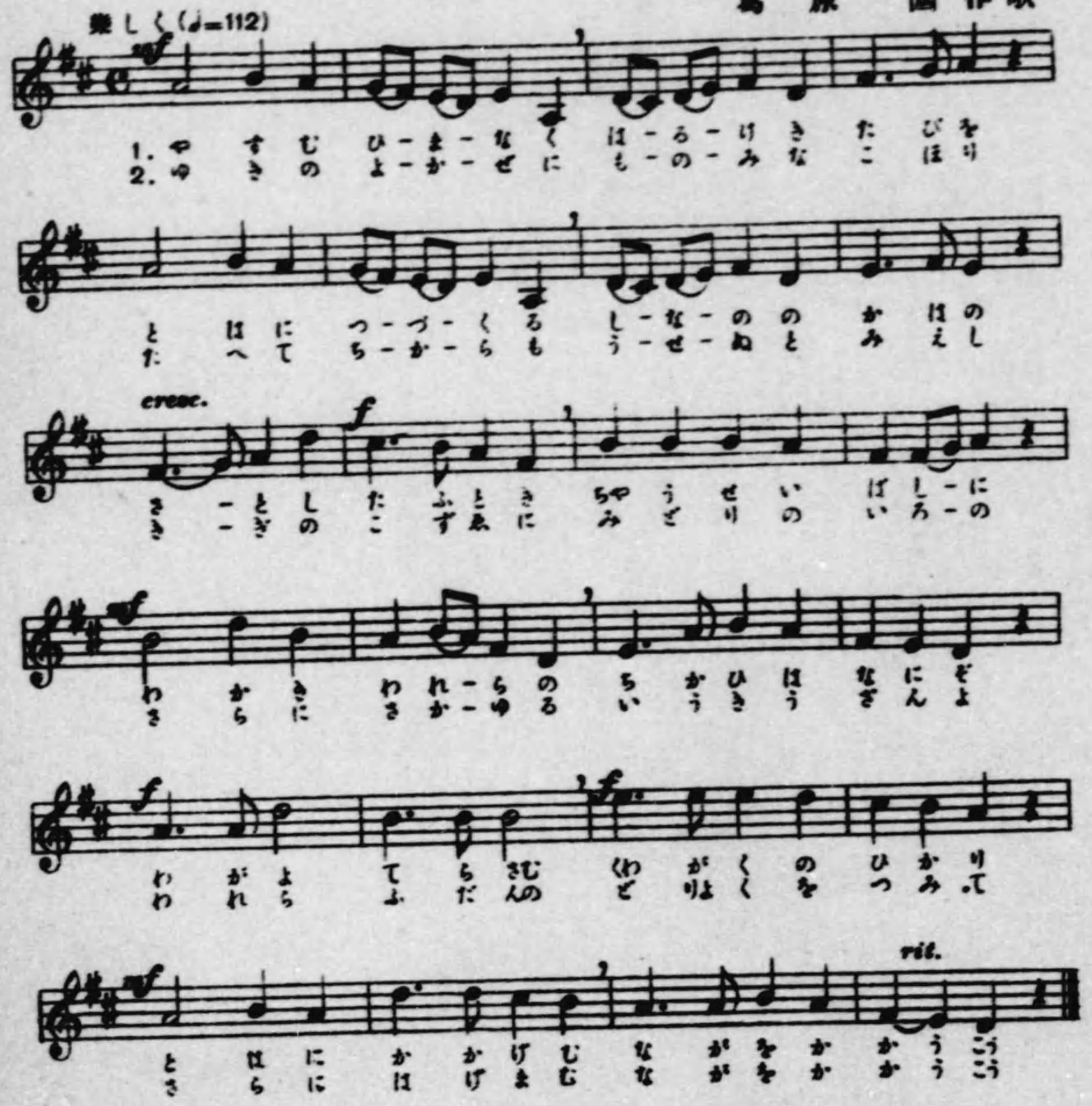
自昭和2年
至昭和3年

長岡高等工業學校全景

292-82

校　歌（甲）

小松耕輔作曲
葛原𦱳作歌

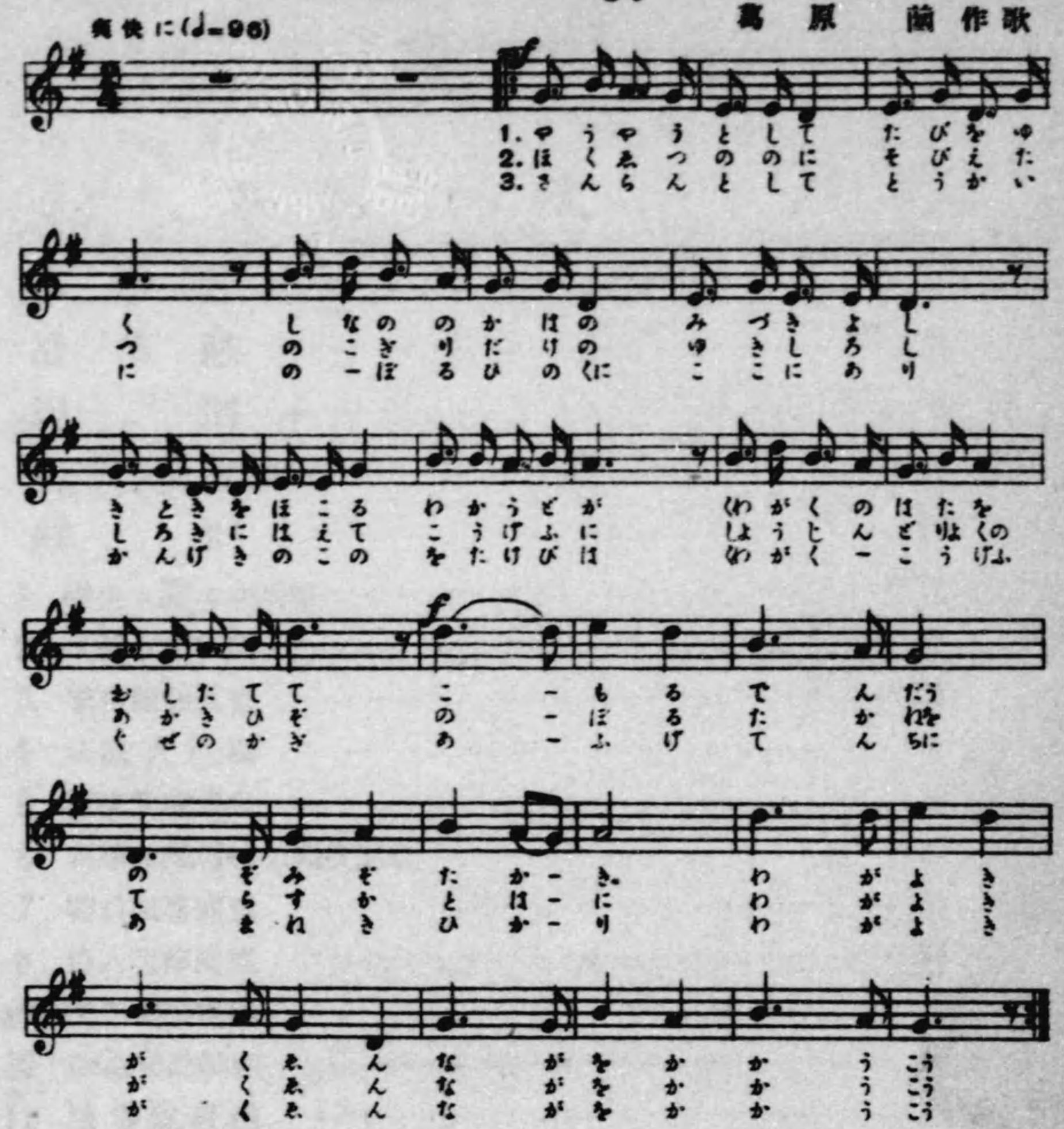


（一）
休むひまなく遙けき旅を
とはにつゞくる信濃の川の
啓示たふとき長生橋に
わかき我等の誓ひはなにぞ
わが世照らさむ科學の光
とはにかゝげむ長岡高工

（二）
雪の夜風にものみな凍り
たえて力もうせねと見えし
木々の梢に綠の色の
さらにさかゆる悠久山に
われら不斷の努力をつみて
さらにはげまむ長岡高工

校　歌（乙）

小松耕輔作曲
葛原𦱳作歌



（一）
洋々として旅をゆく　信濃の川の水清し
清きを誇る若人が　科學の旗を押したてゝ
こもる殿堂希望ぞ高き
わがよき學園長岡高工

（二）
北越の野に聳え立つ　鋸嶽の雪白し
白きに映えて工業に　精進努力のあかき灯ぞ
登る高峰を照らすかごはに
わがよき學園長岡高工

（三）
燦爛として東海に　のぼる日の國焱にあり
感激の子の雄たけびは　科學工業救世の鍵
仰げ天地に普ねき光
わがよき學園長岡高工

目　次

Ⅰ 學年暦 …… 1
Ⅱ 沿革略 …… 2
Ⅲ 規　則 …… 6
Ⅳ 商議委員會規程 …… 16
Ⅴ 細　則 …… 17
1 學生ニ關スル規程 …… 17
2 成績考査細則 …… 18
3 學生服裝規程 …… 22
4 保證人規程 …… 24
5 校務分掌規程 …… 26
6 科學工業博物館職員規程 …… 32
7 職員服務規程 …… 33
8 傭人服務規程 …… 34
9 文書處理規程 …… 39
10 物品會計細則 …… 40
11 圖書館規程 …… 43
12 試驗、分析、鑑定及加工規程 …… 47
13 非常心得 …… 48
14 宿直規程 …… 49
15 校友會規則 …… 51
Ⅵ 職　員 …… 53
1 商議員 …… 53
2 現職員 …… 53
3 舊職員 …… 58
Ⅶ 學　生 …… 60
1 學生氏名 …… 60
2 卒業者、修業者氏名 …… 70
3 除籍者氏名（退學、死亡、其他） …… 73

4 學級人員一覽表 …… 74
5 入學志願者及入學許可者數 …… 74
6 昭和2年度入學者諸調(出身學校別、卒業年度別、本籍別) …… 75
7 學生出身學校別 …… 79
8 學生出身道府縣別 …… 80
9 學生年齢別 …… 82
10 卒業生資格 …… 82
VIII 關係法令 …… 84
1 文部省直轄學校一覽進達方 …… 84
2 文部省直轄諸學校官制 …… 84
3 文部省直轄諸學校職員定員令 …… 87
4 文部省直轄諸學校長職務規程 …… 87
5 專門學校令 …… 87
6 實業學校令 …… 88
7 實業學校職員養成規程 …… 88
8 文部省直轄實業專門學校委託生規程 …… 91
9 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 …… 91
10 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件 …… 92
11 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件 …… 92
12 文官分限令 …… 92
13 官吏服務紀律 …… 93
14 文官懲戒令 …… 93
15 各官廳執務時間 …… 93
16 官吏職務外ノ演説及敍述許可並其取締方 …… 93
17 三大節ニ賀表及言上書奉呈方 …… 93
18 教員免許令 …… 93
19 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意 …… 93
20 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續 …… 94
21 學生生徒兒童身體檢査規程 …… 94
22 學校清潔方法 …… 94

23 學校傳染病豫防規程 …… 94
24 學校生徒喫煙禁止 …… 94
25 文部省直轄學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意 …… 94
26 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意 …… 95
27 教育上時弊矯正ニ關スル心得 …… 95
28 文部省直轄學校講演會記念會運動會等監督方 …… 96
29 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得 …… 97
30 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方 …… 97
31 陸軍現役將校學校配屬令 …… 98
32 徵兵令 …… 98
33 徵兵令ニ依ル一年志願兵ニ關スル學校ノ認定及其ノ入營延期ニ關スル件 …… 98
34 勤務演習召集演習召集及簡閲點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件 …… 98

附錄

本校設備ノ大要 …… 99
重ナル機械、器具類 …… 106
圖書冊數及購入費調 …… 114
敷地並建物明細調 ……
建物配置圖 ……
長岡高等工業學校校友會會則 …… 115
悠久會規約 …… 117
人名索引(職員、學生、卒業生、修業生、中途退學者等) …… 119

(府縣略符)

北海道(北)	青森(青)	岩手(岩)	宮城(城)
秋田(秋)	山形(形)	福島(島)	茨城(茨)
栃木(栃)	群馬(群)	埼玉(玉)	千葉(千)
東京(東)	神奈川(神)	新潟(新)	富山(富)
石川(石)	福井(井)	山梨(梨)	長野(野)

岐　阜（岐）	靜　岡（靜）	愛　知（知）	三　重（三）
滋　賀（滋）	京　都（京）	大　阪（阪）	兵　庫（兵）
奈　良（奈）	和歌山（和）	鳥　取（鳥）	島　根（根）
岡　山（岡）	廣　島（廣）	山　口（山）	徳　島（徳）
香　川（香）	愛　媛（媛）	高　知（高）	福　岡（福）
佐　賀（佐）	長　崎（崎）	熊　本（熊）	大　分（分）
宮　崎（宮）	鹿兒島（鹿）	沖　繩（沖）	臺　灣（臺）
朝　鮮（朝）			

帝國圖書館藏

學　年　暦

前學期（自4月1日 至10月15日）

4月1日　學年始、前學期始、春季休業始
4月3日　神武天皇祭
4月7日　春季休業終
4月29日　天長節
7月11日　夏期休業始
8月31日　夏期休業終
秋分日　秋季皇靈祭
10月上旬　定期試驗
10月10日　本校創立記念日
10月15日　前學期終

後學期（自10月16日 至3月31日）

10月16日　後學期始
10月17日　神嘗祭
11月23日　新嘗祭
12月25日　大正天皇祭、冬季休業始
1月1日　四方拜
1月3日　元始祭
1月7日　冬季休業終
2月11日　紀元節
春分日　春季皇靈祭
3月　定期試驗、入學試驗
3月31日　後學期終、學年終

II 沿　革　略

大正12年

12.10　勅令第501號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セラル

12.10　勅令第502號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ次ノ通リ加フル旨公布セラル

校　長	1　人
教　授	5　人
助教授	1　人
書　記	4　人

12.11　東京高等工學校教授福田爲造校長ニ任命セラル

12.14　文部省告示第455號ヲ以テ本校ノ事務所ヲ文部省假事務所内ニ設置ノ旨公示セラル

大正13年

1．9　文部省告示第1號ヲ以テ本校ノ位置ヲ新潟縣長岡市四郎丸ニ定メ大正13年4月ヨリ授業開始ノ旨公示セラル

2．23　文部省令第7號ヲ以テ本校規程ヲ公示セラレ同日本校規則制定ノ件許可セラル

2．23　文部省告示第62號ヲ以テ本校事務所ヲ3月10日新潟縣長岡市四郎丸ニ移轉ノ旨公示セラル

3．18　ヨリ第1回入學者選拔試驗ヲ本校及東京物理學校ニ於テ行フ

3．26　電氣工學科40名、機械工學科37名、應用化學科36名入學許可ヲ發表ス

4．12　第1回入學宣誓式ヲ擧行ス

入學者決定人員	電氣工學科	40名
	機械工學科	33名
	應用化學科	36名

5．16　勅令12號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「5人」ヲ「9人」ニ助教授「1人」ヲ「5人」ニ改正ノ旨公布セラル

9．1　本校々舍第1、第2期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

11.11　本校規則中1部改正ノ件許可セラル（入學資格ニ關スル件）

大正14年

3．18　ヨリ第2回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校岡山縣立工業學校ニ於テ行フ

3．19　本校規則中1部改正ノ件許可セラル（授業料ニ關スル件）

3．24　電氣工學科、機械工學科ニ各35名、應用化學科ニ30名入學許可ヲ發表ス

4．1　勅令第81號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授「5人」ヲ「4人」ニ改正ノ旨公布セラル

4．11　第2回入學宣誓式ヲ擧行ス

入學者決定人員	電氣工學科	34名
	機械工學科	31名
	應用化學科	28名

6．3　勅令第216號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「9人」ヲ「16人」ニ助教授「4人」ヲ「7人」ニ書記「4人」ヲ「5人」ニ改正ノ旨公布セラル

9．3　本校規則中1部改正ノ件許可セラル（學科課程中時間割變更ニ關スル件）

9．12　海軍省令第11號ヲ以テ海軍造船造機造兵生徒規則第1條ノ指定學校中ニ本校ヲ加ヘラル

12.25　遞信省告示第2033號ヲ以テ「電氣事業主任技術者資格檢定規則第4條第4項ノ學校及其ノ卒業者ノ資格」ニ本校ヲ追加セラル

大正15年

1.14 本校々舍第3、第4期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

3.23 ヨリ第3回入學選拔試驗ヲ本校、東京高等師範學校及北海道帝國大學ニ於テ行フ

3.30 電氣工學科38名、機械工學科39名、應用化學科35名、入學許可ヲ發表ス

4.10 第3回入學宣誓式ヲ擧行ス

入學者決定人員
- 電氣工學科 36名
- 機械工學科 34名
- 應用化學科 33名

7.5 勅令第249號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「16人」ヲ「20人」ニ助教授「7人」ヲ「9人」ニ書記「5人」ヲ「6人」ニ改正ノ旨公布セラル

9.22 本校商議員會規程制定セラル

11.1 教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

11.20 新築校舍落成ニツキ開校式ヲ擧行ス當日文部大臣代理トシテ木村書記官來校セラル翌21.22兩日學校ヲ開放シテ一般公衆ニ觀覽ヲ許セリ

11.29 試驗分析、鑑定及加工規程制定セラル

12.21 科學工業博物館職員規程制定ス

昭和2年

1.26 本校々舍第5期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

3.15 第1回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科34名機械工學科22名應用化學科25名ニ卒業證書ヲ授與ス

3.23 ヨリ第4回入學選拔試驗ヲ本校、東京高等師範學校、大阪高等工業學校及北海道帝國大學ニ於テ行フ

3.30 電氣工學科40名機械工學科38名應用化學科37名入學許可ヲ發表ス

4.8 文部省告示第184號ヲ以テ教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名中ニ本校ヲ加ヘラル

4.9 第4回入學宣誓式ヲ擧行ス

入學者決定人員
- 電氣工學科 37名
- 機械工學科 36名
- 應用化學科 30名

4.20 本校規則1部改正ノ件許可セラル（前學期後學期ノ區分休業日中ニ記念日設置ノ件）

III 規　　則

大正	13. 2	制定
同	13. 11	改正
同	14. 3	同
同	14. 9	同
昭和	2. 4	同

第1章　總　　則

第1條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ心身健全ニシテ高等ノ工業的技術ニ通スル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第2條　本校ニ次ノ學科ヲ置ク

電氣工學科
機械工學科
應用化學科

第3條　各學科ノ修業年限ハ3年トス

第4條　本校ニハ研究生、選科生、聽講生及別科ヲ置クコトアルヘシ

研究生、選科生、及聽科生ニ關シテハ別ニ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

別科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第5條　本則施行ニ要スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第2章　學科課程

第6條　各學科ノ學科目及其ノ程度次ノ如シ

電氣工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	3	3	2	2
物理學	3	5	3		2	2
物理學實驗			3	3		
化學	3	2				
化學實驗	3	3				
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概說	2					
材料力學			2	2		
金屬材料		2				
機械工作法	3					
水力及水力機			2	2		
熱機關		2	1			
電氣理論	2	2	2		1	2
電氣磁氣測定		2	2			
電氣機械及設計			3	3	3	3
電氣材料及器具				3		
發電所及變電所					2	2
送電及配電					2	2
電燈及照明				2		
電氣鐵道				3		
電信及電話					2	1
電氣化學及電池					2	2
讀書攻究			2	2	2	2
特別講義						
設計及製圖	8	4	4	4	4	4
實驗實習		4	4	4	6	6
合計	39	39	39	39	39	39

機械工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	3	3	2	2
物理學	3	5	3	3	2	2
物理學實驗			3	3		
化學	3	2				
化學實驗	3	3				
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概說	2					
各種械械概說		2				
材料力學			2	2	2	
金屬材料		2	2			
機械工作法	2	2				
水力及水力機			2	2	2	2
機構學			2			
熱力學				2		
汽罐			2			
蒸氣機關及タービン				2	1	
內燃機關					2	2
機械設計			2	2	1	
實驗工學				2		
電氣工學					2	2
讀書攷究			2	2	2	2
特別講義						
設計及製圖	11	4	3	3	6	6
實驗實習		6	5	5	6	10
合計	39	39	39	39	39	39

應用化學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	2	2		
物理學	3	5	3	3	2	2
物理學實驗			3	3		
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概說	2					
機械工學通論			3	3		
機械製圖			2	2	3	3
電氣工學					2	2
鑛物學		2				
無機化學	4	4				
有機化學	4	4				
物理化學			4	4		
應用電氣化學					2	2
製造化學通論			4	4	2	2
製造化學特論					4	4
讀書攷究			2	2	2	2
特別講義						
實驗實習	11	11	8	8	11	11
合計	39	39	39	39	39	39

各學科目ノ毎週教授時數ハ其ノ學科目ノ總教授時數ヲ短縮セサル範圍ニ於テ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ、必要ニ應シ休業期間其ノ他便宜ノ時ニ於テ臨時講義又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第3章　學年、學期及休業日

第7條　學年ハ4月1日ニ始マリ翌年3月31日ニ終ル

第8條　學年ヲ分チテ次ノ2學期トス

前學期　4月1日ヨリ10月15日マテ
後學期　10月16日ヨリ翌年3月31日マテ

第9條　休業日ハ次ノ如シ

祝日、大祭日
日曜日
本校記念日　10月10日
春季休業日　4月1日ヨリ4月7日マテ
夏季休業日　7月11日ヨリ8月31日マテ
冬季休業日　12月25日ヨリ1月7日マテ

第4章　入學、在學、退學

第10條　入學ノ期ハ學年ノ始トス

第11條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ次ノ各號ノ1ニ該當シ且ツ入學檢定ニ合格セルモノタルヘシ

1、中學校ヲ卒業シタル者
2、實業學校ヲ卒業シタルモノ、但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限5年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限3年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者
3、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第11條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者
4、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

第12條　中學校又ハ實業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年3月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ニシテ其ノ學校ヲ卒業シ能ハサル者ニハ入學ヲ許可セス

第13條　入學志願者ニ對シテハ其ノ心身ニツキ入學檢定ヲ行フ

入學檢定ハ學力試驗、身體檢査及人物能力檢査ノ3トス、但シ學力試驗ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

學力試驗ハ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

其ノ試驗學科目ハ別ニ之ヲ定ム

第14條　入學志願者ハ第2條ニ揭ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ定メ入學願書ニ寫眞及入學檢定料ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第15條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人連署ノ在學證書ニ戸籍抄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

保證人ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第16條　本校退學者ニシテ再入學ヲ願出ツルトキハ收容ノ餘裕アル場合ニ限リ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第17條　學生ハ別ニ定ムル所ノ服制ニ依ルヘシ

第18條　疾病其他已ムヲ得サル事由ニ依リ久シキニ亘リ修業シ能ハスト思料スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

休學中ノ者ノ期間ヲ經過シタルトキハ速ニ原級ニ復歸スヘシ

休學中ノ者ニシテ其ノ事由消滅シタルトキハ復校ヲ願出テ又ハ許可ヲ得テ1學科目若ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

第19條　疾病其他已ムヲ得サル事由ニヨリ退學セントスルトキハ別ニ定マル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第20條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非レハ他ノ學校ニ入リ又ハ各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第21條　次ノ各號ノ1ニ該當スル者ハ其ノ學籍ヲ除ク、但シ第

2號ハ休學ノ者ニハ之ヲ適用セス
1、 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
2、 2ケ年間同級ニ停リテ尙ホ進級セサル者
3、 學力劣等若ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
4、 正當ノ事由ナクシテ引續キ30日以上缺席シタル者
5、 授業料其他ノ納金ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ尙ホ之ヲ納付セサル者

第5章 表彰及懲戒

第22條 品性、學業及健康上他ノ學生ノ模範トナルヘキ者ハ學年ノ終リニ於テ表彰スルコトアルヘシ

第23條 學校ノ內外ヲ問ハス學生タルノ本分ニ背戾セリト認ムヘキ行爲アル者ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ停學、放校ニ處ス

第6章 修業及卒業

第24條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第25條 前條ノ考査ニ合格セル者ハ之ヲ進級セシメ不合格ノ者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム

第26條 巳ムヲ得サル事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者所定ノ期間內ニ追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第27條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第28條 第3學年ノ終末ニ於ケル成績考査ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ前項修業證書受領者ニシテ別ニ定ムル成績考査ニ關スル細則ニ據リ後日願出タルトキハ再考査ヲ行ヒ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第29條 成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第7章 研究生

第30條 本校卒業者若ハ之ト同等以上ノ學力經驗アリト認メラレタル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ2年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第31條 研究生ハ學年ノ中途ニ於テモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第32條 研究生ハ許可ヲ受ケ、制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第33條 研究生其ノ研究事項ヲ了リタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第34條 學校長ハ研究成績ヲ考査シ必要アルトキハ研究證明書ヲ交付ス

第8章 選科生

第35條 本校所定ノ1學科目若ハ數學科目ヲ選擇履修セントスル者ニハ收容ノ餘裕アルトキニ限リ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第36條 選科生ノ在學期間ハ3年以內トス

第37條 選科生ハ學年ノ中途ニテモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第38條 選科生トシテ入學ヲ願出ツコトヲ得ルモノハ次ノ各號ノ1ニ該當スル者タルヲ要ス
1、 3年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ從事セル者
2、 實業學校卒業者
3、 中學校卒業者
4、 本校別科卒業者

第39條 選科生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第40條 選科生學修ヲ終リタルトキハ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與ス

第9章 聽講生

第41條 本校各學科ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者アル

トキハ詮議ノ上隨時聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第42條　聽講生ハ聽講料ヲ納付シ聽講券ノ交付ヲ受クヘシ

第43條　聽講生ハ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第10章　入學檢定料、授業料聽講料及實驗實習費

第44條　入學檢定料ハ金5圓トス

第45條　本科生及研究生ノ授業料ハ1學年金65圓トシ次ノ2期ニ分チ每學期始業日ヨリ1週間以內ニ納付スヘシ、但シ定日以後入學セル者又ハ休學事故止ミ出席セル者ニツキテハ8月分ヲ除キ1ヶ月金6圓50錢ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定ノ期日ニ1時ニ納付セシム

前學期　金35圓

後學期　金30圓

第46條　選科生ノ授業料ハ1學年1學科目ニツキ金10圓トシ每學年始業前ニ納付スヘシ

第47條　聽講生ノ聽講料ハ1學科目1年ニツキ金10圓トシ聽講券ノ交付ヲ受クル際之ヲ納付スヘシ

第48條　研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ1部若ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第49條　次ノ各號ノ1ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徵收セス

1、休學中ノ者

2、大正4年3月文部省令第7號實業敎員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ敎職ニ從事セントスル者ニシテ授業料ヲ免除セラレタル者

3、明治40年文部省令第23號實業專門學校委託生規程ニ依ル委託生

第50條　各學期始業前退學若ハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ徵收セス

第49條第2號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ授業料徵收ヲ猶豫ス

第51條　研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若ハ1部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第52條　既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

IV 商議委員會規程

第1條 文部省直轄諸學校官制第19條ニ依リ長岡高等工業學校ニ商議委員會ヲ置ク

第2條 商議委員ハ6名以上トシテ左ノ人員中ヨリ之ヲ命ス

1、	文部々内高等官	2名以内
2、	長岡市長	1名
3、	長岡商業會議所會頭	1名
4、	教育又ハ實業ニ關シ知識經歷アル者	3名以上 7名以内

第3條 商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第4條 商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ定ム

第5條 商議委員會ノ決議ハ學校長之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

V 細 則

1. 學生ニ關スル規程（大正13.4制定 昭和2.5改正）

第1條 學生ハ本校教育ノ趣旨ヲ体シ其本分ヲ全ウセンコトヲ期スヘシ

第2條 各學級ニ學級總代2名ヲ置キ其學級ヲ代表セシム

學級總代ハ其學級生ノ互選ニヨル候補者中ヨリ學校長之ヲ任命シ任期ハ1ケ年トス、但シ第1學年ニアリテハ入學ノ當初ハ學校長之ヲ選任シ6月前記ノ手續キニヨリテ之ヲ選定ス

學生ニシテ次ノ各號ノ1ニ該當スルモノハ總代タルヲ得ス

1、 學業成績不良ニヨル原級者

2、 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者

3、 受罰中ノ者

4、 出席率D、E、Fノ者

5、 其他役員トシテ不適當ト認メラレタル者

第3條 學校長ノ許可ナクシテ團体ヲ組織スルヲ得ス

第4條 次ノ場合ニハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

集會ヲ催サントスルトキ

掲示又ハ貼紙ヲナサントスルトキ

新聞雜誌等ニ寄稿セントスルトキ

書畫印刷物ノ頒布ヲナサントスルトキ

第5條 諸會合ノ爲メ校舍ノ1部ヲ使用セントスル場合ハ其都度（ナルヘク前日マデニ）庶務課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第6條 校内ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食又ハ喫煙スヘカラス

第7條 次ノ場合ニハ直ニ學生課ニ届出ツヘシ

1、 遲刻、缺課又ハ缺席シタルトキ（病氣缺席1週間以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書添附）

2、 宿所ヲ變更シヲルトキ

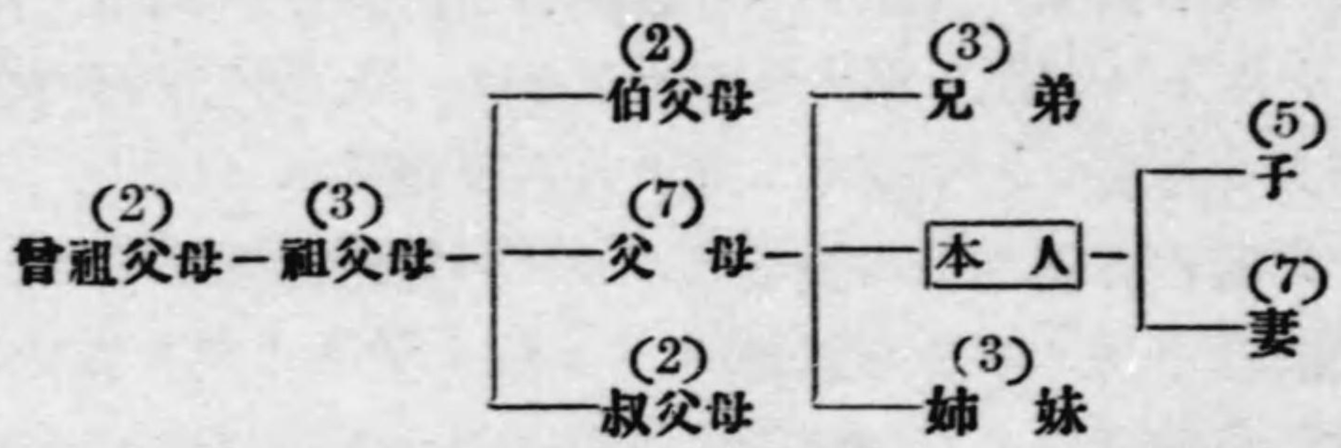
3、 金錢物品ヲ紛失又ハ拾得シタルトキ

4、 校舍ヲ損傷シ又ハ器具ヲ毀損亡失シタルトキ

第8條 願書、屆書ハ特ニ規程アルモノ、外ハ總テ學校長宛ニ認メ學生課ニ差出シ其指揮ヲ受クヘシ

願書、屆書ノ樣式又ハ用紙ハ學生課ニ備付アレハ必要ニ應シ該課ニ請求スヘシ

學 生 忌 引 表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ5日トス

2. 成績考査細則（大正13.10制定 昭和 2. 4改正）

第1章 總 則

第1條 學生ノ成績ハ本校規則及本細則ニヨリ之ヲ考査ス

第2條 學生ノ成績ハ學期成績及學年成績ニヨリ之ヲ考査ス

第3條 學期成績ハ各學科目ノ評點並ニ其ノ總平均點ヲ以テス

第4條 各學科目ノ學期成績ハ該學期間ノ試驗點並ニ平常點ヲ各受持敎官ニ於テ適當ニ平均シ且ツ出席狀況ヲ考慮シテ之ヲ評點ス但シ体操、製圖、實驗實習ノ學期成績ハ平常點ト出席狀況トノミニヨリ之ヲ評點スルコトヲ得

第5條 學年成績ハ各學科目學年評點並ニ其ノ總平均點ヲ以テス、各學科目學年評點ハ其ノ學科目ノ前後兩學期成績ノ平均點ヲ以テス

第6條 各學科目ノ評點ハ 100 ヲ滿點トシ正ノ整數ヲ以テ之ヲ表ハス評點ノ平均ニ於テハ小數第1位迄ヲトリ之ヲ四捨五入ス

第7條 成績ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A (100—85)　B (84—60)　C (59—50)

D (49—40)　E (39—30)　F (29—0)

第8條 學科目ノ性質ニヨリ1學科目ヲ分チテ數學科目ト見做シ又ハ數學科目ヲ併セテ一學科目ト見做シテ之ヲ評點スルコトアルヘシ

第9條 出席率ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A 皆出席又ハ缺席時數ガ授業總時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エザルモノ

B 缺席時數ガ授業時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エ $^{10}/_{100}$ ヲ超エザルモノ

C 同　$^{10}/_{100}$　同　$^{20}/_{100}$

D 同　$^{20}/_{100}$　同　$^{30}/_{100}$

E 同　$^{30}/_{100}$　同　$^{40}/_{100}$

F 同　$^{40}/_{100}$ ヲ超エタルモノ

第10條 試驗ハ定期及隨時ノ 2種トス

定期試驗ハ筆記試驗トシ每學期末期日ヲ定メテ 1回之ヲ行フ但シ隨時試驗ヲ數回行フモノハ學校長ノ許可ヲ得テ定期試驗ヲ行ハザルコトヲ得

隨時試驗ハ每學期1回以上之ヲ行フ但シ特別ノ事情アルモノハ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ行ハザルコトヲ得

隨時試驗ノ時期並ニ其ノ取扱ハ各受持敎官ノ隨意トス但シ都合ニヨリテハ7月及12月ニ於ケル授業終了日ト其ノ前日トノ 2日以內ニ纏メテ之ヲ行フコトヲ得

第11條 定期試驗ニ應セサリシ學科目ノ成績ハ零點トス但シ受驗不能ノ理由學校長ニ於テ之ヲ正當ナリト認メタル者ハ追試驗ヲ受クルコトヲ得

後學期定期試驗ニ缺席シ追試驗ヲ受クルモ合格ノ見込ナキ者ニ對シテハ追試驗ヲ行ハスシテ之ヲ原級ニ留ム

第12條 前學期末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ學期成績

ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ整理ノ上之ヲ發表ス

第13條　學年末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ後學期成績ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ學年成績ヲ整理シ敎官會議ノ議ニ附シ學校長ノ裁定ヲ經テ後敎務課ヨリ之ヲ發表ス

第2章　合格、不合格、及修業

第14條　學年成績ニ於テ各學科目ノ評點C以上總平均點B以上ノモノハ學業成績合格トス

第15條　次ノ各號ノ1ニ該當スルモノハ進級又ハ卒業セシメス但シ詮議ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

1、學業成績不合格ノモノ
2、出席率D、E、Fノモノ
3、素行良カラサルモノ

第16條　學業成績不合格ノモノニ對シテハ特ニ詮議ノ上再試驗ヲ行フコトアルヘシ

再試驗ヲ行フヘキモノハ總平均點B以上ニシテEノモノ1學科目又ハDノモノ2學科目以内ノ者ニツキ敎官會議ノ議ヲ經テ之ヲ決定ス

体操、製圖、實驗實習ニ對シテハ再試驗ヲ行ハス但シ是等ノ學科目中特ニ試驗ニヨリテ評點セシトキハ前2項ヲ適用ス

第17條　第3學年學年成績ニ於テ各學科目C以上ニシテ總平均點Cノモノニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ與フルコトヲ得

第3章　追試驗

第18條　定期試驗ニ應スルコト能ハサル者ハ試驗前ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ツヘシ不慮ノ事故發生ノタメ右ノ願出ヲナシ得サリシモノハ試驗後3日以内ニ本人若クハ保證人又ハ友人ヨリ之ヲ願出ツヘシコノ期限内ニ願出テサルモノハ追試驗ヲ受クルコトヲ得ス

不受驗ノ事由病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ附スルヲ要ス

第19條　追試驗ハ當該試驗執行後30日以内ニ之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情ヲ認メタルトキハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第20條　追試驗ノ成績ハ得點ノ$^{80}/_{100}$ヲ以テ評點トス但シ次ノ各號ノ1ニ該當スルモノハ減點セス

1、徵兵關係ニヨルモノ
2、忌引ニヨルモノ
3、特別ノ事情ヲ學校長ニ於テ承認シタルモノ

第4章　再試驗

第21條　再試驗ハ學年成績DEノ學科目ニ對シ前學年間ニ於テ履修セシ全部ニ亘リ1度ニ之ヲ行フモノトシ筆記、口述何レノ試驗ニヨルモ妨ケス

第22條　再試驗ハ毎年4月上旬之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタルモノハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第23條　再試驗ニヨル學業成績合格者ノ再試驗學科目ノ成績ハCナル評語ヲ以テ之ヲ表ハス

第24條　再試驗ハ其學科目ニ對スル前學年ニ於ケル受持敎官之ヲ行フモノトス其ノ敎官不在又ハ止ムヲ得サル事情アルトキハ學校長ヨリ適當ナル敎官ニ命シテ之ヲ行ハシム

第5章　原級者

第25條　原級者ガ課程ヲ再修スルニ當リ前年度ニ於テB以上ヲ得タル學科目ニ對シテハ受持敎官ノ意見ニヨリ學校長ノ許可ヲ得テ本人ノ出席ヲ免除スルコトヲ得此場合當該學科目ノ評點ハ前年度ノモノヲ以テス但シ本人ノ希望ニヨリ試驗ヲ受ケタル場合ハ前後比較シテ高キモノヲ採ル

上記ノ出席免除者ハ他ノ學科目ニ出席セシムルカ圖書館、實驗實習場其ノ他適當ナル場所ニ於テ特別ノ研究若クハ自習ヲナサシメ

又ハ宿題、論文ヲ課シ或ハ其ノ他ノ方法ニヨリ之ヲ指導ス

第6章 補　　則

第26條　前學期成績並ニ學年成績ノ發表ニ當リテハ各學科目及成績其ノ總平均點ヲ評語ヲ以テ表シ且ツ席次ヲ附シタル成績表ヲ學生別ニ作製シ之ヲ學生ト代表保證人トニ交附發表シ全般ニハ公表セス

第27條　席次ハ上位ヨリ5人宛ヲ1組トシ次ノ記號ヲ以テ之ヲ示ス但シ最後ノ組ノ人數2人以內ノトキハ其ノ上位ノ組ニ合セ7人組又ハ6人組ヲ作ルモノトス

1〜5
40－3

コヽニ1〜5トハ1番ヨリ5番マテノ席次ニアルノ意ニシテ40－3トハ40人中試驗ヲ受ケサルモノ3名アリトノ意ナリ

第28條　評點ハ之ヲ發表セサルモノトス但シ上級官廳並ニ父兄保證人等ヨリ問合セアリテ教務官ニ於テ發表ノ必要アリト認ムル場合ハ學校長ノ承認ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

3. 學生服裝規程（大正13.4.制定 昭和2.5.改正）

第1條　本校學生ノ服制次ノ如シ

1. 制　　帽

地　質	黑　絨
型	海軍型（略圖參照）
帽　章	雪模樣ノ中心ニ高工ノ二字ヲ打出ス（略圖參照）
眼　庇	黑　革
紐	黑　革

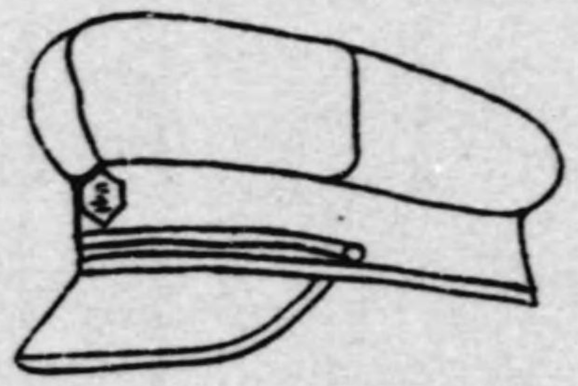
2. 制　　服（冬衣ハ10月1日ヨリ 夏衣ハ6月1日ヨリ 着用）

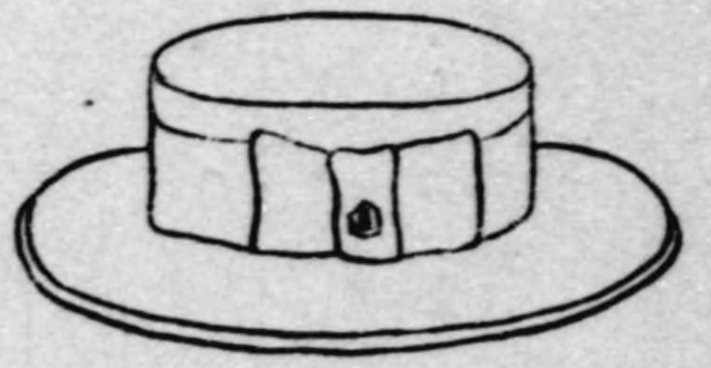
上　衣

地　質	冬　衣	黑又ハ紺（サージ、ヘル）
	夏　衣	鼠色（セル、ポーラー）

徽　章

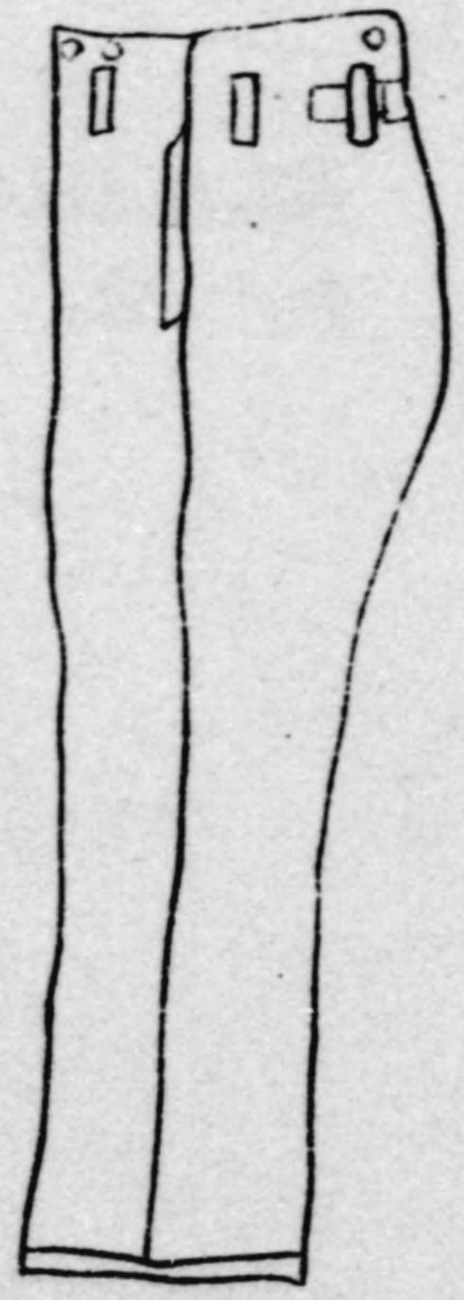
釦


制　帽

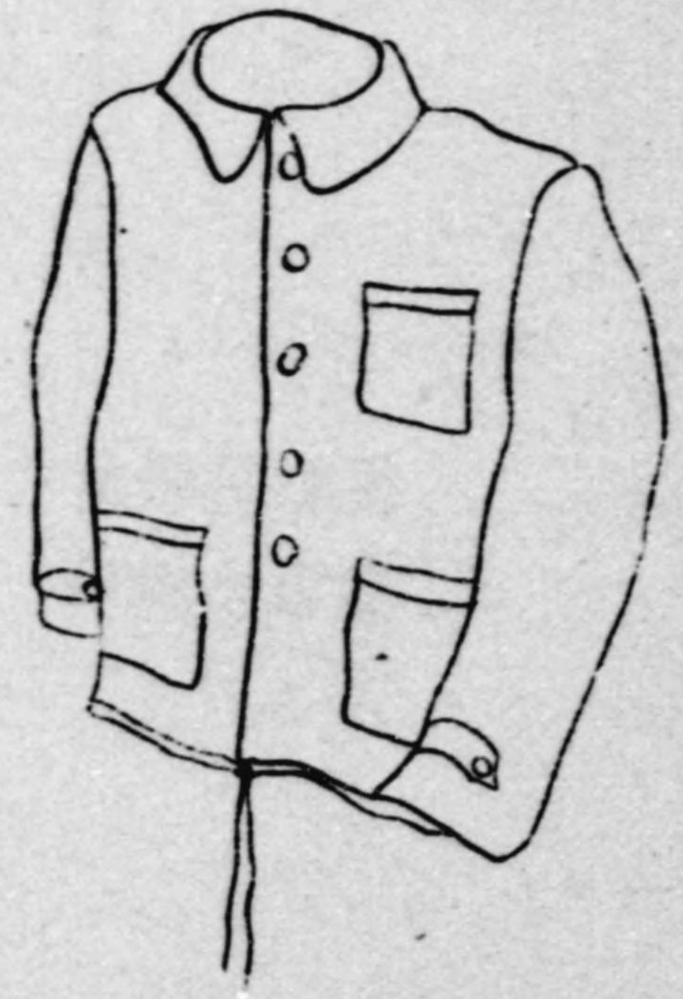

略　帽

上　衣（前釦3袖釦2）

チョツキ（胸釦5）

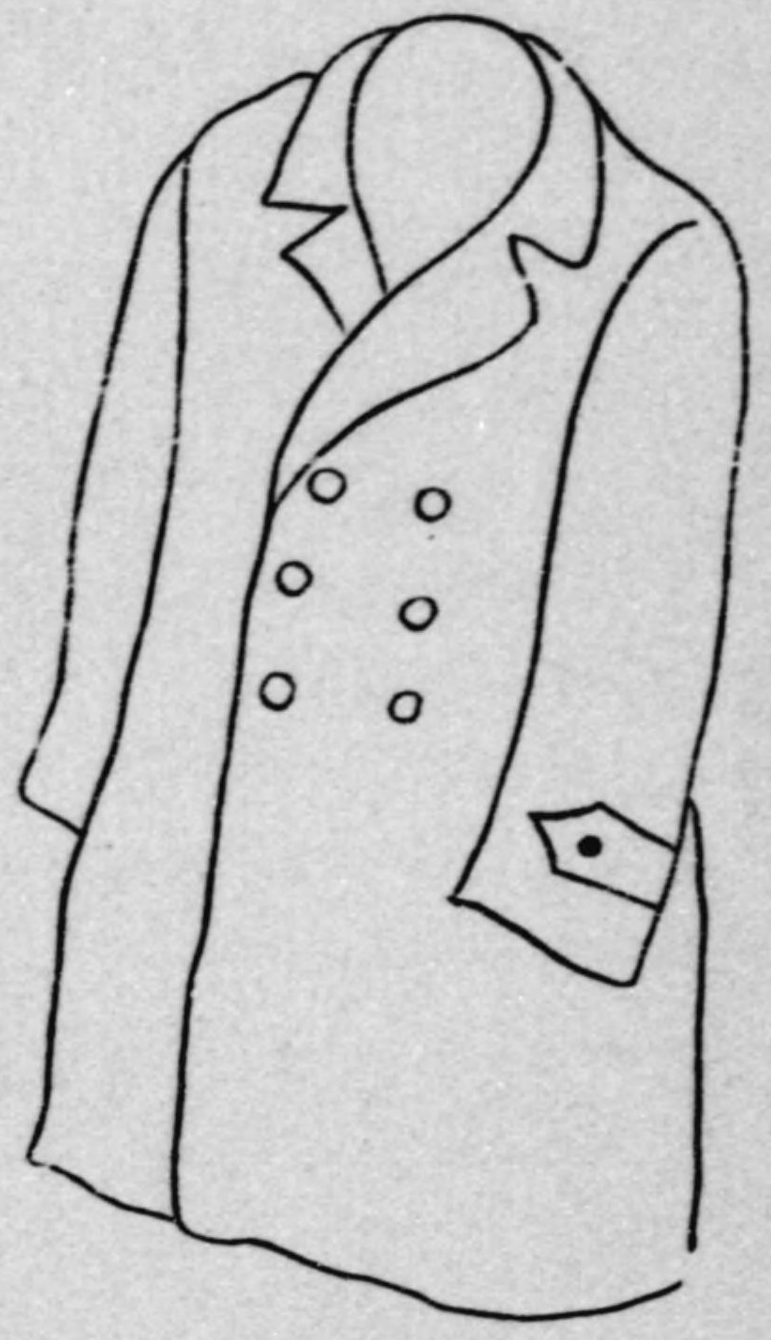


袴



電氣機械實習服上衣

敎練用鼠色霜降
小　倉　地



化學實驗用
白綾小倉地

型　　　　背廣折襟型(略圖参照)
胸釦及袖釦　(略圖参照)

チヨツキ

地　質　　冬上衣ニ同シ(夏ハ用ヒス)
型　　　　普　通

ズボン

地　質　　夏冬共上衣ニ同シ
型　　　　長ズボン

其　他

カラー　　ダブル
ネクタイ　黑色無地
ワイシヤツ　白色無地

3. 外　套

地　質　　適　宜
型　　　　マント又ハオバーコート

4. 靴

地　質　　黑　革
型　　　　編ミ上ケ又ハ深ゴム

5. 略　帽

地　質　　麥　稈
型　　　　一文字形黑リボン(略圖参照)
帽　章　　帽章ハリボン結目ニ附ス

6. 作業服

機械、電氣工場用

地　質　　鼠色霜降小倉
型　　　　上　衣　(略圖参照)
　　　　　ズボン　長ズボン

化學實驗用

地　質　白綾小倉
型　　（略圖参照）
教練用
地　質　鼠色霜降小倉
型　　上　衣（略圖参照）
ズボン　長ズボン

第2條　登校ノ際ハ必ラス制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿ツモノトス之レニ依ルコトヲ得サルモノハ其都度學生課ニ屆出ツベシ

第3條　儀式ノ際ハ正裝スベシ
正裝トハ制服ヲ着ケ上衣ノ釦ヲ掛ケ制帽ヲ冠リ且ツ黑革靴ヲ穿ツモノトス

第4條　教室内ニアリテ授業ヲ受クル際ハ制服ヲ着用シ實習、化學實驗又ハ教練ニ際シテハ作業服ヲ着用スルヲ本則トス但シ何等ノ場合ヲ問ハス和服ニテ作業服ニ代用スルコトヲ許サス

第5條　夏期ト雖體操教練時ニハ略帽ノ着用ヲ禁ス

第6條　新入學生ハ入學後1ケ月以内ニ本規程ノ服裝ヲ調フヘシ、但制帽ニ限リ1週間以内トス

附　則

入學前使用セル被服ニシテ本校所定ノ服制ニ適合セシメ得ヘキモノハ之ヲ着用スルコト得、但シ一應學生課ニ承合スヘシ

4. 保證人規程

第1條　本校ヨリ入學許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ規定ノ出校日ヨリ五日以內ニ保證人ヲ定メ其ノ連署ヲ以テ別紙樣式ニ依リ在學證書ヲ差出スヘシ

第2條　保證人ハ學生ノ近親者若クハ學校長ノ承認シタル成年者ニシテ學生ニ關スル一切ノ責任ヲ負フモノタルベシ、但シ保證人中ニハ男子ノ有ルコトヲ要ス

第3條　保證書中記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ屆出テ又保証人ノ變更ヲ要スル場合ハ新ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第4條　必要ニ應シ學校長ハ別ニ保證人代理ヲ立テシムルコトアルヘシ

（樣　式）

在　學　證　書

長岡高等工業學校長福田爲造殿

私は此度長岡高等工業學校に入學を許されましたことを大變に嬉しく思ひます親兄弟はもとより親族知人まで私の爲めに祝福して居ります

私は學校の皆樣方の御教導により勉學修養心身の涵養に努め學友と力を協せ共に共に研鑽につとめ立派に入學の目向を達する樣努力することを玆に誓ひます

學科名			
氏名	Rômazi 漢字		印

上の者が此度御校に入學を許されましたことは私共の衷心から悅ぶ次第で御座います

就きましては御校の皆樣方が當人を鞭韃教育し當人か心身健全で高等の工業的技術に通ずる社會須要の人となる樣御教導の程御願ひ申上ます、私共も今後當人を充分督勵しまして勉學修養入學の初一念を貫徹させ以て學校の教育目的に副ふ樣一同擧つて御校に協力致します

申す迄もなく當人と學校との間に起る凡ての事柄につきましては私共が責任を負ふて御引受致します

昭和　　年　　月　　日

<table>
<tr><td rowspan="8">代表保證人</td><td rowspan="2">原籍</td><td>Rômazi</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>漢　字</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td>Rômazi</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>漢　字</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">氏名</td><td>Rômazi</td><td></td><td rowspan="2">印</td></tr>
<tr><td>漢　字</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">職　　業</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">學生トノ續柄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">其ノ他ノ保證人</td><td>學生トノ續柄</td><td>氏　名</td><td>學生トノ續柄</td><td>氏　名</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

注　意

Ⅰ　保證人としては單に形式的に一人が捺印されるよりも父母兄姉などが學生の成業を希望さるゝ意味を以て家族親戚が保證人として玆に多く署名さるゝことを學校は望みます

Ⅱ　本文をよく讀んで各自署名して下さい、但し Rômazi の所は學生に書かせてもよろしい

Ⅲ　文字は總てペン書きのこと

5. 校務分掌規程 {大正13.4 制定 / 同 13.11 改正 / 同 14. 3同}

第１章

第１條　各科ニ科長ヲ置キ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第２條　次ノ各科目ニ擔任敎官２名以上アルトキハ代表者１名ヲ主任トシ其ノ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス、但シ電氣工學、機械工學、化學ニ關スル諸學科目ノ代表者ハ夫々電氣工學科長、機械工學科長及應用化學科長ヲ以テ之ニ充ツ

A　修　　身
B　體　　操
C　外 國 語
D　數　　學
E　物理學及物理學實驗
F　工業經營
G　法制經濟
H　工場建築
I　電氣工學ニ關スル諸學科目
J　機械工學ニ關スル諸學科目
K　化學ニ關スル諸學科目

第３條　學校長ヲ補佐シ校務ヲ整理スル爲メ必要アルトキハ幹事１名ヲ置キ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第４條　一般事務ヲ分掌スル爲メ次ノ６課ヲ置ク

庶 務 課　　會 計 課　　敎 務 課
學 生 課　　圖 書 課　・調査計畫課

各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

學生課ノ事務ハ生徒監之ヲ管理ス

第５條　學校長ノ諮詢ニ應ヘ又ハ校務ヲ審議シ統一ヲ圖ル爲メ次ノ會議ヲ開クコトアルヘシ

商議委員會

評 議 員 會　幹事、生徒監、各科長、學科目主任中ヨリ委員ヲ命シ學校長之ヲ召集ス

職　員　會　審議ノ內容ニ依リ關係職員ノミヲ召集スルコトアルヘシ

第６條　學校衞生ヲ掌理スル爲メ學校醫ヲ置ク

學校衞生ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ諮詢ニ答ヘ其他重要ナル學校衞生事務ニ參與セシムル爲メ必要ニ應シ衞生顧問ヲ置ク

第７條　事務分掌ノ如何ニ關セズ必要ニ應シ別ニ委員ヲ設ケ之ヲ處理スルコトアルヘシ

第２章　事務分掌

第１節　總　　則

第8條　校務ハ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ施行スルコトヲ得ス、但シ重要事項ニアラスシテ常例ニ係ルモノ又ハ特ニ學校長ヨリ委任セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第9條　事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關聯各課ニ合議スルヲ要ス

第10條　各課所定ノ事務ノ外必要ニ應シ臨時事務ヲ命スルコトアルヘシ

第11條　各課ノ事務ニシテ繁忙ノ際ハ他課員ノ助力ヲ乞フコトヲ得

第12條　本校ノ事務ニシテ所屬不明ノモノアリタル場合ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ其ノ所屬ヲ定ム

第13條　本校ノ事務中例規ニ關スル事項ハ必ス庶務課ニ囘議スヘシ

第14條　次ノ事項ハ各課ニ於テ分掌スヘシ

1、　其ノ課ニ屬スル細則制定改廢ニ關スルコト
2、　年中行事ヲ作製スルコト
3、　其ノ課記錄ニ關スル事項
4、　其ノ課所屬ノ文書起案並文書帳簿整理保存ニ關スル事項
5、　其ノ課員ノ事務分掌
6、　前各號以外ノ其ノ課ニ屬スル一般事務

第2節　事務分掌

第15條　科長ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1、　其ノ學科ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2、　其ノ學科工場ニ關スル事項
3、　機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項
4、　卒業者就職ニ關スル事項

第16條　學科目主任ノ擔任スヘキ事務ノ要項次ノ如シ

1、　其ノ學科目ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2、　教授要目ニ關スル事項

3、授業分擔ニ關スル事項
4、機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項

第17條　各教官ノ擔任スヘキ教育事務要項次ノ如シ

1、生徒ノ操行勤惰成績等ニ關スル事項
2、其ノ他生徒教養ニ關係アル一切ノ事項（生徒ノ訓育ニ關シテハ生徒監ト協力スルコト）

第18條　生徒監ノ擔任スヘキ事務要項次ノ如シ

1、學生訓育ノ統一ニ關スル事項
2、學生課ノ事務管理
3、其他學生訓育ニ關スル一切ノ事項

第19條　庶務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
2、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
3、校旗ニ關スル事項
4、職員以下ノ進退身分及服務ニ關スル事項、但シ傭人ノ進退ハ學校長ノ特ニ命シタル委員ノ詮議ニ依ラシムルコトアルヘシ
5、文書ニ關スル事項
6、諸規程內規ニ關スル事項
7、校報ニ關スル事項
8、儀式ニ關スル事項
9、諸會議ニ關スル事項、但シ議事ノ內容ニヨリ各課ニ分屬セシム
10、統計、年報、一覽及官報報告等ニ關スル事項
11、寄贈願處理ニ關スル事項
12、參觀人ニ關スル事項、但シ視察事項ニツキ各課ニ分屬セシム
13、在外研究員ニ關スル事項
14、諸證明書ニ關スル事項
15、諸記錄ニ關スル事項
16、宿直ニ關スル事項
17、警備並非常手配等ニ關スル事項

18、他課ニ屬セサル一切ノ事項

庶務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ庶務課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第20條　會計課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1、歳入歳出豫算、決算及出納ニ關スル事項
2、資金ニ關スル事項
3、國有財産ノ管理及營繕ニ關スル事項
4、物品ノ購買及修理ニ關スル事項
5、不用物品ノ處分ニ關スル事項
6、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
7、給水、瓦斯、暖房、電燈及電話ニ關スル事項
8、人夫ノ傭入ニ關スル事項
9、校地校舍ノ清掃保全ニ關スル事項
10、寄贈金品ニ關スル事項

支出官印ハ學校長又ハ其ノ委任者之ヲ保管ス

第21條・教務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1、學科課程並教授要目ニ關スル事項
2、教官ノ授業分擔及授業時間割ニ關スル事項
3、教室及教具ノ設備ニ關スル事項
4、教科書、参考書並教授用印刷物ニ關スル事項
5、授業及休業ニ關スル事項
6、學生ノ學籍及兵役ニ關スル事項
7、學生ノ學業成績並進級及卒業ニ關スル事項
8、學生募集並入學ニ關スル事項
9、試驗問題及答案ニ關スル事項
10、成績證明及在學證明ニ關スル事項
11、修學旅行及研究派遣ニ關スル事項
12、校外實習ニ關スル事項
13、講習會等ニ關スル事項

14、卒業者ニ關スル事項

教務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ教務課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第22條　學生課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1、學生ノ訓育並風紀取締ニ關スル事項
2、學生心得及服制ニ關ス事項
3、學生ノ勤怠賞罰ニ關スル事項
4、學生乘車船割引券並學生身分證明ニ關スル事項
5、體育並衞生ニ關スル事項
6、學生ノ集會ニ關スル事項
7、學生ノ貸費給費ニ關スル事項
8、學生ノ退學及休學ニ關スル事項
9、學生ノ諸願伺及屆書ニ關スル事項
10、學級總代ニ關スル事項
11、所得物及遺失物等ニ關スル事項
12、學生ノ宿所ニ關スル事項
13、其他學生ニ關スル一切ノ事項

學生課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ學生課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第23條　圖書課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1、購入圖書ノ審査並ニ檢査ニ關スル事項
2、圖書ノ保管整理出納ニ關スル事項
3、圖書臺帳並目錄ニ關スル事項
4、書庫閲覽室ニ關スル事項
5、圖書閲覽及貸付ニ關スル事項
6、寄贈圖書ニ關スル事項
7、圖書印ノ保管ニ關スル事項

圖書課ハ別ニ定ムル樣式ニヨリ圖書課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第24條　調査計畫課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ
1、各課ノ事務計畫ノ連絡、統一、進步ノ爲メ必要ナル處置
2、調査、研究資料ノ蒐集整理ニ關スル事項
3、調査、研究、計畫等ノ發表報告ニ關スル事項
4、新事業ノ計畫ニ關スル事項
調査計畫課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ調査計畫課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ
第25條　學校醫ノ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ
1、學校醫ノ職務ニ關シテハ「學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程」第2條乃至第10條ヲ準用ス、但シ本規程ニ別段ノ定メアルモノハ此限リニアラス
2、學校醫ハ毎月一回以上教授時間内ニ出校シ衞生事項ヲ視察スヘシ其他學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ
3、學校醫ハ入學志願者ノ身體檢査ヲナスヘシ
4、學校醫ハ學校長ノ要求アリタル場合ハ職員學生傭人等ノ病症ニ對シ之ヲ診察シ又ハ診斷書ヲ作製スヘシ
第26條　各課備付重要帳簿ハ時々學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

6. 科學工業博物館職員規程

科學工業博物館ニ次キノ職員ヲ置ク

主事	1名
館員	若干名
委員	若干名
理事	若干名

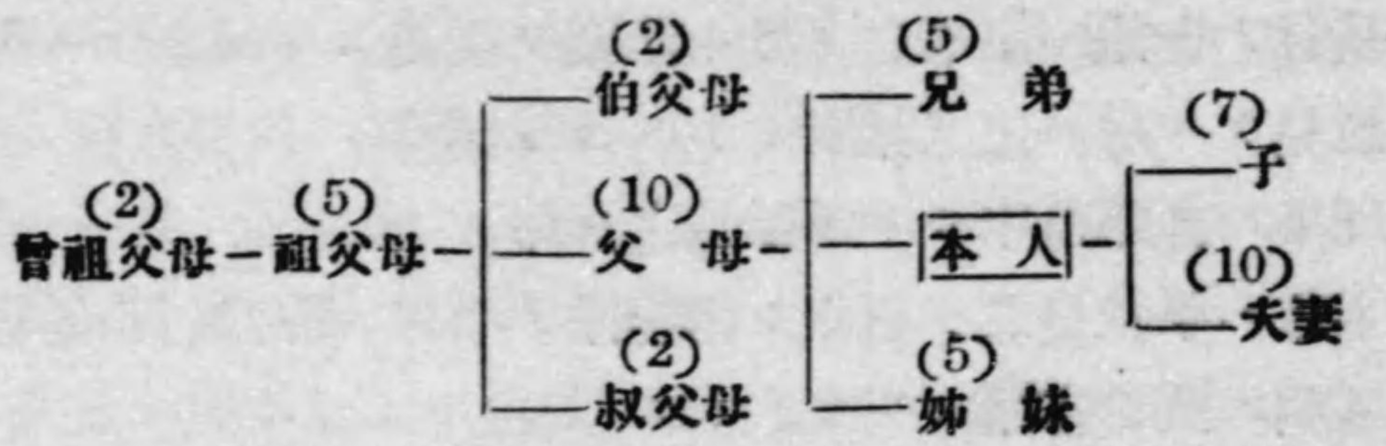
2、主事ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス
主事ハ學校長ノ命ヲ承ケ館務ヲ掌理ス
3、館員ハ書記又ハ雇員中ヨリ學校長之ヲ命ス
館員ハ主事ノ命ヲ受ケ館務ニ從事ス
4、委員ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

委員ハ館務遂行上主事ヲ補佐ス
委員會ノ會議ハ主事之ヲ開キ議案ヲ提出スルモノトス但シ委員ノ意見アル時ハ之ヲ議案トナスコトヲ得
5、理事ハ評議員中ヨリ學校長之ヲ命ス
理事會ハ學校長之ヲ召集シ博物館ノ事業、施設、方針等重要ナル事項ニ關シ審議スルモノトス

7. 職員服務規程（大正13.4制定）

第1條　本校ノ執務時間ハ官廳執務時間ニ依ル、但シ教官及之ニ準スル者ニツイテハ學校長別ニ之ヲ定ム
第2條　病氣其他ノ事故ニ因リ遲刻又ハ缺勤セントスルモノハ出勤時刻前ニ其旨届出ツヘシ尙缺勤7日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
父母ノ祭日ニ休暇セントスルモノハ其前日迄ニ届出ツヘシ
第3條　賜暇ヲ受ケントスルモノハ事由日時ヲ詳記シ旅行セントスルモノハ事由日限及行先地ヲ具シ豫メ許可ヲ受クヘシ
第4條　出張ヲ命セラレタルモノハ出發及歸校ノ際其旨届出ツヘシ
第5條　新任者ハ本校所定ノ用紙ニ履歴書並ニ現住所及原籍届ヲ庶務課ニ差出スヘシ
現住所並原籍ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ
第6條　官廳其他ヨリ本校經由セスシテ直接ニ辭令ヲ受ケタルトキ其他履歴ニ關スル變動アルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ
第7條　他ノ囑託ニ應セントスルモノハ豫メ學校長ノ承認ヲ經ヘシ尙一定ノ報酬ヲ受クル場合ハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ
第8條　本校ニ非常アル場合ハ直ニ出校スヘシ
第9條　本規程ニ依リ學校長ニ差出スヘキ文書ハ總テ庶務課ヲ經由スヘシ

職員忌引表



本表ニ於ケル父母トハ實父母養父母繼父母ノ意ニシテ偶者ノ父母ハ５日トス

8. 傭人規程

第１章　總則

第１條　傭人ハ庶務課監督ノ下ニ各所屬上司ノ指揮ヲ受ケ職務ニ從事スヘシ

第２條　毎朝出勤シタルトキハ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第３條　疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時間前ニ其ノ旨屆出ツヘシ又同樣ノ事由ニ依リ勤務時間中退出セントスルトキハ所屬上長ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第４條　勤務中ハ制服ヲ支給セラレタルモノハ之ヲ着用シ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重シ人ニ接スルニ丁寧懇切ヲ旨トスヘシ

第５條　已ムヲ得サル場合ノ外ハ詰所ニ他人ヲ導クヘカラス

第６條　傭人ノ勤務時間ハ別ニ定メアルモノヽ外午前７時30分ヨリ午後５時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ此ノ限リニアラス

第７條　次ノ日ニハ特別ノ校用ナキ場合ニ限リ休暇スルコトヲ得

1、休　　日（祝日及祭日）

2、休暇日（日曜日、1月1日ヨリ3日迄12月29日ヨリ31日迄）

第８條　父母、配偶者、子及同１戸籍內ニアル祖父母、兄弟、姉妹死亡ノ際ハ忌引ヲ與フ、其ノ忌引日數ハ次ノ通リトス

父母、配偶者、子　　５日以內

同１戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹　３日以內

第９條　普通携帶品ニアラサル物品ヲ所持シ出門セントスルトキハ所屬所長ヨリ出門證ヲ受ケ之ヲ門衛ニ差出スヘシ

第10條　非常若クハ近火ノ際ハ非番ノモノト雖モ直ニ出校シ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第11條　傭人ノ給料ハ月給者ヲ除キ前月16日ヨリ其ノ月15日迄ノ分ヲ定日ニ支給ス但シ３月16日ヨリ同末日迄ノ分ハ本條規定ニ拘ラス便宜支給スルモノトス

第12條　新ニ傭入ノ際ハ出勤ノ日ヨリ起算シ增給減給ノ際ハ其ノ翌日ヨリ起算シ解傭ノ際ハ發令ノ日迄日割計算ヲ以テ日給ヲ支給ス

第13條　次ノ場合ニハ日給ノ全額ヲ支給ス

1、休日及休暇日、但シ本條各號ノ何レニモ該當セサル事故ニ因リ休日及日曜日ノ前後引續キ缺勤シタルトキハ之ヲ支給セス

2、忌引ニ因ル缺勤日

3、徵兵檢査又ハ簡閱點呼ノ當日

4、職務ニ基因スル傷疾病ニ因ル缺勤日（但シ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタルトキハ此限リニアラス）

5、校務ニ係ル事件ニ付官署ニ召喚セラレタル當日

6、暑中休夏中期間ヲ定メテ與ヘラレタル休暇日

第14條　軍籍ニアル者召集セラレタル場合ニ於テハ明治37年９月勅令第206號ニ準シ之ヲ取扱フモノトス但シ本條ノ規定ハ除隊後引續キ勤務スル者ニ限リ之ヲ適用ス

第15條　傳染病豫防ノ爲メ交通ヲ遮斷セラレ出勤シ能ハサルモノニハ一般休日ニ準シ日給ヲ支給ス

第16條　業務上死傷シタル者ニハ大正7年勅令第382號傭人扶助令ニ依リ相當ノ扶助料ヲ支給ス

第17條　校外ニ執業ヲ命シタルトキハ詮議ノ上旅費ヲ支給スルコトアルヘシ

第18條　左ノ各號ノ1ニ該當スルモノニハ其ノ情狀ニヨリ譴責減給又ハ解傭ニ處ス但シ第2號ニ該當スルモノニハ損害ノ全部若クハ1部ノ辨償ヲ命スルコトアルヘシ

1、規則命令ヲ遵守セサルモノ

2、故意又ハ不注意ニヨリ校舍ヲ汚損シ若クハ器具機械材料等ヲ毀損シ又ハ亡失シタル者

3、素行不良ナル者

4、職務ニ怠慢ナル者

第19條　必要ト認ムルトキハ學校醫ヲシテ身體檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第20條　傭人ニ採用セラレタル際ハ速ニ誓約書並戸籍謄本ヲ庶務課ニ提出スヘシ

第2章　巡　視

第21條　巡視ハ校丁及臨時傭人ヲ指揮シ校内一般ノ取締ニ任ス

第22條　巡視ノ勤務事項次ノ如シ

1、校門開閉ノコト

2、校門出入者監視ノコト

3、校舍内外巡視警戒ノコト

4、戸締ニ注意スルコト

5、防火ニ關スルコト

6、非常用具類整理ノコト

7、國旗校旗掲揚ニ關スルコト

8、臨時傭人監督ノコト

9、受付ノ勤務ニ服スルコト

10、其ノ他特ニ命セラレタル事項

第23條　校門ノ開閉ハ次ノ時限ニ依ルヘシ

正門	平日	開扉	午前6時	(休業日ニハ脇門ノミ開扉ス)
		閉扉	午後5時	
	土曜日	同	午後2時	

脇門	正門閉扉後開扉シ午後十時閉扉スルコト		
西門	開扉	午前7時45分ヨリ 同　8時20分迄	及放課時限ヨリ30分間

(休業日ニハ開扉セス)

第24條　巡視ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ其ノ勤務時間ハ午後5時ヨリ翌日午前8時30分迄トス但シ休業日ニアリテハ午前8時ヨリ翌日午前8時30分迄トス

第25條　出入者ニシテ疑フヘキ者ナリト認ムル場合若クハ普通携帶品ニアラスト認ムヘキ物品ヲ携ヘ出門セントスルモノアルトキハ庶務課員又ハ當直員ニ申シ出テ指揮ヲ受クヘシ

第26條　暖爐、瓦斯及火鉢ヲ用フル場所ハ殊ニ火ノ元ヲ警戒シ職員學生ノ退出後之カ檢査ヲ行ヒ更ニ1時間ヲ經テ當直員立會ノ上再檢査ヲ爲スヘシ

第27條　勤務時間中ハ所定ノ時刻ニ於テ校舍内外ヲ巡檢スヘシ

第28條　校舍内外巡檢ノ際ハ常ニ校地、校舍、水路等掃除ノ良否及修繕ヲ要スル箇所ノ有無ニ注意シ殊ニ便所、タン壺、紙屑入等ノ掃除ニ注意スヘシ

第29條　巡視中1名ハ受付ノ勤務ニ服スヘシ、受付ノ勤務事項次ノ如シ

1、受付ハ執務時間中受付所ニ在リテ次ノ事項ヲ取扱フモノトス

校内出入者ノ取締

來客ノ取次

到達シタル文書物品ノ受領

電話外線ノ交換

2、到達シタル文書ハ總テ之ヲ庶務課ニ送達スヘシ

3、外來者ニ對シテハ常ニ懇切ヲ旨トシ名刺ヲ受取リ用向キヲ尋ネタル上庶務課ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

4、電話交換ニ關シテハ聽取シタル事項ニ付一切他ニ漏洩スルコトヲ得ス

5、 電話交換ニ關シテハ特ニ用語ヲ鄭重明晰ニスヘシ

第3章 給　　仕

第30條　給仕ハ各指定セラレタル課所ニ於テ勤務スヘシ

第31條　給仕ノ勤務事項次ノ如シ

1、 受付ノ勤務ニ服スルコト（勤務事項前掲）

2、 外來者ノ取次ヲ爲スコト

3、 電話ノ取次ヲ爲スコト

4、 毎日職員出勤前ニ於テ各受持室内ノ机腰掛等一切ノ掃除ヲ爲スコト

5、 食堂ノ掃除及食事ノ設備ヲ爲スコト

6、 其他特ニ命セラレタル事項

第4章 校　　丁

第32條　校丁ハ校舍内外ノ雜役ニ從事スヘシ

第33條　校丁ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ、其ノ勤務時間ハ午後5時ヨリ翌日午前8時迄トス但シ休業日ニアリテハ午前8時ヨリ翌日午前8時迄トス

當直者ハ夜中1回以上校舍ノ内外ヲ巡視スヘシ

第34條　校丁勤務事項次ノ如シ

1、 校地校舍ノ掃除並除雪ノコト

2、 窓戸ノ開閉及戸締ノコト

3、 湯水及燃料等配給ノコト

4、 校外ヘノ使

5、 其ノ他特ニ命セラレタル事項

第35條　火ノ取扱ニ關シテハ最モ嚴重ニ注意シ苟モ疎漏ノ所爲アルヘカラス

第5章 工　　手

第36條　工手及見習工手ハ工場内ニ於テ實務ニ從事スヘシ

第37條　勤務時間ハ午前7時50分ヨリ午後4時30分迄トス

第38條　業務ノ都合ニ依リ規定就業時間外又ハ休業日ト雖特ニ就業ヲ命スルコトアルヘシ

第39條　勤務中心得ヘキ事項次ノ如シ

1、 上長ノ指揮ヲ受ケ忠實ニ業務ニ從事スルコト

2、 監督者ノ命ニアラサレハ何人ノ依頼ニモ應セサルコト

3、 器械、器具其ノ他ノ物品ヲ丁寧ニ取扱ヒ工場内ヲ清潔ニスルコト

4、 喫煙及食事等ハ所定ノ場所以外ニ於テ爲サヽルコト

第40條　毎土曜日ニハ大掃除ヲ爲シ監督者ノ檢査ヲ受クヘシ

第41條　自已ノ都合ニ依リ遅参シ又ハ早退シタルトキハ其ノ時間(1時間未滿ノ端數ハ之ヲ1時間トス)ニ對スル時間給ヲ減給ス右ノ時間給ハ1時間ニ付日給ノ10分ノ1ニ相當スル金額トス

規定就業時間以外ノ就業ニ對シテハ1時間ニ付日給ノ8分ノ1ヲ支給スルコトアルヘシ

規定就業時間以外ニ於ケル就業時間ハ當該監督者ニ於テ調査シ翌日庶務課ニ報告スルモノトス

第42條　執業中負傷シ早退ノ許可ヲ受ケタル者ニハ當日ノ日給全額ヲ支給ス

第43條　工場服ハ之ヲ支給若クハ貸與スルコトアルヘシ

第44條　本章ハ臨時傭人ノ工手ニモ之ヲ準用ス

9. 文書處理規程 (大正13.4制定)

第1條　學校宛又ハ學校長宛ノ公文書ハ庶務課ニ於テ接受開封シ文書番號簿ニ登錄シ收受ノ番號及月日ヲ記入ノ上直ニ主務課ニ配付スヘシ

第2條　收受シタル文書ハ主務課ニ於テ審議調査ノ上處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第3條　回議書ハ一定ノ紙ヲ用フヘシ、但シ事ノ輕易ナルモノ

ハ回議書ニ依ラス本書ノ餘白ニ文案ヲ朱記シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第4條　他課ニ關聯スル文書ハ其ノ課ニ合議又ハ回覧スヘシ

第5條　決裁ヲ要セサル文書ハ學校長ノ閲覧ニ供スヘシ

第6條　學校長ニ提出ヲ要スル文書ハ庶務課ヲ經由スヘシ

第7條　發送ヲ要スル決裁濟ノ文書ハ淨寫校合シ其ノ回議書ヲ添ヘ庶務課ニ送付スヘシ

第8條　凡テ發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ於テ文書番號簿ノ番號ヲ附シテ發送ノ手續キヲナシ回議書ニハ施行月日及番號ヲ記入シテ主務課ニ返付スヘシ

第9條　同一事件ノ往復文書ハ必ス合綴シ終始同一番號ヲ用フヘシ

第10條　機密ニ屬スル文書ノ取扱ハ本規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第11條　發送又ハ收受ノ文書中指令又ハ回答等ヲ要セサルモノハ庶務課ニ於テ文書番號簿ニ「發切」又ハ「受切」ト記シテ其ノ區別ヲ明カニスヘシ

第12條　處分濟ノ文書ハ各主務課ニ於テ之ヲ類別シ各類每ニ年月日ノ順ヲ追ヒ之ヲ編綴保存スヘシ但シ文書保存期限ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

10. 物品會計細則（大正13.4制定）

第1章　總　則

第1條　本校所屬物品ノ保管出納ハ總テ物品會計規則並文部省直轄學校物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第2條　物品ヲ大別シテ備品消耗品ノ二種トシ更ニ備品ヲ分チテ普通用備品、學術用備品トシ消耗品ヲ分チテ普通用消耗品、實驗用消耗品トス其ノ區分ハ性質及用法ニ依リ學校長之ヲ定ム

第3條　各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守

及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第4條　各部局ニ於ケル物品監守者ノ監守區域ハ別ニ之ヲ定ム

第2章　出納及保管

第5條　物品ノ出納科目ヲ定ムル事次ノ如シ

1、備　　品

受入科目　買入、生產、保管轉入、寄贈

拂出科目　賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與

1、消　耗　品

受入科目　買入、生產、保管轉入、寄贈

拂出科目　消耗、賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與

第6條　物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス

第7條　各部局ニ於ケル所要物品ハ品目數量及所要ノ事由ヲ明記シタル請求書ヲ當該主任ヨリ會計課ニ差出スヘシ

第8條　前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ新ニ購入ヲ必要トスルモノハ學校長ノ決裁ヲ經テ購買ノ手續キヲ爲スヘシ

第9條　各部局ニ於テ學術用器具機械ノ製作及修理ニ就キ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スルノ必要アルトキハ圖面及仕樣書並當業者ノ氏名ヲ記載シタル書面ヲ添付シ會計課ニ差出スヘシ

第10條　物品會計官吏備品ヲ受入レタルトキハ直ニ番號ヲ附スヘシ

第11條　消耗品ハ會計課ニ於テ1ヶ年ノ所要高ヲ豫定シ1回若クハ數回ニ取纏メ購入ヲ爲シ之ヲ倉庫若クハ適當ノ場所ニ藏置シ各部ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲナスヘシ

第12條　物品監守者ハ備品監守簿物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備付ケ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ請求書ニ受

領ノ印ヲ押捺シ受授ノ手續ヲ爲スヘシ

第13條　物品ノ出納命令及其他請求及支給ニ關スル樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第14條　物品ノ自然ニ破損シ修理及不用ニ屬シタル物品ハ各監守者ニ於テ會計課ニ修理請求又ハ返納ノ手續ヲナスヘシ
物品會計官吏ハ之ヲ調査シ修理使用ニ堪ヘルモノハ修理交付シ不用ニ屬シタルモノハ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第15條　不用品及製産品ノ賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル、但シ賣却シタル物品ノ代價徴收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第16條　物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ學校長ハ事實ヲ審査シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第17條　物品監守者ハ常ニ其ノ監守物品ノ保管ニ注意シ時々帳簿ニ對照シ點檢スヘシ
若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第18條　學校長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルニキハ其事實ヲ審査シ其監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出スルト認メタルトキハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第3章　檢　閱

第19條　學校長ハ物品檢閱委員長1名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ設ケ毎年1回以上物品ノ保管使用並消費上ノ適否ヲ檢査セシム

第20條　物品檢閱委員長ハ檢閱委員ヲ監督シ檢閱事務ヲ處理スヘシ、但シ學校長ノ許可ヲ受ケ各部ヨリ物品檢閱補助員ヲ命スル事ヲ得

第21條　物品檢閱委員ノ檢閱スヘキ要項次ノ如シ
1、物品保管ノ適否
2、物品使用ノ適否
3、消耗品消費ノ適否

4、帳簿ノ點檢及殘存物品ノ調査
5、物品缺損ノ有無
6、其他必要事項

第22條　物品檢閱ノ際ハ在庫品ニ就テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就キテハ物品監守者又ハ物品取扱主任其席ニ列シ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第23條　物品ノ檢閱ヲ了シタル時ハ檢閱委員長ハ檢閱ノ狀況ヲ詳具シ學校長ニ申報スヘシ

第4章　諸　帳　簿

第24條　物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ
1、備品出納簿
本簿ヲ大別シテ普通用備品出納簿、學術用備品出納簿トス
2、消耗品出納簿
本簿ヲ大別シテ普通用消耗品出納簿、學術用消耗品出納簿トス

第25條　物品監守者及物品取扱主任ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ
1、備品監守簿
2、消耗品受拂簿

第26條　本則ニ依ル諸帳簿類ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第27條　圖書ノ出納ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

---

11. 圖書館規程（大正13.4制定）

第1條　本校圖書ハ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ之ヲ處理スヘシ

第2條　本校所屬ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏ス

第3條　圖書館ニハ別ニ定ムル規程ニヨリ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管ス

第4條　次ノ圖書ハ凡テ本校所屬ノモノト同一ノ取扱ヲナス

1、 本校名義ヲ以テ他ヨリ借入レタル圖書
2、 委託保管ノ圖書
3、 各學科各教室又ハ各課ニ於テ寄附受領シタル圖書

第5條 教授上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ特別ノ場所ニ備置クコトヲ得

第6條 前條ノ圖書ニ關シテハ當該各科課各教室ニ於テ其責ニ任スル保管者ヲ定ム

第7條 本校職員、研究生、學生及第3條ノ圖書委託者其他學校長ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ閲覧スルコトヲ得

第8條 本校職員、研究生、學生ハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第9條 圖書ノ出納及圖書館ノ事務ハ圖書課ニ於テ取扱モノトス

第10條 總テ圖書ハ次ノ如ク整理スヘシ

1、 購入ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ數量及落丁ノ有無ヲ檢シ圖書原簿ニ登錄スルモノトス
2、 寄贈ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ名稱、數量、價額若ハ評價ヲ付シ會計課ト合議ノ上圖書原簿ニ登錄スルモノトス
3、 各科課各教室ニ備付ノ爲メニ貸付シタル圖書ハカード又ハ帳簿等ニ當該場所ヲ記シ圖書保管者ノ領收印ヲ徵シテ其ノ所在、種類、數量等ヲ明瞭ナラシムルモノトス

圖書貸附規程

第1條 本校所屬ノ圖書ハ圖書課員ノ外取扱ヲナスコトヲ得ス

第2條 教官ハ公務上必要ノ場合ハ掛員ノ承諾ヲ得テ書庫ニ入リ檢索スルコトヲ得

第3條 圖書貸附ノ方法ハ次ノ3種トシ借受者ヲ以テ責任者トス

1、 圖書館規程第5條ニヨリ特別ノ場所ニ備置クモノヲ備附圖書トス
2、 圖書館規程第7條ニヨリ閲覧室ニ於テ見ル爲貸與スルモノヲ閲覧圖書トス
3、 圖書館規程第8條ニヨリ貸附タルモノヲ貸出圖書トス

第4條 次ノ圖書ハ備附又ハ貸出圖書トシテ借受クルコトヲ得ス

1、 貴重圖書
2、 閲覧圖書トシテ缺クヘカラサルモノ
3、 貸出圖書トシテ同一圖書1部以上
4、 其他圖書課ニ於テ指定シタル圖書

第5條 備附及貸出圖書ハ次ノ部數ヲ限リ借受クルコトヲ得

備附圖書	各科課各教室	若干部
貸出圖書	教授、助教授、講師	10部以內(1ヶ月)
同	其他職員及研究生	5部以內(1ヶ月)
同	學生ハ(3日間)2部2册以內、長期休暇中ハ5部5册以內	

第6條 圖書ノ幅又ハ帙ヲナスモノハ1個ヲ以テ1部ト認メ逐次刊行書ハ1完册ヲ了スルマテノ若干號ヲ合セテ1部トス

第7條 圖書ヲ借受ケントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ

第8條 借受ケタル圖書ハ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第9條 借受ケノ圖書ハ毎年7月10日マテニ悉ク返納スルモノトス

前項期限ノ外必要ニ應シ臨時返納セシメ又ハ點檢スルコトアルヘシ

第10條 借受ケタル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ其損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシメ或ハ之ヲ修繕セシム、但シ時宜ニヨリ代金ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第11條 職員休職、退職、轉任又ハ海外渡航ノ場合及研究生、

學生、休學、退學又ハ卒業等ノ爲學校ヲ去ルニ當リ其借受ノ圖書ハ直チニ返納スルモノトス

圖書閲覽規程

第1條　圖書閲覽室ハ學校休日及臨時閉鎖ノ必要アル場合ノ外次ノ時間内之ヲ開ク

午前8時ヨリ午後4時マテ、但シ土曜日ハ午後2時30分マテトス

第2條　圖書館規程第7條ニヨリ圖書ヲ閲覽シ得ル者ニハ毎學年ノ始メニ於テ圖書閲覽票ヲ交附ス

第3條　圖書ヲ借覽セントスルモノハ所定ノ用紙ニ相當ノ事項ヲ記入シ閲覽票ヲ添ヘテ掛員ニ差出スヘシ、但シ本校職員ハ閲覽票ヲ要セス

第4條　借覽ノ圖書ハ閲覽室外ヘ携出スルヲ得ス

第5條　閲覽室内ニアリテハ喫煙、音讀、談論、雜話、放歌等總テ他ノ閲覽者ノ妨害トナル擧動ヲ禁ス

第6條　借覽ノ圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ其損害ノ程度ニヨリ辨償又ハ修繕セシム

第7條　閲覽室内ニテハ圖書課員ノ命ニ從フモノトス

委託圖書取扱規程

第1條　閲覽ニ供スル目的ヲ以テ1ケ年以上本校圖書館ニ保管ヲ委託セントスル者ハ其書目、著者名、價額及員數等ヲ詳記シ學校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第2條　委託者前條ノ許諾ヲ得タル時ハ該圖書ヲ圖書館ニ送致シ其受託證ヲ受クヘシ

第3條　委託圖書ハ其見易キ部ニ委託者ノ捺印有ルヲ要ス

第4條　委託圖書ハ本校所屬ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスト雖モ本校圖書ニ關スル規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトヲ得

第5條　圖書課主任ハ本校物品會計規定ニ準シ委託圖書出納簿及監守簿ヲ設ケ委託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第6條　委託圖書ハ火災、盜難其他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトアリトモ一切之ヲ辨償セス

第7條　委託圖書ハ圖書貸附規程第3條ニヨル備附圖書又ハ貸出圖書トスルコトヲ得ス

12. 試驗、分析、鑑定及加工規定

第1條　本校ハ教育上便益アリト認ムルモノニ對シテハ試驗、分析、鑑定(鑛物、岩石等)及加工ノ依頼ニ應スルコトアルヘシ

第2條　依頼者ハ別紙書式ニ依ル依頼書ヲ提出スヘシ

第3條　試驗、分析及鑑定依頼者ハ手數料ヲ、加工依頼者ハ加工費ノ$\frac{2}{10}$ノ内金ヲ前納スヘシ、手數料並ニ加工費ハ本校ニ於テ其都度之ヲ定ム

一旦納付セル手數料並ニ加工費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第4條　教育上特ニ有益ナリト認メタリ場合ハ手數料ヲ免除スルコトアルヘシ

第5條　試驗、分析、鑑定ヲ終了シタルトキハ證明書ヲ交付ス之カ複本ヲ請求スルトキハ紙數1枚ニ付金20錢ノ手數料ヲ納付スヘシ

第6條　試驗、分析及鑑定ノ爲メ差シ出シタル現品ハ之ヲ還付セス但シ豫メ申出アリタル場合ハ還付スルコトアルヘシ

第7條　加工品竣製ノ通知ヲ受ケタルトキハ1週間以内ニ代金完納ノ上現品ヲ引取ルヘシ

第8條　前條期間内ニ代金ヲ完納セサルトキハ契約ヲ解除シ現品並内金ヲ學校ノ所得トス

第9條　加工材料ニシテ當校ニ保管中、天災、火災其ノ他不可抗力ニ因ル損失ハ依頼者ノ負擔トス、但シ其ノ損失ノ加工後ニ生シタルトキ之カ加工費ノ損失ハ學校ノ負擔トス

(細則ハ別册ニ印刷ス)

13. 非 常 心 得 (大正13.4制定)

第1條　本校ニ於テ失火若クハ近火等非常事變ノ際ハ直チニ庶務課若クハ宿直員ニ急報スヘシ、但シ危急ノ場合ニ於テハ發見者先ツ警報ヲ疾呼シ又ハ號鐘ヲ亂打スヘシ

第2條　庶務課若クハ宿直員ハ前條ノ報ニ接シタルトキハ遲滯ナク次ノ處置ヲナスヘシ

1、號鐘ヲ亂打シ非常ヲ報シ消防署ヘ急報スルコト

2、休日又ハ退廳後ニアリテハ直ニ學校長及各係長ヘ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ急報シ他ノ職員一同ヘモ可成同樣ノ處置ヲ執ルヘシ

第3條　職員生徒及傭人ハ本校出火若クハ近火ノ場合ハ直ニ馳付ヘシ

第4條　非常手配トシテ次ノ係ヲ置ク

警備係、防火係、運搬係

各係ニ長1名副長若干名係員若干名ヲ置ク其ノ部署ハ毎年4月之ヲ定ム

第5條　非常ノ際ハ本部ヲ設ケ學校長及各係長ノ所在ニ之ヲ置ク

第6條　警備係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1、金庫ノ警護ニ任スルコト

2、非常本部ノ位置ヲ定メ標燈又ハ標旗ヲ樹ツルコト

3、夜間ニハ廊下事務所其他必要ノ場所ニ點燈スルコト

4、構内ヲ巡邏シテ盗難ヲ警戒スルコト

5、見舞人應接ノ任ニ當リ其ノ氏名ヲ錄スルコト

6、搬出物品ヲ監守スルコト

7、各部聯絡傳令ヲ司ルコト

第7條　防火係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1、非常事變ニ際シ第1線ノ任務ニ服スルコト

2、防火具ヲ使用シ專ラ消防ニ從事スルコト

第8條　運搬係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1、書類校具ヲ安全ノ位置ニ搬出スルコト、但シ非常持退ノ記號アルモノヲ先ニスルコト

第9條　係員不在又ハ少數ノ場合ハ各自臨機應援消防ニ從事スヘシ

第10條　次ノ非常用具ハ各係長ニ於テ夫々之ヲ整頓保管シ、ポンプ其ノ他器具類ハ時々之ヲ點檢使用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

1、常ニ防火用具ヲ整理シ一定ノ場所ニ備付之レカ使用並ニ備付場所ヲ校内一般ニ豫知セシメルコト

2、ポンプ、消火器、梯子、消火栓用ホース及筒先、斧、鋸、大槌

3、消火器、消火用水、消火用砂ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

4、運搬用具(擔架、荷車、其他)

5、消火器ニハ藥品充塡ノ年月日及有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前ニ藥品ノ充塡換ヲ爲スヘシ

6、各係長ハ協議ノ上時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第11條　非常演習ハ各係長協議ノ上學校長ノ許可ヲ得テ春秋2回以上之ヲ行フ

第12條　各科ニ於テハ各科ノ特別事情參酌ノ上各科生徒ト共ニ防備係ヲ組織シ之ヲ警備係長ニ屆ケ置クモノトス防備係ニハ係長1名ヲ置キ事變ノ際ハ警備係長ノ指揮ヲ受クヘシ

14. 宿 直 規 程 (大正13.4制定)

第1條　判任官以下ノ事務職員ハ輪番ヲ以テ1名ツヽ本校ニ宿直勤務スヘシ(但シ女子ハ除ク)

第2條　宿直ハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄勤務スルモノトス但シ休日ハ登校時限ヨリ翌日ノ登校時限迄トス

第3條　宿直ノ順番ハ庶務課ニ於テ其前日迄ニ本人ヘ通知スヘシ

第4條　次ノ諸項ノ1ニ該當スルモノハ宿直ヲ除番ス

1、出張中並ニ出發ノ前日及歸校ノ日

2、賜暇又ハ忌引

3、新任者着任後7日間

第5條　病氣其他ノ事故ニ因リ宿直ヲナシ能ハサルトキハ其ノ旨庶務課ニ屆出ツヘシ

前項ニ依リ宿直勤務ヲ缺ク者アルトキハ之ヲ一時除番シテ順次繰上ケ其事故止ミタルトキ直ニ之ヲ補勤セシム

第1項ノ場合ニ於テハ他ノ宿直者ト合意ノ上代人ヲ立テ又ハ當番ヲ交代シテ勤務スルコトヲ得

第6條　宿直勤務ノ標準次ノ如シ

1、校內ノ警備取締特ニ火ノ元ニ注意シ1回以上ハ必ス校內ヲ巡視スヘシ

2、非常ノ場合ハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスヘシ

3、本校ニ到着シタル公文書ハ收受簿ニ登記シ翌日之ヲ庶務課ニ引繼キ其ノ至急ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ當該主任ニ送付スルコト

第7條　宿直日誌ニハ次ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

1、月、日、7曜、祭日、天候

2、宿直者氏名

3、登校者及參觀人ノ官氏名時刻等

4、校內巡視ノ模樣

5、其ノ他宿直中處理シタル事項

第8條　宿直室ニハ次ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

1、宿直日誌

2、職員名簿

3、送付簿

4、暗號電信符號

5、郵便切手受拂簿

6、收受簿

15. 校友會規則 (大正13.4制定)

第1條　本校學生並ニ職員ハ本校々風發揚ニ資スル目的ヲ以テ校友會ヲ組織スルコトヲ得

第2條　校友會ニハ武道部、運動部、學藝部ヲ設クルコトヲ得但シ各部ハ更ニ之ヲ細分スルヲ妨ケス

第3條　校友會ニハ會長1名、幹事長1名、幹事、會計主任、部長、主事等必要ナル役員ヲ置ク、但シ會長ハ本校々長幹事長ハ本校生徒監部長並ニ會計主任ハ本校職員ヲ以テ幹事並ニ主事ハ學生ヲ以テ充ツヘシ

學生ニシテ次ノ各號ノ1ニ該當スルモノ役員タルヲ得ス

1、學業成績不良ニ因ル原級者

2、前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者

3、受罰中ノ者

4、平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサルモノ

第4條　會長ハ本校職員學生以外ノ者ヲ會員トシテ推薦スルコトヲ得

第5條　校友會ニ於テ會費並入會金ヲ徵集シ又寄附ヲ受納スルコトヲ得

第6條　校友會並ニ各部主催ニ關スル種々ノ催ハ校內ニ於テ之ヲナスヲ本則トス

第7條　各部選手ハ常任トセス其都度該部ニ於ケル優秀ナル技倆ヲ有スル者ノ中ヨリ會長之ヲ選ヒ學校職員會議ノ承認ヲ經テ任スヘシ、但シ次ノ各號ノ1ニ該當スルモノハ選手タルコトヲ得ス

1、學業成績不良ニ因ル原級者

2、假進級中ノ者

3、 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
4、 受罰中ノ者
5、 代表保證人ヨリ反對セラレタル者
6、 校醫ヨリ健康上不適當ト認メラレタ者
7、 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサル者

第8條 各部有志トシテ校外ニ出ツル場合學校代表者ト見做サレ易キ者ハ前條ニ準シ學校ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第9條 校友會々則ハ會長之ヲ定ム

VI 職　員

（昭和2.5.1現在）

商　議　員

長岡市長 從四位勳三等　岩田衞
長岡商業會議所會頭　澁谷善作
正三位勳二等 工學博士　山川義太郎
正四位勳二等　橋本圭三郎
正三位勳三等工學博士子爵　大河内正敏
從五位　大橋新太郎
工學博士　棚橋寅五郎
文部書記官從五位　木村正義

現　職　員

校長

二等　正五勳四　福田　爲造（東）Hukuda-Tamezô

教授

二等 評議員 電氣工學科長　從四勳三　槇田　護臣（群）Makita-Moriomi
三等　從五　日下部富藏（知）Kusakabe-Tomizô
四等　正六　臼倉錠次郎（東）Usukura-Dyôzirô
四等 評議員 應用化學科長　正六　岡部　欽二（口）Okabe-Kinzi
四等 評議員 生徒監　正六　早船　慧雲（玉）Hayahune-Eun
六等 評議員　正七　伊藤　貞治（城）Itô-Teidi
六等 評議員 幹事　正七　弘中　廣志（口）Hironaka-Hirosi
六等　從七　松村　龍雄（新）Matumura-Tatuo
六等　從七　古金次郎一（廣）Hurukane-Ziroiti
六等　從七　山崎　貫三（新）Yamazaki-Kwanzô
六等　從七　幸林　良作（富）Kôbayasi-Ryôsaku
七等　從七　須永　秀彌（北）Sunaga-Hideya
七等　從七　高澤十三郎（新）Takazawa-Zyûzaburô

七 等 從 七 近藤杉樹郎（新）Kondô-Sanzurô

七 等 從 七 山口 四郎（東）Yamaguti-Sirô

七 等 從 七 柴田雄三郎（兵）Sibata-Yûzaburô

助教授

飛永 甚治（富）Tobinaga-Zindi

宇野 茂太（形）Uno-Sigeta

竹內 左內（東）Takeuti-Sanai

鈴木 恪雄（玉）Suzuki-Kakuo

正 八 小山 健藏（新）Koyama-Kenzô

津田 吉文（分）Tuda-Yosibumi

尾高 雅次（群）Odaka-Masazi

內田 宗義（東）Utida-Nuneyosi

講 師

評議員 機械工學科長 森 相 時（城）Mori-Suketoki

松倉時之助（富）Masukura-Tokinosuke

正 六 清水 家助（兵）Simidu-Iesuke

武田悅次郎（神）Takeda-Etuzirô

陸軍步兵特務曹長勳六 五十嵐廣作（新）Ikarasi-Hirosaku

配屬將校

陸軍砲兵少佐正六勳四 淺野 長房（城）Asano-Nagahusa

書 記

從七勳七 石澤 好三（秋）Isizawa-Kôzô

大原孝次郎（形）Oohara-Kôzirô

阿部 國貞（新）Abe-Kunisada

中野 誠二（口）Nakano-Seizi

土屋 正哲（新）Tutiya-Masaki

穗苅 忠二（新）Hokari-Tyûzi

雇

正 八 樋口 武雄（野）Higuti-Takeo

笠原 榮吉（新）Kasahara-Eikiti

正 八 室賀 幸雄（新）Muroga-Yukio

勳 七 長谷川梅太郎（新）Hasegawa-Umetarô

小島 貞（野）Kozima-Tadasi

正 八 佐藤 精一（新）Satô-Seiiti

丸田 忠雄（新）Maruta-Tadao

赤部 一（新）Akabe-Hitosi

正 八 齋藤 虎雄（新）Saitô-Torao

安達繁太郎（新）Adati-Sigetarô

勳 八 高木 昌雄（新）Takagi-Masao

草開 達二（富）Kusabiraki-Tatuzi

近藤素之助（新）Kondô-Sonosuke

清水 守市（玉）Simidu-Moriiti

安藤 竹代（新）Andô-Takeyo

囑 託

勳 八 玉井 龜雄（野）Tamai-Kameo

細貝 省二（新）Hosogai-Syôzi

產江 植吉（新）Ubue-Uekiti

學校醫

正 七 今井 楢三（阪）Imai-Narazô

職員受持一覽表

事 務 室

校 長 理學士 福田 爲造

幹 事 教 授 弘中 廣志

生徒監 教 授 早船 慧雲

庶 務 課

主 任 書 記 大原孝次郎

（兼） 書 記 中野 誠二

會 計 課

主任	書記	石澤 好三
(兼)	書記	中野 誠二
	書記	土屋 正哲
	書記	穗苅 忠二
	雇	淸水 守市
	雇	安藤 竹代

教 務 課

主任	教授	弘中 廣志
	雇	長谷川梅太郎
(兼)	雇	丸田 忠雄
(兼)	雇	高木 昌雄

學 生 課

	助教授	宇野 茂太
主任	講師	五十嵐廣作
	雇	丸田 忠雄

圖 書 課

主任	書記	中野 誠二
	雇	室賀 幸雄

調査計畫課

主任	教授	弘中 廣志
(兼)	書記	石澤 好三
(兼)	書記	大原孝次郎
	書記	阿部 國貞
(兼)	書記	中野 誠二

醫 務 室

學校醫	囑託醫學博士	今井 楢三

體 育 教 室

體操	體育主任	助教授	宇野 茂太
劍道		囑託	玉井 龜雄
弓道		囑託	細貝 省二
柔道		囑託	產江 植吉

教 練 教 室

主任		陸軍砲兵少佐	淺野 長房
		陸軍步兵特務曹長	五十嵐廣作

文 科 教 室

修身、外國語	外國語主任	教授文學士	早船 慧雲
外國語、法制經濟、工場經營		教授經濟學士	須永 秀彌
外國語		講師	淸水 家助

理 科 教 室

(在外研究中)		教授理學士	日下部富藏
物理學、物理學實驗	物理學及物理學實驗主任	教授理學士	伊藤 貞治
物理學、物理學實驗		教授理學士	松村 龍雄
數學	數學主任	教授理學士	高澤十三郎
數學、物理學實驗		講師理學士	武田悅次郎
物理學實驗		助教授	竹內 左內
助手		雇	小島 貞

電 氣 教 室

電氣機械及設計、讀書攻究、電氣工學 電燈及照明、電氣鐵道	科長	教授工學士	槇田 護臣
電氣理論、電信及電話、實驗實習		教授工學士	山崎 貫三
電氣機械及設計、發電所及變電所		講師工學士	松倉時之助
電氣磁氣測定、電氣材料及器具 設計及製圖、實驗實習		助教授工學得業士	津田 吉文
送電及配電、設計及製圖、實驗實習		助教授	尾高 雅次
助手		雇	樋口 武雄
助手		雇	齋藤 虎雄

助　手		雇		安達繁太郎

機械教室

原動機概說、水力及水力機、機構學 設計及製圖、實驗實習	科長	講　師	工學士	森相　時
(在外研究中)		教　授	工學士	臼倉錠次郎
機械工學通論、機械製圖		教　授		弘中　廣志
材料力學、熱力學、汽罐、金屬材料 設計及製圖、實驗實習		教　授	工學士	古金次郎一
讀書攷究、熱力學、內燃機關、設計及製圖 實驗實習		教　授	工學士	近藤杉樹郎
機械工作法、熱氣機關及タービン、實驗實習		助教授		飛永　甚治
機械設計、實驗工學、設計及製圖、實驗實習		助教授		小山　健藏
助　手		雇		赤部　一
助　手		雇		草開　達二

化學教室

電氣科學及電池、應用電氣化學、製造 化學第一部製造化學特論I、實驗實習	科長	教　授	工學士	岡部　欽二
製造化學第二部、製造化學第四部 製造化學特論II、化學、實驗實習		教　授		幸林　良作
有機化學、讀書攷究、製造化學III、實驗實習		教　授	理學士	山口　四郎
無機化學、物理化學、讀書攷究、實驗實習		教　授	理學士	柴田雄三郎
化學、實驗實習		助教授		鈴木　恪雄
實驗實習、製造化學I(分擔)鑛物學		助教授		內田　宗義
助　手		雇		笠原　榮吉
助　手		雇		佐藤　精一
助　手		雇		近藤素之助

舊職員

	氏名	官職名	就職年月日	退職年月日
Tatezaki-Yosisada	館崎　美定	書　記	大正13. 1.25任	大正13.10.15退
Tanimoto-Yosiyasu	谷本　賀安	雇	大正13. 4.12命	大正13.12.20退
Yamada-Teikiti	山田　貞吉	雇	大正13.10.13命	大正13.12.25退

Iguti-Takco	井口太計夫	雇	大正13. 5.16命	大正14. 2. 6退
Nakasono-Susumu	中園　進	助教授	大正13. 4. 9任	大正14. 3.31退
Isizawa-Harusuke	石澤　治亮	雇	大正14. 4. 9命	大正14. 7.20退
Nisimura-Terue	西村　輝惠	學校醫	大正13. 4. 1囑	大正14. 9.30退
Yamaki-Hukumatu	山木　福松	囑　託	大正14. 6.15囑	大正15. 1. 4退
Satô-Tosiko	佐藤　俊子	雇	大正13. 3.25命	大正15. 1.14退
Hiraoka-Munetake	平岡　宗威	教　授	大正13. 1. 7任	大正15. 3.24退
Sakabe-Sigetosi	阪部　重壽	講　師	大正14.11.10囑	大正15. 3.31退
Inomata-Sôroku	猪股　惣六	教　授	大正13. 9. 1任	大正15.10.25死
Kokubu-Kenzi	國府　健次	講　師	大正15. 4. 7囑	大正15.10.30退
Moritani-Itirô	森谷　一郎	講　師	大正15. 4. 1囑	大正15.10.31退
Hasegawa-Tatuo	長谷川龍雄	講　師	大正15. 4. 1囑	大正15.10.31退
Kawakami-Tomisaku	川上　富作	雇	大正13. 7. 1命	大正15.12. 3退

VII 學　　生

1. 學　生　氏　名（綴＝ABC順）

（昭和 2. 5. 1 現在）

電氣工學科第 3 學年（30名）

	氏　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoyagi-Monsiti	青柳紋七	(新)	長岡工	學級總代(1)
Hanawa-Yosio	塙　義雄	(茨)	太田中	
Honma-Kôiti	本間孝一	(新)	長岡工	
Hosino-Nobuo	星野信夫	(新)	長岡中	
Hukuda-Hideo	福田秀夫	(栃)	京華中	音樂主事(2.3)
Ikeda-Makoto	池田　誠	(新)	高田中	水泳主事(1.2.3)
Inada-Humio	稻田文雄	(富)	魚津中	
Kaidu-Sin'ei	海津信衛	(新)	新潟中	
Kanayama-Hideo	金山秀雄	(新)	高田中	學級總代(1.)鐵道省給費生(1.2.3)
Kimura-Sigeo	木村重雄	(新)	長岡中	
Kitamura-Kôtoku	北村孝德	(野)	長野中	學級總代(1.2)校友會幹事(2.3)
Konisi-Eisitirô	小西榮七郎	(新)	長岡中	
Moriyama-Hiromu	森山　擴	(新)	三條中	
Murayama-Saburô	村山三郎	(新)	同上	講演主事(2.3)
Nisiyama-Nisaburô	西山二三郎	(新)	長岡中	弓道主事(2.3)
Nisizawa-Heiitirô	西澤平一郎	(新)	長岡工	
Nomoto-Matusiti	野本松七	(新)	長岡中	
Oda-Seizi	小田正二	(新)	村上中	
Oda-Syôroku	小田莊六	(新)	同上	
Oda-Tokunosuke	小田德之助	(新)	新潟中	
Oosima-Kenzô	大島健三	(新)	三條中	
Ootuka-Tamekiti	大塚爲吉	(新)	新潟中	新潟縣貸費(1.2.3)
Sirai-Takesi	白井　武	(新)	長岡中	
Suzuki-Iwao	鈴木岩雄	(新)	長岡工	學級總代(1.2.3)校友會幹事(2.3)
Takahasi-Tunezi	高橋恒次	(新)	村上中	
Taniuti-Tyûtarô	谷内忠太郎	(新)	小千谷中	講演主事(1.2)
Tatikawa-Masazi	太刀川正二	(新)	長岡中	
Watanabe-Hideo	渡邊秀男	(新)	長岡工	
Yamaguti-Masamori	山口正盛	(野)	松本中	學級總代(3)
Yosimura-Seizirô	吉村清次郎	(野)	長野工	

機械工學科第三學年　（30名）

	氏　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Arai-Tatuo	新井達雄	(新)	高田中	
Aikawa-Sumio	相川澄雄	(群)	高崎中	
Hanyû-Isamu	羽入　勇	(新)	新潟中	
Hara-Kenzi	原　健二	(新)	柏崎中	
Hasegawa-Kazuo	長谷川一男	(新)	長岡工	
Hosino-Itiya	星野一也	(新)	同上	學級總代(1)(1.2)
Kanie-Hyôiti	蟹江兵一	(知)	仝上	
Kaneko-Humio	金子文雄	(新)	長岡工	ピンポン主事(2.3)
Kasima-Syôgo	鹿島省吾	(千)	木更津中	
Kobayasi-Masanao	小林正直	(新)	長岡工	
Kobayasi-Torao	小林虎雄	(新)	長岡工	野球主事(2.3)
Komagata-Ryôsaku	駒形良作	(新)	長岡中	球技主事(1.2.3)
Minakawa-Kibisi	皆川　嚴	(新)	村松中	柔道主事(2.3)
Murakami-Tetuo	村上哲男	(媛)	今治中	庭球主事(2.3)
Nakayama-Bungo	中山文吾	(新)	新潟中	相僕主事(1.2)
Nisiki-Seisaku	西木晴策	(新)	三條中	ピンポン主事(2.3)
Ogino-Katunami	萩野勝波	(新)	小千谷中	柔道主事(1.2)校友會幹事(2.3)
Oka-Kunio	岡　九二男	(新)	新潟中	
Oosaki-Tadao	大崎忠男	(新)	村上中	新潟縣貸費生(1.2.3)海軍造兵生徒(3)
Oota-Nobusige	太田信重	(新)	長岡工	
Sakai-Masao	阪井政夫	(阪)	堺　中	學級總代(2.3)野球主事(2.3)
Sanemasa-Yosiharu	實政義治	(廣)	山陽中	
Simaoka-Heizô	島岡平藏	(新)	長岡中	學級總代(2.3)校友會幹事(2.3)
Simoda-Sinzi	下田信次	(新)	同　上	劍道、スキー主事(1.2.3)

Sugai-Gorô	須貝五郎	(新)	村上中	
Takahasi-Tokusaburô	高橋德三郎	(新)	長岡中	
Takai-Sinsuke	高井進介	(栃)	栃木中	
Takeuti-Takesi	武內武司	(新)	高田中	
Tanabe-Denzô	田邊傳三	(新)	新發田中	
Tutida-Sigesi	土田繁	(新)	長岡中	

應用化學科第三學年 (33名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Hironosuke	阿部弘之助	(新)	小千谷中	
Abe-Kiyodi	阿部龜代治	(新)	長岡工	
Amagai-Kôzi	天谷廣次	(栃)	栃木中	
Aoyagi-Yûdi	青柳勇治	(新)	長岡中	
Hasegawa-Yosikatu	長谷川義勝	(新)	同上	柔道主事(2.3)
Hirata-Masao	平田正夫	(新)	能生水產	
Ihi-Yosio	伊比義雄	(新)	柏崎中	
Igarasi-Mituru	五十嵐光	(新)	長岡工	
Ikai-Eiiti	井海榮一	(新)	長岡中	陸上競技主事(2.3)
Kamimura-Seigorô	上村清五郎	(新)	同上	球技主事(2.3)
Kaneyasu-Niitirô	金安仁一郎	(新)	同上	スキー主事(2.3)
Kasuga-tensyô	春日天生	(新)	同上	學級總代(3)
Kasuga-Tokirô	春日時郎	(新)	長岡工	學級總代(3)
Kosuge-Siduo	小管靜夫	(新)	高田中	庭球主事(2.3)
Minami-Moriei	南森榮	(新)	長岡中	
Misaki-Tatue	三崎辰衛	(新)	長岡工	學級總代(1.2)文部省給費生(1.2.3)校友會幹事(2.3)
Mitigami-Sigeo	道上重雄	(新)	青森中	
Miyahara-Kanemori	宮原金盛	(野)	長野工	
Motiduki-Yosihumi	望月美文	(野)	飯山中	
Nakatani Seinosuke	中谷精之助	(奈)	吉野工	
Narita-Isao	成田功	(知)	半田中	
Onuma-Disaku	小沼治作	(島)	福島工	
Oonisi-Syûiti	大西周一	(富)	富山工	育英社貸費生(1.2.3)

Saitô-Hirokuni	齋藤博邦	(新)	糸魚川中	音樂主事(2.3)
Sakadume-Kôzô	坂爪幸三	(新)	長岡工	
Tanaka-Teturô	田中哲郎	(新)	新潟中	
Togawa-Nobuzi	外川信次	(新)	長岡工	
Yamada-Teikiti	山田貞吉	(新)	專檢合格	學級總代(1)(1.2)校友會幹事(2.3)
Yamagisi-Akinori	山岸明德	(新)	長岡中	學級總代(1)(1)
Yatida-Takeo	谷內田武雄	(新)	同上	
Yazima-Makoto	矢島眞	(新)	同上	
Yosida-Hirosi	吉田博	(新)	柏崎中	
Yumoto-Masatosi	湯本應利	(新)	長岡工	

電氣工學科第二學年 (37名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Ban-Tunesaku	伴常作	(新)	長岡中	
Bôzyô-Tadao	坊上忠雄	(香)	丸龜中	
Daikôzi-Masami	大光寺正見	(岩)	盛岡工	
Hasegawa-Tosio	長谷川俊雄	(新)	長岡工	陸上競技岡主事(1.2)
Hirose-Syunzi	廣瀨俊司	(新)	長岡中	
Itô-keiiti	伊藤敬一	(新)	三條中	
Kanbe-Tadasi	神戶正	(新)	高田中	
Kawasima-Kôhei	川島康平	(新)	長岡工	新潟縣貸費生(1.2)
Kimura-Nobuzi	木村信次	(靜)	掛川中	
Kizima-Nisaku	木島仁策	(新)	能生水產	學級總代(1)(1.2)新潟縣貸費生(1.2)
Kuriyama-Kiyosi	栗山潔	(兵)	神戶工	
Maezawa-Atusi	前澤篤	(新)	小千谷中	
Matui-Tosio	松井敏夫	(福)	高田中	
Matukawa-Sin'ya	松川申也	(新)	長岡中	
Minemura-Risuke	峯村利助	(新)	高田中	
Murata-Sigetami	村田茂民	(岡)	岡山工	
Oka-Syôgorô	岡正午郎	(新)	長岡中	
Ooti-Hirosi	大智浩	(岡)	村上中	
Oowada-Noritane	大和田盛胤	(秋)	神通中	

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Otiai-Isamu	落合勇	(靜)	掛川中	
Saitô-Tadasi	齋藤征	(新)	三條中	
Saitô-Yû	齋藤勇	(新)	長岡中	
Sakai-Mazaimon	酒井間左エ門	(富)	小千谷中	
Sakurai-Sin'itirô	櫻井新一郎	(新)	新發田中	新潟縣貸費生(1.2)
Satô-Hideo	佐藤秀男	(新)	小千谷中	
Satô-Susumu	佐藤晋	(群)	前橋中	
Seki-Kanae	關香苗	(新)	柏崎中	
Takahasi-Yosio	高橋芳雄	(新)	同上	
Takeuti-Syôzi	竹内昇司	(新)	村上中	
Tanaka-Yosio	田中芳夫	(靜)	長岡中	
Taneoka-Kunitake	種岡國威	(新)	柏崎中	劍道主事(1.2)
Tatiiri-Minoru	建入實	(新)	高田中	
Tuboya-Zenzaburô	坪谷善三郎	(新)	三條中	
Wasio-Seidi	鷲尾靜治	(新)	長岡中	
Yamaguti-Hirosi	山口宏	(新)	同上	水泳主事(1.2)
Yamasita-Humio	山下文雄	(新)	同上	學級總代(1)(1.2) 弓道主事(1.2)
Yosida-Yosiharu	吉田義治	(新)	同上	

機械工學科第二學年 (36名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Itirô	阿部一郎	(岩)	一關中	
Aoki-Zyunnosuke	青木順之助	(玉)	熊谷中	
Beppu-Sigeki	別府滋樹	(野)	上田中	學級總代(2)
Hara-Siro	原四郎	(島)	喜多方中	文部省給費生(1.2)
Hasegawa-Teruo	長谷川光雄	(玉)	熊谷中	大川育英會給費生(1.2)
Hotta-Keizô	堀田啓三	(富)	魚津中	
Hudii-Rinzô	藤井林造	(富)	神通中	
Imoto-Kwandyû	井本寛重	(根)	大田中	
Itagaki-Manabu	板垣學	(形)	柏崎中	
Kaneyama-Sirosi	金山皓	(新)	長岡中	
Kaneko-Sirôdi	金子四郎治	(群)	澁川中	

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Kanzô-Nobuo	神藏信雄	(新)	佐渡中	
Kawamura-Susumu	川村晋	(高)	高知工	相僕主事(1.2)
Kimura-Hideo	木村秀雄	(新)	長岡中	
Kin-Kensyô	金賢燮	(朝)	平壤高普	
Kitamura-Tomoo	北村知男	(野)	長野工	學級總代(1)(1)
Koike-Sirô	小池四郎	(島)	喜多方中	
Kozima-Yosinori	兒島義敎	(新)	新潟中	
Kubo-Myôiti	窪明一	(新)	三條中	
Manba-Tutomu	萬羽邁	(新)	長岡中	
Matubara-Masaki	松原正樹	(新)	新發田中	
Nagai-Ken'iti	長井健一	(新)	小千谷中	
Nakamura-Takeo	中村武夫	(新)	柏崎中	
Nakano-Kotôda	中野小藤太	(野)	松本中	學級總代(1.2)
Nakano-Yosio	中野義雄	(新)	柏崎中	新潟縣貸費生(1.2)
Nanba-Tunesige	難波常繁	(新)	長岡工	文部省給費生(1.2)
Oota-Syôzaburô	太田昇三郎	(新)	同上	
Saitô-Teidirô	齋藤貞治郎	(新)	同上	新潟縣貸費生(1.2) 相僕主事(1.2)
Saitô-Teiiti	齋藤貞一	(新)	高田中	
Simadu-Syûdi	島津秋治	(滋)	金澤工	
Tatibana-Yaiti	橘彌一	(井)	北陸中	
Tuda-Sirô	津田四郎	(東)	明治中	
Utugi-Sin	宇津木信	(島)	東京工藝	
Watanabe-Sigetake	渡邊重武	(北)	札幌工	
Yazima-Si ibu	矢島式部	(野)	伊那中	
Yonai-Kotarô	米内小太郎	(岩)	釧路中	

應用化學科第二學年 (36名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Asakura-Kiyosi	朝倉潔	(新)	村松中	
Hara-Mitio	原道夫	(新)	柏崎中	
Hokari-Kanzô	穗刈監三	(新)	長岡中	
Hosino-Atusi	星野篤	(新)	仝上	

Hosino-Seikiti	星野誠吉(新)	長岡中	
Hudii-Tahei	藤井多兵衛(栃)	眞岡中	學級總代(1)(1.2)
Iguti-Hidekiti	井口秀吉(新)	長岡中	
Isikawa-Rokurô	石川六郎(崎)	長崎中	
Koike-Motozi	小池元二(野)	諏訪中	
Kotazima-Tanzi	古田島坦二(新)	長岡中	
Koyama-Gosaku	小山吾作(新)	三條中	
Kitamura-Zyôkiti	北村讓吉(富)	富山中	
Mabuti-Tikakazu	馬淵親毅(靜)	濱松工	
Makino-Yasuo	牧野泰夫(井)	大野中	
Matuzawa-Haruo	松澤春雄(野)	松本中	
Miduki-Isami	水城伊左美(福)	三井工	學級總代(2) 講演主事(1.2)
Motoyosi-Masanori	元吉正文(千)	郁文館中	
Nakamura-Kiyosi	中村潔(新)	長岡中	
Onoyama-Sinpei	小野山幸平(野)	明治學院中	
Ooi-Kitizô	大井吉藏(秋)	本莊中	
Oomiya-Syunzi	大宮俊二(新)	長岡中	
Saitô-Hideo	齋藤英夫(新)	村上中	
Tamino-Yasuzi	民野安二(富)	富山中	
Tomita-Takeo	富田武雄(玉)	熊谷中	
Tutikawa-Kôhu	土川孝生(井)	武生中	
Utiyama-Takeo	內山武夫(井)	福井工	
Watanabe-Masao	渡部政雄(新)	佐渡中	
Yamamoto-Yasugorô	山本康五郎(鳥)	米子中	
Yamazaki-Kenzi	山崎憲司(新)	小千谷中	
Yokoyama-Risaku	橫山利策(新)	新潟師	學級總代(1)(1)
Yosida-Yutaka	吉田豐(新)	柏崎中	

電氣工學科第一學年　(39名)

	氏名　本籍	出身學校	役員其ノ他
Arai-Zen'iti	荒井善一(新)	長岡工	
Hamanaka-Kamezi	濱中龜次(北)	北海中	

Hanamura-Sueiti	花村末市(野)	松本中	
Hasidate-Takeo	橋立武夫(新)	高田中	山口奬學貸費生(1)
Hibi-Yasu	日比保(知)	神戸第二中	
Hosoya-Kenzô	細谷謙三(新)	高田中	
Imai-Kisuke	今井喜助(阪)	堺中	
Imai-Wasaburô	今井和三郎(富)	礪波中	
Isizaka-Sôkiti	石坂壯吉(新)	長岡中	
Iyama-Sigesaburô	井山重三郎(形)	酒田商	
Kabasawa-Yosiharu	椛澤義治(新)	長岡中	
Kaneko-Makoto	金子誠(新)	同上	
Kobayasi-Sôsaku	小林惣作(新)	同上	
Kôno-Sintarô	河野新太郎(兵)	兵庫工	
Kuduna-Yutaka	久津名裕(島)	育英中	學級總代(1)
Matukawa-Kiyosi	松川潔(新)	三條中	
Minagawa-Tunezi	皆川恒次(新)	長岡中	
Morohasi-Kinzirô	諸橋金次郎(北)	俱知安中	
Morohasi-Yasusi	諸橋仁(新)	三條中	
Nagaoka-Bunkiti	長岡文吉(島)	大社中	
Nisiyama-Syôgorô	西山正五郎(新)	長岡中	
Nisizawa-Kurô	西澤九郎(野)	長野中	學級總代(1)
Nonaka-Isamu	野中勇(新)	長岡中	
Oguma-Mineo	小熊三千夫(新)	同上	
Okamura-Kinzô	岡村謹藏(新)	新潟中	
Oomura-Masaya	大村正也(兵)	神戸第二中	
Sakai-Syôiti	堺省一(新)	新潟中	
Sugiura-Rikiti	杉浦利吉(知)	成章中	
Takagi-Suio	高木末夫(兵)	粟島航海	
Takahasi-Seimatu	高橋清松(新)	長岡中	
Tanaka-Hideo	田中秀雄(新)	同上	
Tatara-Sigeo	多田羅繁雄(香)	丸龜中	
Toya-Syûkiti	戸谷周吉(埼)	熊谷中	

Tukano-Jkusa	塚野軍	(新)	長岡中	
Uehara-Zenzirô	上原善二郎	(鳥)	鳥取第一中	
Uranisi-Siduoki	浦西賤起	(奈)	郡山中	
Yanase-Sigetosi	柳瀬茂敏	(富)	富山中	
Yosikawa-Yosio	吉川吉夫	(新)	新潟中	
Zinbo-Kaworu	神保馨	(新)	長岡中	

機械工學科第一學年 (38名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Araki-Naozi	荒木直司	(群)	澁川中	
Hirose-Itiro	廣瀬一郎	(茨)	郁文館中	
Honma-Yusakiti	本間勇佐吉	(新)	高田師	學級總代(1.1)
Hosoya-Tokuzi	細谷得二	(新)	刈谷中	
Hudii--Sigeru	藤井茂	(兵)	柏原中	
Huruiti-Sigeru	古市茂	(井)	福井中	
Isimura-Yosiyuki	石村義之	(新)	長岡中	
Kobayasi-Syuiti	小林守一	(新)	三條中	
Kondô-Seidi	近藤誠治	(新)	柏崎中	
Kondô-Tiaki	近藤千秋	(新)	同上	
Kômoto-Masahiko	甲本正彦	(岡)	津山中	
Kubota-Tosio	久保田俊夫	(井)	福井中	
Kusunoki-Minori	楠三德	(香)	三豐中	
Makino-Humio	牧野文男	(大)	生野中	
Masui-Tositake	增井利武	(兵)	神戸第三中	
Mori-Masao	森正雄	(東)	米子中	
Nagasawa-Suesiti	長澤末七	(新)	長岡中	
Nakanisi-Masatake	西西正武	(熊)	川越中	
Oguri-Yosimasa	小栗義全	(東)	忠海中	
Okamura-Ken	岡村憲	(新)	小千谷中	
Oniki-Kizô	鬼木喜藏	(福)	八女工	學級總代(1)
Ôokubo-Tôru	大久保透	(茨)	高田中	
Ozaki-Tomoo	尾崎友夫	(岡)	高梁中	

Ôoya-Hirokazu	大矢廣魁	(新)	小千谷中	
Satô-Tomizirô	佐藤富二郎	(新)	三條中	
Sekiguti-Masadi	關口政治	(新)	長岡工	中野財團貸費生(1)
Sinzawa-Yosio	新澤義夫	(新)	柏崎中	
Sirai-Seidi	白井清次	(北)	函館中	
Tago-Teisuke	多胡悌介	(島)	鴻城中	
Takano-Hideo	高野日出男	(新)	長岡中	
Toda-Kinsaku	戸田勤作	(新)	柏崎中	
Toyosima-Kiiti	豐島毅一	(香)	丸龜中	
Tuda-Tadasuke	津田忠助	(神)	神奈川工	
Tutiya-Mitituna	土屋通綱	(靜)	豆陽中	
Uehara-Kiyozô	上原喜代藏	(玉)	粕壁中	
Wasida-Dirô	鷲田二郎	(新)	柏崎中	
Yamaguti-Yasusi	山口恭	(茨)	水戸中	
Yamazaki-Seturô	山崎節郎	(兵)	村野工	

應用化學科第一學年 (32名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Amaya-Yasuhide	雨谷泰秀	(茨)	鉾田中	
Hasegawa-Syunsuke	長谷川俊亮	(新)	長岡中	
Hirata-Yutaka	平田豐	(德)	脇町中	
Hosokai-Saburô	細貝三郎	(新)	長岡中	
Iwamasa-Yasusi	岩政泰	(口)	防府中	
Kawase-Yasuo	河瀬康雄	(香)	大川中	
Kitahara-Tosiaki	北原利秀	(福)	若松中	
Kobayasi-Akira	小林晃	(三)	牛田中	
Maida-Kazuo	前田一雄	(富)	富山工	
Maida-Seiiti	前田城一	(德)	脇町中	
Matuo-Haruo	松尾春雄	(佐)	鹿島中	
Mima-Yosihumi	美馬善文	(香)	高松中	
Minami-Minoru	南實	(三)	三重工	
Murakami-Kazunobu	村上一信	(富)	神通中	

Nagatani-Kôzô	長谷康造(新)	巻中	
Okamoto-Usio	岡本丑雄(岐)	惠那中	
Ono-Nobukazu	小野信紀(島)	會津中	會津青英會貸費生(1)
Oosawa-Tosikatu	大澤利克(根)	島根工	
Oowan-Seizin	大灣政仁(沖)	沖繩第二中	
Ooyama-Tosio	大山利雄(新)	高田中	
Oyama-Masahiko	尾山正彦(北)	釧路中	
Sαtô-Yosirô	佐藤義郎(宮)	延岡中	
Satô-Tetuzi	佐藤鐵次(新)	村上中	
Segawa-Hidesato	瀬川英敏(奈)	御所工	學級總代(1)
Siodu-Tosihei	鹽津敏平(三)	三重工	學級總代(1)
Sirone-Yurio	白根百合雄(口)	長府中	
Takano-Masuo	高野益夫(崎)	川越中	
Takatu-Tomisiti	高津富七(新)	長岡中	
Takayanagi-Susumu	高柳進(新)	三條中	
Takizawa-Seita	瀧澤清太(新)	柏崎中	
Wada-Hidemaro	和田秀麿呂(新)	同上	
Yosida-Seidi	吉田清治(新)	小千谷中	

2 卒業者・修業者氏名

電氣工學科

昭和2年3月卒業(第1回34名) ABC順

	氏名 本籍	勤先
Asano-Zirô	淺野次郎(島)	中越水電株式會社
Hirayama-Mitio	平山道男(新)	長岡工業學校
Hiroi-Saburô	廣井左武郎(新)	見附小學校
Honmô-Tosiie	本望利家(新)	山陽水力電氣株式會社
Hosino-Motoi	星野基(新)	目黒蒲田電鐵株式會社
Hudita-Sukezirô	藤田助二郎(新)	北越水力電氣株式會社
Hudita-Teizi	藤田悌二(新)	八幡製鐵所
Ikarasi-Nirô	五十嵐二郎(新)	北陸電氣工業株式會社

Kadimoto-Matuzi	梶本松次(廣)	
Karita-Tôitirô	刈田藤一郎(新)	株式會社京三製作所
Kase-Tasuke	嘉瀬太資(新)	川北電氣製作所今福工場
Kawamura-Katuhei	川村勝平(新)	京都市電氣局發電課
Kimura-Teizi	木村貞司(新)	長野縣警察部保安課
Kobayasi-Hirosi	小林博(新)	金井電機商會
Mano-Bunsaku	間野文作(新)	北越水力電氣株式會社
Maruyama-Susumu	丸山進(新)	昭和電力株式會社
Matutani-Syôzi	松谷庄次(富)	日本電力株式會社
Matuura-Ikuzô	松浦幾造(秋)	北海道電燈會社
Minagawa-Hirosi	皆川弘(新)	新潟水力電氣株式會社
Mori-Kenzi	盛健治(青)	中央電氣株式會社
Moriya-Tarô	森谷太郎(群)	
Motoyama-Tadanobu	本山忠信(新)	保倉川電氣株式會社
Nagakura-Eizô	永倉榮三(城)	東北帝國大學工學部
Natui-Tamesige	夏井爲茂(媛)	京阪電氣鐵道株式會社
Saitô-Kin'iti	齋藤金一(新)	新潟水力電氣株式會社
Sano-Tamotu	佐野保(新)	同上
Sekikawa-Kôtarô	關川浩太郎(新)	函館工業補習學校
Sekikawa-Seiiti	關川精一(新)	村上水電株式會社
Takeisi-Tôdi	武石逗治(新)	遞信省電氣局
Takeuti-Tutomu	竹内功(東)	遞信省電氣試驗所
Tanaka-Kôhei	田中康平(新)	八幡製鐵所
Tukamoto-Takeo	塚本武夫(新)	入營中(高田三十聯隊第一中隊)
Yamamoto-Sôtarô	山本莊太郎(新)	日本電氣株式會社
Yosioka-Kazuo	吉岡一雄(富)	富山縣電氣局

機械工學科

昭和2年3月卒業 (第1回22名)

	氏名 本籍	勤先
Abe-Eisuke	阿部永介(新)	
Aoyama-Hirosi	青山浩(新)	日本硫曹株式會社

Hirata-Kyôhei	平田喬平(群)	
Isihara-Hironobu	石原博陳(東)	汽車製造株式會社
Katô-Kaizi	加藤海兒(東)	新潟鐵工所新潟工場
Katô-Yosio	加藤良男(新)	台灣總督府交通局鐵道部
Kobayasi-Masabumi	小林正文(野)	
Kondô-Gorô	近藤悟郎(新)	早稲田大學理工科入學
Kuroda-Kiyosi	黒田清(新)	荏原製作所
Miyazaki-Kôzô	宮崎宏藏(新)	
Murayama-Yosio	村山芳男(新)	播磨造船所
Nagai-Katuzi	永井勝二(新)	川崎造船所
Nagasaka-Tetuo	長坂鐵男(富)	東洋電氣株式會社
Nakasô-Tosinosuke	中曾敏之助(知)	長岡鐵工所
Nakayama-Sakuhei	中山作平(新)	
Ogawa-Kendi	小川賢治(新)	鐵道省官房研究所
Okui-Yosie	奥井義衛(根)	東京復興局
Oosima-Zenkiti	大島善吉(新)	神戸製鋼所
Satô-Ryôzi	佐藤亮二(新)	大阪機械製作所
Tikaraisi-Masami	力石誠身(新)	池田工業事務所
Yoden-Kidyû	余田喜重(兵)	松田平八商店
Yosikosi-Seidi	吉越清治(新)	東京鐵道局

應用化學科

昭和2年3月卒業（第1回25名）

	氏名 本籍	勤先
Aoki-Tyûzô	青木忠藏(玉)	日本硫曹株式會社
Aoyagi-Heihatirô	青柳平八郎(新)	北越水力電氣株式會社
Asanuma-Kazuo	淺沼一夫(新)	商工省燃料研究所
Eguti-Kiyomatu	英口喜代松(新)	長岡高等女學校
Hayasi-Masuitirô	林陪一郎(富)	日本硫曹株式會社
Hayasi-Sigeo	林茂雄(鹿)	合同油脂グリセリン株式會社
Hukusima-Noboru	福島昇(島)	本間製作所
Hurukawa-Torao	古川虎雄(新)	日本石油株式會社柏崎製油所

Imai-Tosikazu	今井俊一(富)	東京市立工業補習學校
Kaneda-Husao	金田英雄(島)	日本硫曹株式會社
Kaneko-Syôgorô	金子正五郎(新)	北越製紙株式會社市川工場
Kuwabara-Tamizi	桑原民二(野)	日本電池株式會社
Miyasita-Seiiti	宮下精一(新)	日本硫曹株式會社
Nanba-Ryûiti	難波隆一(新)	實業公民學校
Nogami-Nobuyuki	野上信行(新)	日本硫曹株式會社富山工場
Sakurazawa-Kwanpei	櫻澤貫平(新)	東北帝國大學工學部入學
Satô-Kiiti	佐藤喜市(新)	瓦斯研究所
Suzuki-Kuraitirô	鈴木倉市郎(新)	自營
Takahasi-Ataru	高橋中(新)	新潟縣立六日町中學校
Takahasi-Sôhatirô	高橋莊八郎(新)	製鐵所
Teduka-Setuzi	手塚節次(野)	特許局
Tokida-Susumu	常田龜(野)	新潟縣立小千谷中學校
Tutida-Susumu	土田進(新)	大日本製劑株式會社
Tutida-Takesi	土田武(新)	篠崎インキ株式會社
Uemura-Hideo	植村英夫(和)	和歌山縣立粉河高等女學校

3 除籍者氏名（退學、死亡、其ノ他）

（昭和2.5.1現在）

	氏名	入學年及科	除籍年月
Hiramatu-Itirô	平松一郎	13化	13.12退
Murakami-Nobuo	村上信男	13化	14.2退
Takinami-Torazô	瀧波虎造	13機	14.4退
Satô-Yukio	佐藤行雄	13電	14.4退
Nakamura-Noboru	中村昇	13化	14.4退
Narumi-kurô	成見久郎	13電	14.4退
Kimura-Masayasu	木村正保	13機	14.6死
Kumata-Sadaaki	熊田貞彰	13化	14.10退
Wakui-Yosio	涌井義雄	13機	14.11死
Satô-Syôdirô	佐藤正治郎	14機	15.2死

Ogawa-Tamotu	小川保	14電	15. 3退
Tanaka-Tokuo	田中外久男	13電	15. 3退
Iwasaki-Hirosi	岩崎浩	14機	15. 5退
Yokokawa-Sirô	横川四郎	15化	15. 9退
Siobara-Kazuo	鹽原一夫	13機	15. 11死
Sakurai-Masao	櫻井正男	13電	15. 12退
Nakanisi-Yosio	中西良雄	13電	1. 12退
Kawakami-Humihiko	川上文彦	13機	2. 1死
Satô-Sirô	佐藤四郎	14化	2. 3退
Sibata-Itirô	新發田一郎	15電	2. 3退
Bunazawa-Korenobu	椈澤是暢	14機	2. 4退

4. 學級人員一覽表 昭和2.5.1現在

學年＼科別	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
I	39	38	32	109
II	37	36	31	104
III	30	30	33	93
計	106	104	96	306

5. 入學志願者及入學許可者數

年次	科名	入學志願者數	入學許可者數	百分比	入學取消者	入學決定者數
13年	電氣工學科	134	40	29.9	0	40
	機械工學科	72	37	51.4	4	33
	應用化學科	59	36	61.0	0	36
	計	265	113	42.6	4	109
14年	電氣工學科	115	35	30.4	1	34
	機械工學科	58	35	60.3	4	31
	應用化學科	37	30	81.1	2	28
	計	210	100	47.6	7	93
15年	電氣工學科	153	38	24.8	2	36
	機械工學科	128	39	30.5	5	34
	應用化學科	62	35	56.5	2	33
	計	343	112	32.7	9	103
昭和2年	電氣工學科	256	40	15.6	3	37
	機械工學科	146	38	26.0	2	36
	應用化學科	109	37	33.9	7	30
	計	511	115	22.5	12	103

6. 昭和二年度入學者諸調

出身學校別 (　)内ハ學校數

	府縣別	學校名	電氣科	機械科	應化科	計
縣下中學校		新潟中	3	—	—	3
		三條中	2	2	1	5
		長岡中	12	3	3	18
		巻中	—	—	1	1
		小千谷中	—	2	1	3
		柏崎中	—	5	2	7
		高田中	2	1	1	4
		計(校數)人員	(4)19	(5)13	(6)9	(7)41
他府	北	倶知安中	1	—	—	1
	北	函館中	—	1	—	1
	北	訓路中	—	—	1	1
	島	會津中	—	—	1	1
	茨	水戸中	—	1	—	1
	茨	鉾田中	—	—	1	1
	群	澁川中	—	1	—	1
	玉	熊谷中	1	—	—	1
	玉	川越中	—	1	1	2
	東	郁文中	—	1	—	1
	富	新川中	—	—	1	1
	富	礪波中	1	—	—	1

縣	富	富山中	1	—	—	1
	井	福井中	—	2	—	2
	野	長野中	1	—	—	1
	野	松本中	1	—	—	1
	岐	惠那中	—	—	1	1
	靜	豆陽中	—	1	—	1
	知	半田中	—	—	1	1
	知	成章中	1	—	—	1
	知	刈谷中	—	1	—	1
	阪	堺中	1	—	—	1
道	阪	生野中	—	1	—	1
	兵	相原中	—	1	—	1
	兵	第二神戸中	2	—	—	2
	兵	第三神戸中	—	1	—	1
	奈	郡山中	1	—	—	1
	鳥	鳥取中	1	—	—	1
中	鳥	育英中	1	—	—	1
	島	米子中	—	1	—	1
	根	大社中	1	—	—	1
	岡	高梁中	—	1	—	1
	岡	津山中	—	1	—	1
學	廣	忠海中	—	1	—	1
	口	防府中	—	—	1	1
	口	長府中	—	—	1	1
	口	鴻城中	—	1	—	1
	德	脇町中	—	—	2	2
校	香	大川中	—	—	1	1
	香	高松中	—	—	1	1
	香	三豐中	—	1	—	1
	香	丸龜中	1	1	—	2
	福	若松中	—	—	1	1
	佐	鹿島中	—	—	1	1
	沖	沖繩第二中	—	—	1	1

		計 (校數) 人員	(14)15	(18)19	(15)16	(45)50

	府縣別	學校名	電氣科	機械科	應化科	計
縣下工業		長岡工	—	1	—	—
他府縣工業學校	神	神奈川工	—	1	—	1
	富	富山工	—	—	1	1
	三	三重工	—	—	2	2
	兵	兵庫工	1	—	—	1
	兵	村野工	—	1	—	1
	奈	御所工	—	—	1	1
	根	島根工	—	—	1	1
	福	八女工	—	1	—	1
		計 (校數) 人員	(1)1	(3)3	(4)5	(8)9
其他	形	酒田商業	1	—	—	1
	香	粟島航海	1	—	—	1
		計 (校數) 人員	(2)2	—	—	(2)2
總計	中學校		(18)34	(23)32	(21)25	(52)91
	工業其他		(3) 3	(4) 4	(4) 5	(11)12
	計 (校數) 人員		(21)37	(27)36	(25)30	(63)103

卒業年度別

卒業年度	出身學校	電氣科	機械科	應化科	計
大正12	中學	1	2	—	3
	其他	2	2	1	5
大正13	中學	1	4	1	6
	其他	—	1	1	2
大正14	中學	9	6	8	23
	其他	—	1	1	2
昭和1	中學	24	20	16	60
	其他	—	—	2	2
總計	中學	35	32	25	92
	其他	2	4	5	11
	計	37	36	30	103

入學許可者府縣別

府縣別	電氣科	機械科	應化科	計	總計
北海道	1	1	1	3	3
山形	1	(1) —	—	(1) 1	2
福島	—	—	1	1	1
茨城	—	3	1	4	4
群馬	—	1	—	1	1
埼玉	(1) 1	—	(1) 1	(2) 2	4
東京	—	2	—	2	2
神奈川	—	1	—	1	1
新潟	19	(1) 14	(2) 9	(3) 42	45
富山	2	—	2	4	4
石川	(1) —	—	—	(1) —	1
福井	—	2	—	2	2
長野	2	—	—	2	2
岐阜	—	—	1	1	1
靜岡	—	1	(1) —	(1) 1	2
愛知	2	—	—	2	2
三重	—	—	3	3	3
大阪	1	1	—	2	2
兵庫	3	3	(2) —	(2) 6	8
奈良	1	—	(1) 1	(1) 2	3
鳥取	1	—	—	1	1
島根	2	1	1	4	4
岡山	—	2	—	2	2
山口	—	2	—	2	2
德島	(1) —	—	2	(1) 2	3
香川	1	2	2	5	5
福岡	—	1	1	2	2
佐賀	—	—	1	1	1
熊本	—	1	—	1	1
沖繩	—	—	1	1	1
計	(3) 37	(2) 36	(7) 30	(12) 103	115
總計	40	38	37	115	

（ ）ハ許可取消者ヲ表示ス

入學者調

種別 ＼ 各科別	電氣科	機械科	應化科	計
他ノ高工ヲ受驗セヌモノ	20	16	8	44
他ノ高工ヲ不合格トナリシモノ	13	17	19	49
他ノ高工ヲ受ケ入學許可セラレシモノ	4	3	3	10
計（實際入學者）	37	36	30	103
他校へ入學ノ爲メ取消願出ニ依リ取消シタルモノ	3	2	4	9

許可取消者12名－9＝3名ハ他高工へ入學ノ爲メデナク他ノ都合ニ依ルモノ

7. 學生出身學校別（昭和2.5.1現在）

學科	出身學校別 ＼ 學年	中學校	工業學校	農業學校	商業學校	商船學校	水產學校	其ノ他	計
電氣工學科	I	35	2	—	1	—	—	—	39
	II	31	5	—	—	1	1	—	37
	III	24	6	—	—	—	—	—	30
機械工學科	I	33	4	—	—	—	—	1	33
	II	28	8	—	—	—	—	—	36
	III	25	5	—	—	—	—	—	30
應用化學科	I	27	5	—	—	—	—	—	32
	II	27	3	—	—	—	—	1	31
	III	20	11	—	—	—	1	1	33
計	I	95	11	—	1	1	—	1	109
	II	87	16	—	—	—	1	1	105
	III	69	22	—	—	—	1	1	93

總 計		250	49	—	1	1	2	3	306

8. 學生出身道府縣別 細字ハ出身學校別

(昭和2.5.1現在)

科別 / 道府縣別	電氣工學科				機械工學科				應用化學科				計			
	I	II	III	計	1	11	111	計	1	11	111	計	1	11	111	計
北	2 2			2 2	1 1	1 2		2 3	1 1			1 1	4 4	1 2		5 6
青											1	1			1	1
岩		1 1		1 1		2 1		2 1						3 2		3 2
秋		1		1						1 1		1 1		2 1		2 1
形	1 1			1 1		1		1					1 1	1		2 1
島						3 2		3 2	1 1		1 1	2 2	1 1	3 2	1 1	5 4
栃			1	1			1 1	1 1		1 1	1 1	2 2		1 1	3 2	4 3
茨			1	1	3 1			3 1	1 1			1 1	4 2		1	5 2
群		1 1	1	1 2	1 1	1 1	1 1	3 3					1 1	2 2	1 2	4 5
玉	1 1			1 1	1 2	2 2		3 4	1 1	1 1		2 2	3 4	3 3		6 7
千							1 1	1 1		1		1		1	1 1	2 1
東			1	1	2 1	1 2		3 3		2		2	2 1	1 4	1	3 6
神					1 1			1 1					1 1			1 1
新	20 20	25 29	25 24	70 73	15 15	14 15	23 24	52 54	10 10	15 15	26 25	51 50	45 45	54 59	74 73	173 177
富	2 2	1 1	1 1	4 4		2 2		2 2	2 2	2 2	1 1	5 5	4 4	5 5	2 2	11 11
石						1		1						1		1
井					2 2	1		2 3		3 3		3 3	2 2	3 4		5 6
野	2 2		2 3	4 5		4 4		4 4		3 2	2 2	5 4	2 2	7 6	4 5	13 13

岐									1 1			1 1	1 1			1 1
静		3 2		3 2	1 1			1 1		1 1		1 1	1 1	4 3		5 4
知	2 1			2 1	1		1	1 1	1		1 1	1 2	2 3		2 1	4 4
三									3 2			3 2	3 2			3 2
滋						1		1						1		1
阪	1 1			1 1	1 1		1 1	2 2					2 2		1 1	3 3
兵	3 2	1 1		4 4	3 3			3 3					6 6	1 1		7 7
奈	1 1			1 1					1 1		1 1	2 2	2 2		1 1	3 3
島	1 2			1 2	1			1		1 1		1 1	1 3	1 1		2 4
根	2 1			2 1	1 1	1 1		2 2	1 1			1 1	4 3	1 1		5 4
岡		2 1		2 1	2 2			2 2					2 2	2 1		4 3
廣					1		1 1	1 2					1		1 1	1 2
山									2 2			2 2	2 2			2 2
徳									2 2			2 2	2 2			2 2
香	1 2	1 1		2 3	2 2			2 2	2 2			2 2	5 6	1 1		6 7
媛							1 1	1 1							1 1	1 1
高						1 1		1 1						1 1		1 1
福		1		1	1 1	1		2 1	1 1	1 1		2 2	2 2	3 1		5 3
崎										1 1		1 1		1 1		1 1
宮									1 1			1 1	1 1			1 1
佐									1 1			1 1	1 1			1 1
熊					1			1					1			1
沖									1 1			1 1	1 1			1 1

朝						1 1		1 1					1 1			1 1
計	39	37	30	106	38	36	30	104	32	31	33	96	109	104	93	306
	38	37	30	106	38	36	30	104	32	31	33	96	109	104	93	306

9. 學 生 年 齡 別 (昭和2.5.1現在)

種別		年齡			生徒數
學科	學年	最高	最低	平均	
		年 月	年 月	年 月	
電氣工學科	1	22－11	17－1	19－3	39
	11	23－8	18－4	19－9	37
	111	28－6	19－2	21－3	30
機械工學科	1	28－2	17－1	19－	38
	11	25－4	18－4	20－1	30
	111	22－9	19－6	20－9	30
應用化學科	1	21－6	17－4	19－	32
	11	28－3	18－2	20－4	31
	117	25－5	19－2	21－1	33

10. 卒 業 者 資 格

1、 實業學校敎員資格

(文部省令公立私立實業學校敎員資格ニ關スル規程第1條3號參照)

2、 次記學科目ハ師範學校、中學校、女子師範學校、高等女學校敎員無試驗檢定資格アリ

(明治36. 2. 28. 文部省告示第30號敎員無試驗檢定指定ノ件參照)

電氣工學科　　數　學(當該學科目成績優等ナル者ニ限ル)
機械工學科　　數　學(同)
應用化學科　　化　學(同)

3、 電氣工學科卒業生ハ電氣事業主任技術者資格檢定規則第4條第2項ニ依リ第2種ノ資格ヲ有ス

4、 本校卒業者ニ對シ次記大學ニ於テ所定ノ學校卒業者ヲ入學セシメ其收容豫定人員ヲ超過セス缺員アル場合ハ選拔試驗又ハ學

力檢定試驗ヲ行ヒ入學セシム

(a) 東北帝國大學工學部及理學部

(明治44.6.文部省學務局通牒參照)

(b) 京都帝國大學工學部及農學部

(c) 九州帝國大學工學部

(d) 北海道帝國大學工學部

5、 外國諸大學

(a) 米國諸大學入學

(大正15.1.橫濱高等工業學校遠藤正直氏通牒希望者ハ便宜內地ニ於テ入學試驗ヲ受クルコトヲ得)

(b) 獨逸國ミユンヘン所在各大學入學

(大正15. 1. 28. 文部省專門學務局長通牒)

6、 高等學校高等科敎員檢定受驗資格アリ

7、 高等試驗ノ豫備試驗免

VIII 關係法令

1. 文部省直轄學校一覽進達方

（明治32. 5. 22
文部省訓令號外）

直轄學校

直轄學校一覽ノ儀自今次ノ要目ニ照シテ編纂シ每學年ノ始メ3ケ月以內ニ進達スヘシ

編纂要目

1、學年曆　學年、學期、授業、試業ノ始終、休業日等ヲ記ス
2、沿革略　創立以來沿革ノ要略ヲ記ス
3、法　令　學校ノ成立、組織等ニ關スル法令ヲ記ス
4、諸規則　教則、校則及其他必要ナル規程ヲ記ス
5、職　員　職名、氏名、族籍、教員受持學科、屬員分課等ヲ記ス
6、學生生徒　（大學ノ外學生ノ2字ヲ除ク）學級及員數等ヲ記ス
7、卒業生　從來卒業セル者ノ族籍、氏名、卒業ノ年月並卒業後ノ狀況等ヲ記ス
8、敷地建物　略圖但シ坪數及所用ノ別等ヲ記ス

以上規則等ニ關スル事項ハ該學年始ノ調査ヲ以テ記シ其他緊要ノ事項ヲ記ス但シ前記項目ノ各項ヲ前後斟酌シテ編纂スルハ妨ケナシ

2. 文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治26年
勅令第86號）

第1條　文部省直轄諸學校ハ次ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校

盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校
京都高等蠶業學校	鳥取高等農業學校
三重高等農林學校	宇都宮高等農林學校
岐阜高等農林學校	宮崎高等農林學校
神戶高等商業學校	長崎高等商業學校
山口高等商業學校	小樽高等商業學校
名古屋高等商業學校	福島高等商業學校
大分高等商業學校	彥根高等商業學校
和歌山高等商業學校	橫濱高等商業學校
高松高等商業學校	高岡高等商業學校
第一高等學校	第二高等學校
第三高等學校	第四高等學校
第五高等學校	第六高等學校
第七高等學校造士館	第八高等學校
新潟高等學校	松本高等學校
山口高等學校	松山高等學校
水戶高等學校	山形高等學校
佐賀高等學校	弘前高等學校
松江高等學校	東京高等學校
大阪高等學校	浦和高等學校
福岡高等學校	靜岡高等學校
高知高等學校	姬路高等學校
廣島高等學校	富山藥學專門學校
熊本藥學專門學校	東京高等工業學校
大阪高等工業學校	京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校
米澤高等工業學校	桐生高等工業學校
橫濱高等工業學校	廣島高等工業學校

金澤高等工業學校	仙臺高等工業學校
明治專門學校	東京高等工藝學校
神戸高等工業學校	濱松高等工業學校
德島高等工業學校	長岡高等工業學校
福井高等工業學校	山梨高等工業學校
秋田鑛山專門學校	東京高等商船學校
神戸高等商船學校	東京外國語學校
大阪外國語學校	東京美術學校
東京音樂學校	東京盲學校
東京聾啞學校	

第6條　文部省直轄諸學校ニ次ノ職員ヲ置ク

校　長
教　授
生徒監
助教授
書　記

第7條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第8條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第9條　生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第10條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第17條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第19條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

3. 文部省直轄諸學校職員定員令（抄）

（明治35年勅令第99號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員ハ次ノ如シ

	校長	教授	助教授	書記
長岡高等工業學校	1人	20人	9人	6人

4. 文部省直轄諸學校長職務規程

（大正2.6.23文部省訓令）

第1條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第2條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第3條　次ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ、但シ第6號及第8號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

1、 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
2、 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
3、 俸給月額85圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
4、 職員以下ノ內國各地出張ニ關スルコト
5、 職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
6、 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
7、 經費中ノ目ヲ流用スルコト
8、 3日以內ノ臨時休業ヲナスコト

第4條　前條ニ揭ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

5. 專門學校令（抄）

（明治36年勅令第61號）

第1條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス專門學

校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第5條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限4箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ、但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ敎授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第6條　專門學校ノ修業年限ハ3箇年以上トス

第7條　專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第8條　官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並ニ豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

6. 實業學校令（抄）

（明治32年 勅令第29號）

第1條　實業學校ハ實業ニ從事スルモノニ須要ナル智識才能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第2條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業敎育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第2條ノ2　實業學校ニシテ高等ノ敎育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

7. 實業學校敎員養成規程（大正4年 文部省令第7號）

第1條　東京帝國大學農科大學附屬農業敎員養成所、東京商科大學附屬商業敎員養成所、東京高等工業學校附設工業敎員養成所及大阪高等工業學校附設工業敎員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス

前項養成所ノ生徒ニハ1ケ月25圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ敎職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第2條　前條養成所ノ生徒及前條第3項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ敎職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ敎職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

1、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ2分ノ1

2、養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第1號ノ期間ヲ加ヘタル期間

3、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ2分ノ1

第3條　前條ノ義務期間內ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第4條　第2條ノ義務期間內ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ屆出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ屆出ツヘシ

第5條　第1條養成所ノ生徒及同條第3項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者次ノ各號ノ1ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ1部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

1、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ

2、實業學校敎員タル志望ヲ變更シタルトキ

3、第2條ノ義務ヲ盡サス又ハ第3條第1項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第6條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内ニ轉任退職若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ、但シ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

休職期間滿了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキ亦同シ

第7條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第8條　大學及專門學校ノ學生々徒ニテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ1ケ月金25圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

前項ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第9條　前條ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ1倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第2條乃至第6條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

附　　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前各教員養成所ニ入學シタル者若ハ帝國大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

8. 文部省直轄實業專門學校委託生規程

(明治40年
文部省令第23號)

第1條　北海道府縣市町村其ノ他ノ公共團体及私人文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團体又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

第2條　公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第3條　公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ1ケ月10圓以上トス

第4條　委託生ニハ授業料ヲ徵收セス

第5條　委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ1ケ年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

第6條　委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ1ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ、但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

1、前條ノ義務ヲ盡サヽルトキ

2、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

3、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第7條　學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

9. 文部省直轄諸學校外國人特別入學規定

(明治34年
文部省令15號)

第1條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスルモノハ外

務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スコトアルヘシ

第2條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ヘシ

第3條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ、但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第4條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第5條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第6條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

10. 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件

（明治44年 文部省令第16號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス、但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

11. 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件

（明治38年 文部省令第18號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

12. 文官分限令

（本文省略）文部法令彙纂第7編第1章參照

13. 官吏服務紀律

（本文省略）文部法令彙纂第7編第2章參照

14. 文官懲戒令

（本文省略）文部法令彙纂第7編第3章參照

15. 各官廳執務時間（抄）

（大正11年 閣令第6號）

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ次ノ通トス

4月1日ヨリ7月20日迄

午前8時ヨリ午後4時迄但シ土曜日ハ午12時迄トス

7月21日ヨリ8月31日迄

午前8時ヨリ午12時迄

9月1日ヨリ10月31日迄

午前8時ヨリ午後4時迄但シ土曜日ハ午12時迄トス

11月1日ヨリ3月31日迄

午前9時ヨリ午後4時迄但シ土曜日ハ午12時迄トス

16. 官吏職務外ノ演説及敍述許可並其取締方

（本文省略）文部法令彙纂第7編第2章參照

17. 三大節ニ賀表及言上書奉呈方

（本文省略）文部法令彙纂第7編第2章參照

18. 教員免許令

（本文省略）文部法令彙纂第17編參照

19. 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意

（本文省略）文部法令彙纂第10編參照

20. 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續

（本文省略）文部法令彙纂第10編参照

21. 學生生徒兒童身體檢査規程

（本文省）略文部法令彙纂第15編参照

22. 學校清潔方法

（本文省略）文部法令彙纂第15編参照

23. 學校傳染病豫防規程

（本文省略）文部法令彙纂第15編参照

24. 學校生徒喫煙禁止（明治33年 文部省訓令第5號）

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治27年文部省訓令第6號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ携帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衞生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校、中學校、師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ內外トヲ問ハス喫煙シ又煙草煙器ヲ携帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムコトヲ期スヘシ

25. 文部省直轄學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意（明治43.7.30 文部省內訓）

學生生徒ノ喫煙ニ關シテハ明治33年文部省訓令第5號ノ訓示ニ基キ各學校ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ講シツツアルハ勿論ノ次第ナレトモ尙往々敎室內ニ於テ猥リニ喫煙ヲ爲ス者有之其ノ結果或ハ

火災ノ原因トナルノ例ナキニ非サルヲ以テ自今火災ノ取締上ヨリモ一層ノ注意ヲ加ヘ成年者ニ對シテモ校舍內ニ於テハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許シ敎室、實驗室、製圖室等ニ在リテハ一切學生生徒ノ喫煙ヲ禁止シ以テ不測ノ禍害ヲ未然ニ豫防スル樣注意セラルヘシ

右內訓ス

26. 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意（明治42年 文部省訓令第12號）

學校生徒ノ飲酒ハ敎育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓戒監督ヲ怠ラサルハ本大臣ノ認ムル所ナリ然レトモ訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ敎育ノ效果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

27. 敎育上時弊矯正ニ關スル心得（明治39年 文部省訓令第1號）

學生生徒ノ本分ハ常ニ健全ナル思想ヲ有シ確實ナル目的ヲ持シ刻苦精勤他日ノ大成ヲ期スルニ在ルハ固ヨリ言ヲ俟タス殊ニ戰後ノ國家ハ將來ノ國民ニ期待スル所益々多ク今日ノ學生生徒タル者ハ其ノ責任一層ノ重キヲ加ヘタルヲ以テ各々學業ヲ勵ミ一意專心其ノ目的ヲ完ウスルノ覺悟ナカルヘカラス

然ルニ近來青年子女ノ間ニ往々意氣銷沈シ風紀頽廢セル傾向アルヲ見ルハ本大臣ノ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ現ニ修學中ノ者ニシテ或ハ小成ニ安シ奢侈ニ流レ或ハ空想ニ煩悶シテ處世ノ本務ヲ閑却スルモノアリ甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊リ恬トシテ恥チサル者ナキニアラス斯ノ如キハ家庭ノ監督其ノ方ヲ誤リ學校ノ規律漸ク弛緩セルノ致ス所ニシテ今ニ於テ嚴ニ戒愼ヲ加フルニアラス

シハ禍害ノ及フ所實ニ測リ知ルヘカラス社會一部ノ風潮漸ク輕薄ニ流レムトスルノ兆アルニ際シ青年子女ニ對スル誘惑ハ日ニ益々多キヲ加ヘムトス就中近時發刊ノ文書圖畫ヲ見ルニ或ハ危險ノ言論ヲ揭ケ或ハ厭世ノ思想ヲ說キ或ハ陋劣ノ情態ヲ描キ敎育上有害ニシテ斷シテ取ルヘカラサルモノ尠シトセス故ニ學生生徒ノ閱讀スル圖書ハ其ノ內容ヲ精査シ有益ト認ムルモノハ之ヲ勸奬スルト共ニ苟モ不良ノ結果ヲ生スヘキ虞アルモノハ學校ノ內外ヲ問ハス嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラス

又頃者極端ナル社會主義ヲ鼓吹スルモノ往々各所ニ出沒シ種々ノ手段ニ依リ敎員生徒等ヲ誑惑セムトスル者アリト聞ク若シ夫レ斯ノ如クシテ建國ノ大本ヲ藐視シ社會ノ秩序ヲ紊亂スルカ如キ危險ノ思想敎育界ニ傳播シ我敎育ノ根抵ヲ動カスニ至ルコトアラハ國家將來ノ爲メ最モ寒心スヘキナリ事ニ敎育ニ當ル者宜シク留意戒心シテ矯激ノ僻見ヲ斥ケ流毒ヲ未然ニ防クノ用意ナカルヘカラス

本大臣ハ國運ニ照シ時弊ニ鑑ミ特ニ玆ニ訓示ス敎育ノ當局者及ヒ學校長敎員等ハ克ク本大臣ノ旨ヲ體シ父兄保護者ト協心戮力シテ風紀ヲ振肅シ元氣ヲ作興スルニ努メ學生生徒ハ自ラ修メ己ニ克チ學業ヲ成就スルニ專ニシテ上下胥ヒ率キ以テ敎育ノ効果ニ完ウセムコトヲ期スヘシ

28. 文部省直轄學校講演會記念會運動會等監督方 （明治42.1.9 文部省令號外）

直轄學校學生生徒ノ氣風ハ常ニ全國各地ニ於ケル諸學校生徒ノ模範トナリ其ノ言動ハ惹イテ一般ニ影響ヲ及ホスコト尠シトセス故ニ直轄學校學生生徒タルモノハ克ク其ノ本分ヲ守リ規律ヲ重シシ質素勤勉以テ他ノ生徒ノ爲ニ善良ナル模範ヲ示スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ近來直轄學校ニ於テ催ス所ノ講演會、記念會又ハ運動會等ニ於テ當日ノ興趣ヲ添ヘンカ爲種々ノ工夫ヲ廻

ラシ其ノ結果多數ノ時間ヲ空費スルノミナラス動モスレハ學生生徒ニシテ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ往々演劇興行ニ近キモノヲ演スルヲ見ル斯ノ如キハ當該學校ノ風紀ヲ弛ウシ浮薄ノ弊風ヲ助長スルノミナラス一般ノ學風ヲ廢頽セシムルノ虞ナシトセス故ニ自今右等ノ行爲ナキ樣十分注意ヲ加ヘラルヘク尙講演會等ノ場合ニ於テハ職員協同シテ周密ニ學生生徒ヲ指導監督シ敎育上善良ナル効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ

右訓令ス

29. 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得 （大正10.8.27 文部省內訓）

學生生徒ハ言フ迄モナク常ニ堅實ナ思想ト不拔ナ意志トヲ以テ專念學業ニ勵ミ品性ヲ磨キ他日ノ大成ヲ期セネハナラヌ然ルニ近時學生ニシテ或ハ輕噪或ハ弱行爲ニ自己ノ前途ヲ誤ルモノカ尠クナイノハ甚タ遺憾テアル殊ニ結衆妄動シテ校規ヲ紊リ學業ヲ抛チ敢テ意トセヌ風ヲ生セントスルカ如キハ國家將來ノ爲洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所テアル

學生タルモノ深ク省慮シテ自己ノ本分ヲ守リ敎職員タルモノ克ク校規ヲ匡シ善ク學生ヲ導キ兩者心ヲ一ニシテ敎育ノ目的ヲ達成センコトヲ望ム

右內訓ス

30. 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方 （明治35年 文部省訓令第5號）

近來學校ニ於テ往々紛擾ヲ見ルハ敎育上憂慮スヘキ所ナリ

地方長官ハ此際一層學校職員ヲ督勵シ苟モ職員ニシテ生徒ヲ使嗾煽動スルカ如キ行爲アル者ニ對シテハ其ノ機ヲ失セス相當措置スヘク又生徒ニシテ其ノ本分ヲ忘レ職員ニ對シテ反抗ヲ試ミ或ハ同盟休校ヲ爲スカ如キ者アラハ嚴重處分セシメ以テ校紀ノ振作ヲ

務ムヘシ

31. 陸軍現役將校學校配屬令

(本文省略)文部法令彙纂第10編參照

32. 徵 兵 令

(本文省略)文部法令彙纂第32編第1章參照

33. 徵兵令ニ依ル一年志願兵ニ關スル學校ノ認定及其ノ入營延期ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第32編第1章參照

34. 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第32編第1章參照

附　　録

設 備 ノ 大 要

吾カ長岡高等工業學校ハ心身共ニ健全デ高等ナル工業的技術ニ通ズル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トシテ居ルガ特ニ玆ニ云フベキハ最モ底力ノアル者ヲ社會ニ送リ出シタイト努力シテ居ルコトデアル

在學3年間コマコマシタ種々雜多ナコトヲ詰込マレタ卒業生ガ社會ニ出タトキニハ一見如何ニモ博識多才デ役立ツ樣ニ思ハレル然シ社會デ工業學校ノ卒業生ニ求ムルコトハ實ニ數多ク、單ニ機械ノ種類ノミニツイテコレヲ見ルモ千差萬別デ一々コレニ對スル知識ヲ在學僅カ3ケ年ノ短日月デ充分ニ詰込ムコトハ到底不可能ノコトデアル卽チ如何ニ學校デ詰込ンダトテ其ノ量ハ知レタモノデアル。故ニ詰込主義デ行クト卒業シタテニ一寸間ニ合フ樣ニ見エルガヤガテ行キ詰リヲ生ジテ來ル本校デハ行キ詰リヲ生ジナイデ常ニ新ナ進路ヲ自ラ開拓シテ行キ得ル底力アル人材ノ養成ニ努メテ居ル。

底力アル者ト云フノハ基礎ノ學問ヲ確實ニタヽキ込ンダ者デアル。其等ハ卒業ノ當座ハ或ハ一寸間ニ合ヒ兼ネルカモ知レナイ、然シナガラ力強ク奧底深クタヽキ込ンダ學問ノ力ハ年ト共ニ段々ト其ノ光ヲ放チ止ルコトナク進ミ續ケテ行キ詰リヲ生スルコトノナイモノデアル。

今日ノ工業ハ實ニ理學ノ應用デアル、理學ハ工業ノ基礎デアル。基礎タル理學ヲ確實ニ修得セズシテ底力アル工業家タルコトハ出來ナイ。其處デ我校デハ此ノ基礎タル理學敎育ニ大ニ意ヲ用ヒ數學、物理學等ニ多クノ時間ヲ用ヒ居ルノミナラズ其ノ實驗設備ハモトヨリ各種專門的實驗實習設備ニ關シテモ常ニ此ノ方針ヲ以テ一貫スルニ努メテヰルノデアル。

尙ホ基礎學ト云フコトハ普通在學中ノ工業學科ノ豫備ト考ヘラレル向モアツタガ此ノ如キモノデハ到底眞ニ底力アル基礎學トハ

ナラナイ故ニ本校デハ在學3年中ニ習フ工業學科ノ補助ト云フ意味デナク遠キ將來ヲ目標トシ、卒業後工業家トシテノ一生ヲ通シテノ基礎デアル學科ト云フ意味ヲ持タシテ學科課程等ヲ定メテヰル。

又眞ニ底力アル者ハ單ニ智育ノミデハ得ラレナイ、本校ニ於テハ修身ヲ重要學科目ト見ナシ以テ德育ニ努メ體育ニ於テモ筋肉隆々タル選手形ノ養成ニトラハレズ高等ナル工業教育ヲ受ケテソノ能力ヲ遺憾ナク發揮シ得ル圓滿ニ發育シタル健康ナル身體ノ持主タルベク各種ノ設備ヲナシ指導シ以テ智德體共ニ圓滿ニ發達シタル人格ノ完成ニ努力シテ居ルノデアル。

理科教室

理科教室ニハ數學、物理學ノ兩科ガアリ104名ヲ收容スベキ階段教室、準備室、器械室、生徒實驗室及寫眞室、蓄電池室等ヲ有スル外更ニ階上ニハ教官室ノ外ニ暗室2ケ所研究室並ニ標本室等ヲ設ケテアル。

準備室 講義實驗等ノ準備ヲスルニ必要ナ器具器械類例ヘハ實物幻燈、顯微鏡映寫裝置、活動寫眞映寫器、電磁石ノ如キモノヲ備ヘテアル。

器械室 一般的理科ニ關係アル器械類ヲ整頓シテアル其內主要ナモノヲ記セハ次ノ通リデアル。 クロノメーター、クロノグラフ、粘度計(數種)ポンプ類(廻轉式、分子式、水銀用、デイフユージヨン等)自記計器(各種)サーモカツプル、オプテイカルパイロメーター、電氣的精密測定裝置、インダクシヨンコイル(30cm放電)電動發電機並ニ配電盤其他デアル。

實驗室 電氣時計ノ親時計ヲ取付ケ生徒實際ニ要スル器具類ヲ悉ク備ヘテアル天秤モ精密ノモノ6個ヲ一側ノ基礎臺上ニ列ヘ實驗ニ供シテ居ル、光學器械ハ主トシテ階上ノ暗室ヲ用フル積リデ干涉計、スペクトログラフ、スペクトロメーター光度計等ハ皆此

ノ室ニ置イテアル。

他ノ暗室 フオトエラステイシテイー試驗裝置ヲ備ヘ又X線ヲ用フル實驗及ヒステラ電流ニ關スル實驗裝置ヲ備ヘテ居ル。

標本室 種々型式ノ計算器、數學教授用ノ模型類ヲ集メテアリ小規模ノラヂオ放送受話裝置併ニ精密ナ目盛器械及ビ標準尺度モ此ノ室ニ備ヘラレテ居ル。

更ニヂヤイロコンパスノ模型及4吋半ノ天體望遠鏡アリ今後更ニ益々內容ノ充實ヲ計ルツモリデアル。

電氣教室

本校ノ一般教育方針カ基礎ニ重キヲ置イテヰル故、電氣教室ノ實驗設備モ亦其方針ニ依ツテヰル、併シ出來ル限リハ現代ノ實際ニモ觸レ得ル樣ニ施設シテアル。

標本室 此室ニハ電燈、照明器具、電熱器、架線材料、電線、碍子其他種々ノ標本カ陳列シテアル。

弱電流研究室 弱電流ノ研究ニ必要ナ抵抗、誘導係數電氣容量等ノ標準器類ヲ初メ精密反照電流計、電位差計、恒溫槽等カ設備シテアル。

弱電流實驗室 學生カ實驗スル室テ2室ニ別カレテヰル。

材料室 各般ノ材料カ置イテアル。

器品室 强電流ノ實驗ニ使用スル學生用ノ計器カ多數整備シテアル

蓄電池室 湯淺蓄電池會社製ノ290アムペア時ノ蓄電池カ60個据置カレテアル。

强電流實驗室 此室ニハ各製造會社ノ種々ノ型式ノ發電機、電動機等カ多數配列シテアル、是等ノ原動力トシテハ屋外ノ變電所ニ45K.V.Aノ變壓器カ4臺据付ケラレテアル、內1臺ハ豫備デアル直流ノ電源トシテハ實驗室內ニ25キロワツトノ電動發電機カ据付ケテアル。

工作室　各種ノ修理及多少ノ製作ニ資スルタメ、ノッチングプレス、サークルシーア、スクエアシーア、レース等カ備ヘテアル。

高壓實驗室　ジーメンス社製20萬ヴォルト、20K.V.A 試驗用變壓器カ置イテアル。

試驗室　波形ノ研究、鐵ノ試驗、計器ノ檢査等ノタメ横河製作所製研究用オツシログラフ、チンスレー社陰極線オツシログラフ、エプスタイン裝置、移相變壓器、ヴーダー社液體回轉計等カ置イテアル。

高周波實驗室　日本無線5ワツト無線電話送話機、同受話機、短波長受信機、波長計等カ設備シテアル。

光度計室　日本光學工業會社製ルンマー、ブロドハン對照型光度計、マクベス照度計、ウエーバー光度計、フリツカー光度計カ備ヘテアル。

機　械　教　室

機械教室ハ本校一般教育方針ニ從ヒ機械工學ノ根底ヲ作ルヲ以テ主眼トシテ居ルノデ徒ニ多種多樣ノ機械ヲ羅列スル事ヲ避ケ機械工學ノ基礎トナルベキ問題ニ就イテ徹底的ノ研究ニ重キヲ置クト同時ニ基礎的研究ニ趣味ヲ持ツ樣指導スル事ヲ重要視シテ居ル其ノ設備概要ハ次ノ通リデアル。

材料試驗室　重ニ材料ノ物理學的ノ試驗ヲ行フノデアルカ鋼其ノ他ノ材料ノ熱處理モ此ノ室デ行フ事ニシテ居ル、萬能試驗器、硬度測定裝置其ノ他ガ此ノ室ニアル。

材料研究室　前記ノ材料試驗室ト相俟ツテ材料ノ遺憾ナキ研究指導ヲ行フノデ、材料ノ顯微鏡寫眞裝置、偏光應用材料内力分布測定裝置、化學的成分分析裝置ナドガ此ノ室ニアル。

機械工場　實習並ニ實驗ヲ行フ室テ前記ノ方針ニヨリ特種ナ珍ラシイ機械ト云フカ如キハナイ、工作機械トシテ基礎ヲナスヘキミリング、グラインダー、旋盤ト云ツタ樣ナモノカアル、機械仕上ヲナス室テアル。

木工場　鑄物ノ木型其ノ他木工一般ノ實習ヲナス室テ機械鋸機械鉋ト云フ樣ナモノカアル。

水力實驗室　一般的ナ水ニ關スル實驗實習ヲスル室テ發電用水車、ポンプト云フ樣ナモノカアル。

鑄物及鍛冶工場　鑄物及鍛冶ニ關スル實驗實習ヲ行フ室テ銑鐵溶解爐空氣鎚ナトカアル。

原動機室　水車ヲ除イタ原動機ノ實驗ヲ行フ室テ蒸氣タービンディーゼル重油機關、石油發動機、自動車ト云フ樣ナモノカアルカ自動車ハ別ニ自動車庫ニ入レル事ニナツテヰル。

汽罐室　蒸汽實驗及原動機室ニ蒸汽ヲ送ルタメ汽罐カアルカ同時ニ本校全體ノ暖房用蒸汽發生ヲモ兼ネテヰル、丸罐ト水管式トノ2臺カアル。

化　學　教　室

本邦化學工業界ハ今ヤ深遠ノ學理ノ應用ニマツ高級化學工業發展ノ氣運ニ向ツテイル此狀勢ニ鑑ミ化學教室ニ於テモ本校教育ノ根本方針ニ基キ專ラ基礎的知識ノ涵養ニ留意シテヰル從テ或特種製品ノ製造ヲ行フカ如キ工場ノ設備ヲ省キ基礎的ノ實驗及研究設備ニ全力ヲ注イテヰル。

標本類及模型　ハ有機物及無機物標本600餘點外ニ原素標本其他800餘點右ノ外開校紀念トシテ全國約300ノ著明ナ化學工場カラ寄贈ヲ受ケタ原料、半製品、製品、模型、圖表類ソノ他有益ナ參考品カ約2000點アツテ教授上大イニ裨益シテヰル。殊ニ日本石油株式會社寄贈ノ石油精製裝置模型及ガソリンプラント模型ハ科學工業博物館ニ於テ異彩ヲ放ツテ居ル。

實驗室設備　トシテハ各實驗臺ニ直流交流電氣ノ配線ヲシテ實驗ニ便シ乾燥器ノ如キモ溫度ノ調節自由ナル電熱式「セルコオーブン」7個ヲ有シ定性定量分析、工業分析、等一般的設備ニ就テ

ハ普通ノ實驗實習ヲ修得サセルニ十分テアル。

白金器具　ハ坩堝、皿、電極等合計36點價額約12,000圓ヲ投シ精密天秤類ハ獨逸「サートリユス」社製30臺ヲ備ヘテアル。

物理化學　ノ實驗ニハ特ニ意ヲ用ヒ恒溫槽4個ヲ始メトシ傳導度測定裝置、分子量測定裝置等ハ勿論其他各種研究ニ必要ナル適當ノ設備ヲト、ノヘ更ニ必要ニ應シ特種ノ形狀ヲシタ「ガラス」器具類ハ學生ヲシテ隨時製作セシムヘキ目的テ毎年適當ノ時期ニ專門技工ヲ聘シ其技術ヲ傳習サセル事ニシテヰル。

化學的ノ基礎訓練　ヲスルニ適切ナ各種ノ有機物其他ノ合成及試驗ニ關スル設備トシテハ耐壓釜、屈折計、顯微鏡、各種ノ爐、過熱蒸氣發生裝置、眞空乾燥機、減壓蒸溜裝置、特種硝子器具裝置等十分意ヲ用ヒテ設備シテアル。

油脂工業　ニ就テハ當地方カ本邦ニ於ケル有名ナ石油工業ノ中心地タル關係上特ニ意ヲ用ヒ最新式ノ屈折計、各種ノ粘度計、引火點試驗器、蒸溜試驗器、各種ノ「カロリメーター」其他此方面ノ實驗研究ニ關スル各種設備ニ留意シテヰル。

電氣化學方面　ニツイテハ本邦ニ於テ最大水量ヲ有スル信濃川水力ノ開發ト共ニ將來電氣化學工業ノ勃興スヘキヲ思ヒコレニ關スル設備ニモ留意シテヰル例ヘハ蓄電池ノ設備ニ5000圓ヲ投シ又特ニ電爐用ノ低壓變壓機ヲ備ヘ各種電氣爐八基ヲ設備シタルナト其他電解及「エレクトロオスモース」ニ關スル實驗研究等ニモ略遺漏ナキヲ期シテイル、特ニ最新式設備トシテ注目サレテ居ル「エレクトロオスモース」ニヨル淨水裝置ハ本邦ニ於ケル最初ノ輸入品テ且ツ本邦唯一ノモノテアルカラソノ成績ニツキテハ各地カラ多數照會ヲ受ケテイルノテアル、本裝置ハ任意ノ純度ノ水ヲ簡單ニ得ラレ且ツ各種ノ化學實驗ニ差支ヘナキ純度テ普通ノ蒸溜水ニ比シ遜色ナキ水モ安價ニ且短時間ニ多量ヲ得ラル、コトハ到底在來ノ蒸溜式方法ノ遠ク及ハナイトコロテアル。

其他　目下化學工業界ニ於テ多大ノ興味ヲ以テ期待サレテ居ル

人造絹糸ニツキテモ其實驗設備等完成シテ居ル。

體育並教練教室

體育ニ於テハ運動競技ノ普及並ニ不斷ノ實行ニ努メ身體ノ健全ソノモノカ幸福ナルコトヲ自覺セシメテ更ニ健康ヲ增進シ精神力ヲ鍛練シ將來ノ能率增進ニ備ヘシムル爲メニ間口9間奧行13間、梁下20尺ノ屋內體操場ニハ矯正並ニ發育體操ノ器具器械卽チ肋木鐵棒、吊棒、吊索、吊鐶、移動吊鐶、バツク、跳箱、スプリングホールド、バスケツトホールド、ヴアレーネツト等ヲ備ヘ5000坪ヲ有スル屋外運動場ニハ「ア式フツトボール」「バスケツトボール」「陸上競技」ヲ課シ得ル設備ヲナシ水力實驗並ニ火防用貯水池ヲ水泳練習ニ利用セシメ150臺ノ「スキー」ヲ有シテ冬期ノ運動ニ便ニシ學生ノ自發的運動ヲ喚起スル樣之ヲ指導シ尙校友會ニハ柔道、劍道、弓道、競技、角力、野球、庭球、卓球、スキー、水泳部ノ設アリテ課外運動ヲ奬勵シテヰル。

教練ニ於テハ學校教練ノ目的遂行ノ爲メ5000坪ノ運動場ト157坪ノ屋內體操場ヲ使用シ尙ホ狹窄射擊場ヲ校內ニ設クルノ外郊外約1里ノ宮路ニ市內中等學校及軍人分會、青年會ト協同製作ニ依ル實彈射擊場ヲ有シ三八式步兵銃、劍、180挺ヲハシメ指揮刀、背嚢、飯盒、携帶天幕、水筒等必要ナ機械器具ヲ整備シテヰル。

科化學工業博物館

長岡市ノ寄附ニカヽル、鐵筋コンクリート建、一部二階建トナシ建坪88坪餘工費35000圓大正15年11月竣工シタ。

蓋本校學生、長岡市及附近ノ人々ニ對シ科學智識ノ普及ヲ計リ且科學ガ如何ニ工業ニ應用セラルヽカノ大要ヲ理解セシムルノガ目的デアル。

博物館ハ本校ノ東北隅悠久山行キノ道路ニ面シ4個ノ陳列窓ヲ備ヘ道行ク人カ一見シテ工業ノ何者タルカヲ知ラス知ラスノ間ニ

了解スルニ努メテヲル陳列場ハ階下テ50餘坪、電燈、電力、瓦斯水道ノ設備カアリ理化學、電氣工學、機械工學及應用化學ノ各方面ニ亘リ參考品ヲ陳列シ又各種ノ實驗ヲスルコトカ出來ル、特ニ化學實驗ノ爲メニハ**ドラフトチエンバー**ヲ備ヘ機械類据付ヲ便ナラシムル爲メニハ床ニ**レール**ヲ沈設シ尙水ヲ使用スル便ヲ計リ140立方尺ノ堀ヲ設ケテアル、コノ堀ハ必要ニ應シ又空堀トモナシ得ル裝置ニナツテヲル。

階上ニハ2個ノ特別室カアリ應接室及準備室ニ當ツテヲル、屋上ハ平坦テ望遠鏡ヲ設備シ天体其他ノ觀測ガ出來ル樣ニナツテ居ル、事務室ハ階下玄關ノ正面ニアリ長岡市及附近ノ人々ノ來館ヲ歡迎スル。

其　ノ　他

以上ノ外石版、寫眞版、活版等ヲ有スル印刷所ト7000餘册ヲ藏スル圖書館トカアル（但シ書庫カ完成スレハ藏書數ハ一層增加スル見込テアル）。

重ナル機械器具類

電　氣　工　學　科

ウエストン標準直流ミリヴオルト計(分流器3箇附屬)	703.00
ウエストン標準交直流電壓計	838.00
ウエストン標準交直流電流計	838.00
サンガモ標準テストメーター	360.00
シーメンス直流自記電壓計	459.00
エスターライン交流自記電壓計	623.00
ヴキーダー液体回轉計	823.00
シーメンス、ユニヴアーサル、ガルヴアノ メーター	619.00
ケンブリツヂ、サーモガルヴアノ メーター	717.60
ヴアイブレーシヨン、ガルヴアノ メーター	300.00

シーメンス、バリスチツク、ガルヴアノ メーター	360.00
シーメンス、ミラー、ガルヴアノ メーター	275.00
ハルトマン、デイフエレンシアル、ガルヴアノ メーター	437.50
カールワアイス、シユライフエン、ガルヴアノ メーター	655.00
シーメンス、デケード、ブリツヂ	630.00
ケンブリツヂ、ケルビン、ダブルブリツヂ	729.30
ケンブリツヂ、マールラウシ、ブリツヂ	832.80
リーヅ、ノースラツブ、キヤパシチー、ブリツヂ	218.50
シーメンス、インダクタンス、ブリツヂ	342.00
シーメンス、フオールトロケーチング、ブリツヂ	450.00
シーメンス、ラツブ氏ポテンシオメーター	835.00
リーヅ、ノースラツブ、T型テスチングセツト	342.00
セコメーター	320.00
グラソツト、フラツクスメーター(サーチコイル5箇付)	609.20
ルムマー、ブロドハン光度計一式	1,500.00
ウエバー、光度計	896.00
フリツカー、光度計	210.00
マクベス、イルミノ メーター	567.00
ペンテーン燈	557.00
水銀燈	455.00
据置蓄電池290アンペア、アワー、60箇	2,692.00
直流發電機　6台	1,446.00
直流電動機　3台	801.00
交流發電機　1台	278.00
交流誘導電動機　5台	661.00
正弦波交流發電機　1台	2,350.00
電動發電機　8台	1,0038.00
同期誘導電動機　1台	430.00
三相交流整流子電動機　2台	1,593.00

單相直捲電動機	540.00
單相反撥電動機	475.00
豆電動機　5 台	422.50
電氣動力計　3 台	4,200.00
渦電流制動機	850.00
屋外受電變壓器45 KVA　4 台	1,724.00
單相變壓器　9 台	558.00
誘導調整器	590.00
三相移相變壓器	445.00
水銀整流器　(3相、3キロワツト)	385.00
廻轉變流機	2,010.00
15,000ヴォルト可搬式試驗變壓器	350.00
シーメンス、200,000ヴォルト試驗變壓器	10,880.00
無線受信機及送信機	2,773.00
施　　盤　2 台	1,770.00
圓形切斷機	720.00
方形切斷機	690.00
グラインダー	365.00
ノツチング、プレス	968.00
50回線用自動電話交換機及電話機	5,600.00
配　電　盤　3 組	6,690.00
學生用オシログラフ	1,000.00
研究用オシログラフ	2,940.00
カリードレイオシログラフ	1,690.00
エムプソン、オイルピユーリフアイヤ	396.00
オイル、フイルター、プレス	570.00
ダイエレクトリメーター	585.00
スリツプ、ストロボ、スコープ	862.00
エプスタイン鐵試驗裝置	440.00

繼電器試驗裝置	348.00
G,E シンクロナス、タイマー	348.00

機　械　工　學　科

ゲーテ氏ロータリーポンプ(電動機付)	320円
Z 型 6 H 石油發動機	670
V M 型萬能工作機械	4,783
三相交流發電機(40 KV)	2,950
齒車製作裝置（傘型 6 吋)	720
竹村式編光彈性試驗機	780
本多式變態點測定裝置	1,363
軸線測定裝置	1,140
火　　爐　6 個	1,182
角 鑿 機 械	350
高壓式送風機	467
中壓式送風機	978
松村式繰返打擊試驗器	1,500
空氣壓搾機	480
旋　　盤　11台	8,690
整滑油試驗機	1,091
16吋成形機	1,500
特許カーチス式舶用スチームタービン	3,100
Z M 型ユニヴアーサルミリングマシン	5,580
アルゲマイネ青寫眞燒付機械	1,550
重油加熱爐	680
復寫用寫眞機	600
シヤーピーインパクトテスター	1,390
ウエラン式スチームエンヂン	2,000
眞空計試驗機	430

ドッヂブラザース號自働車	4,000
フオードツーリングカー(1926年型)	1,824
フオード箱型自働車(1923年型)	250
モーターアツセンブリー	310
高溫パイロメーター	305
同　上	290
電氣熔接切斷裝置	2,610
壓力計試驗機	565
モール材料試驗機(スケール型3000KG)	10,950
モール材料試驗機檢定裝置	1,480
藤村式吸入瓦斯機關(20HP)	2,100
16吋キユボラー	1,200
井口式金屬捻力試驗機(5000 C.M.K.G)	2,900
ギヤーホツビングマシン	3,180
試驗棒目盛機械	546
ライベルト製顯微鏡(金相用26－780倍)	345
同　上　(同　25－1400倍)	460
ライツ製金屬顯微鏡寫眞裝置	2,365
シリンダーグラインデイングマシン	2,900
ダブルツールグラインダー	660
シンシナチミリングマシン社製研磨機	2,200
スクレロスコープ(D型)	851
スクラツチハードネステスター	770
ブリネルハードネステスター	1,600
ラジエーシヨンパイロメーター	340
ワンナーオプチカルパイロメーター	620
高溫パイロメーター	325
シヨアー硬度計	851
本多式磨滅試驗器	320

新潟デイーゼル50馬力	9,950
ドイツ6馬力エヤレスデイーゼル	1,170
アイレンブルガーセミデイーゼル20馬力	1,870

應用化學科

引火點試驗器アツペ式外一點	425円
ロータリーポンプ	310
白金器具	6,288
精密電壓計	753
精密電流計	1,817
リツピツヒ偏光計	895
オゾン發生機	650
シヨツパー氏紙試驗器	755
カロリメーターユンカー式外2點	1,335
アソープ式石炭試驗用カロリメーター	293
吸收及壓縮式ガソリンプラント模型	300
川水精製裝置	2,500
粘度計ドリートル式外2點	542
燃燒爐電氣用外1點	374
メルク無機物標本　254種	820
メルク有機物標本　338種	550
アツベ氏レフラクトメーター	635
ライツ顯微鏡C號外2點	577
ウインケルツアイス鑛物用顯微鏡	679
粉碎器　鑛物用外1點	260
スペクトロメーター	720
封管爐	233
物質鑑識器	480
高壓釜	400

高溫計ワンナーオプチカルパイロメーター外1點	970
電氣滴定裝置	365
化學分析用精密天秤　サートリウス型	6,481
萬能幻燈機械(スロール型)	933
オストワルド毛管式電位計	210
抵　抗　箱	720
据置蓄電池　60個	4,294
電　氣　爐　各種	1,206
ブフネル式壓搾器	300
輪卒測定裝置	286
人造絹絲製造裝置	186
色素標本　200種	480
ズボスキー式比色計	230
セメント試驗器	706

理　　科

マイケルソン氏インターフエロメーター	1,380円
X線裝置	2,000
波長計(MN式 437型)	450
天體望遠鏡(4吋半)	1,050
ゲーテ氏分子式ポンプ	600
電氣時計裝置(親時計1個子時計58個付)	3,162
パールゾー、オプチカルベンチ及ビ附屬品	2,039
インダクションコイル(30CM)	630
カセトメーター	494
アクメ活動寫眞機(S.V.E型)	875
晝間寫眞映幕	305
クロノメーター	950
アツベ氏屈折計	558

マーキユリーポンプ	494
ロータリポンプ	519
ハイランド式空氣液化裝置	1,118
クロノグラフ	410
タイガー計算器	400
バーロース計算器	537
サンドストランド計算器(720—51型)	820
限外顯微鏡裝置	917
クオルツスペクトログラフ	1,655
分　光　計	1,845
波長分光計	780
オプチカルパイロメーター	637
光度計ベンチ2臺	1,165
萬能幻燈機械	445
萬能寫映裝置	1,520
電位差計	748
長岡式電磁石	1,856
3KW電動發電機　2臺	1,555
自働精密線目盛機械	2,640
寫　眞　機	621
臭化ラヂウム(10.47瓩)	1,015
ジャイロ、コンパス模型	740
スタンダードスケール	780

圖書冊數及購入費調

(2. 5. 1 現在)

類別	數量	價格	
數學	526	2,791	520
物理	486	3,611	720
化學	281	4,090	390
製造化學	213	2,157	190
機械學	267	2,448	510
構造	11	88	500
工場作業	53	445	300
熱機關	165	1,420	130
氣學	24	215	250
水力原動機及水力機	51	412	550
機關車及船舶工業	37	369	700
電氣工學	550	4,251	220
工藝學	1	7	500
建築學	10	60	200
繪畫技藝	7	41	250
工業一般	49	411	200
一般科學	75	262	150
法律、政治、經濟、社會	321	1,245	670
哲學、宗教、教育	244	925	080
語學及文學	49	106	200
辭書及百科辭典	229	2,916	750
雜書	80	385	690
雜誌	70	3,587	340
同（パツク）	12	4,418	300
合計	3,811	36,669	310

長岡高等工業學校々友會々則

第1條　本會ハ長岡高等工業學校々友會ト稱ス

第2條　本會ノ目的ハ會員相互ノ親睦心身ノ向上ヲ圖リ本校ノ敎育方針ト相俟チテ校風ヲ發揚スルニアリ

第3條　本會ハ次ノ會員ヲ以テ組織ス

1、名譽會員

知名ノ人ニシテ本會ノ趣旨ヲ贊成シ且ツ會長ノ推薦ニヨルモノ

2、贊助會員

本校職員

3、通常會員

本校本科學生

第4條　本校職員並ニ本科學生ハ必ス本會々員タルモノトス本校ニ學籍ヲ有スルモノハ希望ニヨリ通常會員タルコトヲ得

第5條　本會々費ヲ次ノ如ク定ム

1、通常會員　1ケ年金10圓トシ各學期金5圓ツヽ授業料ト共ニ納入スルモノトス

2、贊助會員　每年協議ノ上一定ノ金額ヲ醵出スルモノトス

通常會員ハ入會ノ際會費ト共ニ入會金5圓ヲ納入スルモノトス

第6條　本會ノ目的ヲ達スルタメニ次ノ部ヲ置ク

1、武道部　柔道、劍道、弓道等

2、運動部　陸上競技、野球、庭球、球技、相撲、ピンポン、水泳、スキー、登山等

3、學藝部　講演、雜誌、音樂等

第7條　本會ニ次ノ役員ヲ置ク

1、會長　1名　本校々長ヲ推戴ス

2、幹事長　1名　生徒監

3、幹事　6名　各科第2學年通常會員ノ互選ニヨリ各科2名宛トス

4、 會計主任　1 名　本校會計課員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
5、 部長各部　1 名　贊助會員中ヨリ每年11月初メ會長之ヲ委囑ス
6、 主事各部　若干名　其ノ部ノ通常會員中ヨリ各部員ノ互選ニヨル

第8條　本會役員ノ掌務次ノ如シ
1、 會長ハ本會ヲ總理ス
2、 幹事長ハ各部ノ統一、一般會計、陸上運動會其ノ他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ監理ス
3、 幹事ハ各部ノ統一、一般會計、陸上運動會其他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ掌ル
4、 會計主任ハ會費徵收及現金保管、支拂ノ事務ヲ掌ル
5、 部長ハ其ノ部ヲ管理ス
6、 主事ハ部務ヲ處理ス

第9條　役員ノ任期及選擧
1、 役員ノ任期ハ11月1日ヨリ翌年10月末日マテ1ケ年トス
2、 役員ハ每年10月ニ於テ改選シ會長ノ承認ヲ經テ決定ス
3、 役員選擧委員ハ現役員全部ヲ以テ組織ス
4、 役員中缺員ヲ生シタル場合ハ投票次點者ヲ以テ之ヲ補ス

第10條　役員會
役員會ハ豫算決定其他ノ重要ト認メタル場合會長之ヲ召集ス
役員會ハ次ノ2種トシ議長ハ幹事長ヲ以テ之ニ充ツ
1、 校友會豫算會
イ、豫算說明會　幹事長、會計主任、幹事、部長及主事ヲ以テ組織ス、各部ノ主事ハ豫算案ヲ提出シテ說明スヘシ
ロ、豫算審議會　幹事長、會計主任、幹事及部長ヲ以テ組織ス
ハ、豫算總會　幹事長、會計主任、幹事部長及主事ヲ以テ組織シ豫算審議會ノ作製シタル豫算案ニ基キ當該年度ノ豫算ヲ議決スルモノトス、但シ議決權ハ部長、幹事ハ各1票、主事ハ武道部、學藝部各部3票、運動部4票トス

ニ、役員總會ハ役員全部ヲ以テ組織シ本會全體ニ關スル事件ヲ決議ス

第11條　贊助會員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第12條　本會々則ノ變更ハ役員3名以上又ハ會員10名以上ノ提案ニヨリ役員總會ヲ開キ出席者ノ$\frac{2}{3}$以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ出席者$\frac{2}{3}$以上ニ充タサル時ハ本會議ヲ開クコトヲ得ス

悠久會規約

第1條　本會ハ長岡高等工業學校職員相互ノ親睦及職員全體ニ關スル交際上ノ便宜ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第2條　本會ハ長岡高等工業學校ニ於ケル雇員以上ノ職員ヲ以テ組織ス

第3條　會員ハ每月各自俸給月額$\frac{1}{100}$ヲ醵金スルモノトス

第4條　本會ニ理事長1名理事若干名ヲ置キ每年4月會員中ヨリ理事長之ヲ委囑ス
理事長ハ本校々長就任ス
理事ハ本會ニ關スル重大ナル事項ヲ商議ス

第5條　本會ニ專務理事2名ヲ置キ各學年每ニ理事ノ互選ニヨリ之ヲ定ム
理事ハ其學期間ニ於ケル諸般ノ會務ヲ處理ス

第6條　本會ハ年1回大會ヲ開ク、但臨時會ヲ開クコトアル可シ

第7條　醵金ヲ支出スヘキ場合左ノ如シ
1、 會合費補助
2、 校友會寄附
3、 會員間ノ慶弔
4、 其他職員全體ノ名義ヲ以テスル支出

第８條　大會ノ費用ハ其都度理事ノ相談ニヨリ決定シ本會積立金中ヨリ支出シ會費ノ不足ノ分ハ出席者平等ニ負擔スヘキモノトス

第９條　會員ニ吉凶ノ事アルトキハ次ノ標準ニヨリ物品又ハ金員ヲ贈呈スルモノトス

結　婚		金 10 圓
出　產(第１子ノ場合ニ限ル)		金 3 圓
會員死亡		金 20 圓以上
會員ノ父母又ハ配遇者死亡		金 10 圓
子女死亡	6 歲 未 滿	金 5 圓
	6 歲 以 上 13 歲 未 滿	金 7 圓
	13 歲 以 上	金 10 圓
會員病氣		其ノ都度相談ニヨル

第10條　會費12ヶ月以上納付セル會員退會セルトキハ在職年數ニ應シ次ノ算出ニヨリ物品又ハ金圓ヲ贈呈スルモノトス

1、　在職１年ニ對シ退會當時ノ俸給$\frac{2}{100}$ニ相當スル金額、但シ最低額ハ金３圓ヲ降ラサルコト

2、　１年ヲ超ユル月端數ハソノ月數ニ比例シテ之ヲ算出シ圓以下ハ四捨五入スルコト

第11條　本會ノ名義ヲ以テシタル贈呈金品ニ對シテハ返禮ヲ受ケサルモノトス

第12條　積立金ノ出納保管ハ本校會計主任ニ委托シ現金ハ銀行ニ預ケ置クモノトス

第13條　積立金ハ一切返付セサルモノトス

第14條　經費ニ不足ヲ生シタル場合ニ於テハ第３條ノ率ニ依リ會員ノ協議ヲ經テ之ヲ追徵スルモノトス

第15條　積立金ハ毎年３月末日收支決算ヲ爲シ之ヲ專務理事ヨリ報告スルモノトス

第16條　本規約ハ會員$\frac{2}{3}$以上ノ同意アル場合ニ改正シ得ルモノトス

氏名索引

氏　名　索　引 (ABC順)

(現舊職員、在學生、卒業生、修業生、退學者等)

氏名ノ右傍電、機、化ノ記號ハ電氣工學科、機械工學科、應用化學科ニシテ例ヘバ機2ハ昭和2年機械工學科卒業者、化ⅢハＨ應用化學科三年在學者、退2ハ昭和2年退學者、職現ハ現在職員、職15ハ大正15年退職者ヲ示ス、其他之ニ準ス

A ノ 部		
Abe-Eisuke	阿部　永介	機 2
Abe-Hironosuke	阿部弘之助	化 Ⅲ
Abe-Itirô	阿部　一郞	機 Ⅲ
Abe-Kiyodi	阿部龜代治	化 Ⅲ
Abe-Kunisada	阿部　國貞	職現
Adati-Sigetarô	安達繁太郞	職現
Aikawa-Sumio	相川　澄雄	機 Ⅲ
Akabe-Hitosi	赤　部　一	職現
Amagai-Kôzi	天谷　廣次	化 Ⅲ
Amaya-Yasuhide	雨谷　泰秀	化 Ⅰ
Andô-Takeyo	安藤　竹代	職現
Aoki-Tyûzô	青木　忠藏	化 2
Aoki-Zyunnosuke	青木順之助	機 Ⅱ
Aoyagi-Heihatirô	青柳平八郞	化 2
Aoyagi-Monsiti	青柳　紋七	電 Ⅲ
Aoyagi-Yûdi	青柳　勇治	化 Ⅱ
Aoyama-Hirosi	青山　浩	機 2
Arai-Tatuo	新井　達雄	機 Ⅱ
Arai-Zen'iti	荒井　善一	電 Ⅰ
Araki-Naozi	荒木　直司	機 Ⅰ
Asakura-Kiyosi	朝倉　潔	化 Ⅰ
Asano-Nagahusa	淺野　長房	職現
Asano-Zirô	淺野　次郞	電 2
Asanuma-Kazuo	淺沼　一夫	化 2
B ノ 部		
Ban-Tunesaku	伴　常作	電 Ⅱ
Beppu-Sigeki	別府　滋樹	機 Ⅰ
Bôzyô-Tadao	坊上　忠雄	電 Ⅰ
Bunazawa-Korenobu	橅澤　是暢	退 2
D ノ 部		
Daikôzi-Masami	大光寺正見	電 Ⅰ
E ノ 部		
Eguti-Kiyomatu	英口喜代松	化 2
H ノ 部		
Hamanaka-Kamezi	濱中　龜次	電 Ⅰ
Hanamura-Sueiti	花村　末市	電 Ⅰ
Hauawa-Yosio	塙　義雄	電 Ⅱ
Hanyû-Isamu	羽入　勇	機 Ⅱ
Hara-Keuzi	原　健二	機 Ⅱ
Hara-Mitio	原　道夫	化 Ⅰ
Hara-Siro	原　四郞	機 Ⅰ
Hasegawa-Kazuo	長谷川一男	機 Ⅱ
Hasegawa-Syunsuke	長谷川俊亮	化 Ⅰ
Hasegawa-Tatuo	長谷川龍雄	職15
Hasegawa-Teruo	長谷川光雄	機 Ⅰ
Hasegawa-Tosio	長谷川俊雄	電 Ⅰ
Hasegawa-Umetarô	長谷川梅太郞	職現
Hasegawa-Yosikatu	長谷川義勝	化 Ⅱ
Hasidate-Takeo	橋立　武夫	電 Ⅰ
Hayahune-Eun	早船　慧雲	職現
Hayasi-Masuitirô	林　陪一郞	化 2
Hayasi-Sigeo	林　茂雄	化 2
Hibi-Yasu	日比　保	電 Ⅰ

Higuti-Takeo	樋口 武雄	職現
Hiramatu-Itirô	平松 一郎	退13
Hiraoka-Munetake	平岡 宗威	職15
Hirata-Kyôhei	平田 喬平	機 2
Hirata-Masao	平田 正夫	化 Ⅱ
Hirata-Yutaka	平田 豐	化 I
Hirayama-Mitio	平山 道男	電 2
Hiroi-Saburô	廣井左武郎	電 2
Hironaka-Hirosi	弘中 廣志	職現
Hirose-Itiro	廣瀬 一郎	機 I
Hirose-Syunzi	廣瀬 俊司	電 I
Hokari-Kanzô	穗刈 監三	化 I
Hokari-Tyûzi	穗苅 忠二	職現
Honma-Kôiti	本間 孝一	電 Ⅱ
Honma-Yusakiti	本間勇佐吉	機 I
Honmô-Tosiie	本望 利家	電 2
Hosino-Atusi	星野 篤	化 I
Hosino-Itiya	星野 一也	機 Ⅱ
Hosino-Motoi	星野 基	電 2
Hosino-Nobuo	星野 信夫	電 Ⅱ
Hosino-Seikiti	星野 誠吉	化 I
Hosogai-Syôzi	細貝 省二	職現
Hosokai-Saburô	細貝 三郎	化 I
Hosoya-Kenzô	細谷 謙三	電 I
Hosoya-Tokuzi	細谷 得二	機 I
Hotta-Keizô	堀田 啓三	機 I
Hudii-Rinzô	藤井 林造	機 Ⅱ
Hudii-Sigeru	藤井 茂	機 I
Hudii-Tahei	藤井多兵衛	化 Ⅱ
Hudita-Sukezirô	藤田助二郎	電 2
Hudita-Teizi	藤田 悌二	電 2
Hukuda-Hideo	福田 秀夫	電 Ⅱ
Hukuda-Tamezô	福田 爲造	職現
Hukusima-Noboru	福島 昇	化 2
Huruiti-Sigeru	古市 茂	機 I
Hurukane-Ziroiti	古金次郎一	職現
Hurukawa-Torao	古川 虎雄	化 2

I ノ 部

Igarasi-Mituru	五十嵐 光	化 Ⅱ
Iguti-Hidekiti	井口 秀吉	化 I
Iguti-Takeo	井口太計夫	職14
Ihi-Yosio	伊比 義雄	化 Ⅱ
Ikai-Eiiti	井海 榮一	化 Ⅱ
Ikarasi-Hirosaku	五十嵐廣作	職現
Ikarasi-Nirô	五十嵐二郎	電 2
Ikeda-Makoto	池田 誠	電 Ⅱ
Imai-Kisuke	今井 喜助	電 I
Imai-Narazô	今井 楢三	職現
Imai-Tosikazu	今井 俊一	化 2
Imai-Wasaburô	今井和三郎	電 I
Imoto-Kwandyû	井本 寛重	機 I
Inada-Humio	稻田 文雄	電 Ⅱ
Inomata-Sôroku	猪股 惣六	職15
Isihara-Hironobu	石原 博陳	機 2
Isikawa-Rokurô	石川 六郎	化 I
Isimura-Yosiyuki	石村 義之	機 I
Isizaka-Sôkiti	石坂 壯吉	電 I
Isizawa-Harusuke	石澤 治亮	職14
Isizawa-Kôzô	石澤 好三	職現
Itagaki-Manabu	板垣 學	機 I
Itô-Keiiti	伊藤 敬一	電 I
Itô-Teidi	伊藤 貞治	職現
Iwamasa-Yasusi	岩政 泰	化 I
Iwasaki-Hirosi	岩崎 浩	退15
Iyama-Sigesaburô	井山重三郎	電 I

K ノ 部

Kabasawa-Yosiharu	椛澤 義治	電 I
Kadimoto-Matuzi	梶本 松次	電 2
Kaidu-Sin'ei	海津 信衛	電 Ⅱ
Kamimura-Seigorô	上村清五郎	化 Ⅱ
Kanayama-Hideo	金山 秀雄	電 Ⅱ
Kanayama-Sirosi	金山 皓	機 I
Kanbe-Tadasi	神戸 正	電 I
Kaneda-Husao	金田 英雄	化 2
Kaneko-Humio	金子 文雄	機 Ⅱ
Kaneko-Makoto	金子 誠	電 I
Kaneko-Sirôdi	金子四郎治	機 I
Kaneko-Syôgorô	金子正五郎	化 2
Kaneyasu-Niitirô	金安仁一郎	化 Ⅱ
Kanie-Hyôiti	蟹江 兵一	機 Ⅱ
Kanzô-Nobuo	神藏 信雄	機 I
Karita-Tôitirô	刈田藤一郎	電 2
Kasahara-Eikiti	笠原 榮吉	職現
Kase-Tasuke	嘉瀬 太資	電 2
Kasima-Syôgo	鹿島 省吾	機 Ⅱ
Kasuga-Tensyô	春日 天生	化 Ⅱ
Kasuga-Tokirô	春日 時郎	化 Ⅱ
Katô-Kaizi	加藤 海兒	機 2
Katô-Yosio	加藤 良男	機 2
Kawakami-Humihiko	川上文彦	死 2
Kawakami-Tomisaku	川上富作	職15
Kawamura-Katuhei	川村 勝平	電 2
Kawamura-Susumu	川村 晋	機 I
Kawase-Yasuo	河瀬 康雄	化 I
Kawasima-Kôhei	川島 康平	電 I
Kimura-Hideo	木村 秀雄	機 I
Kimura-Masayasu	木村 正保	死14
Kimura-Nobuzi	木村 信次	電 I
Kimura-Sigeo	木村 重雄	電 Ⅱ
Kimura-Teizi	木村 貞司	電 2
Kin-Kensyô	金 賢燮	機 I
Kitahara-Tosiaki	北原 利秀	化 I
Kitamura-Kôtoku	北村 孝德	電 Ⅱ
Kitamura-Tomoo	北村 知男	機 I
Kitamura-Zyôkiti	北村 讓吉	化 I
Kizima-Nisaku	木島 仁策	電 I
Kobayasi-Akira	小林 晃	化 I
Kobayasi-Hirosi	小林 博	電 2
Kobayasi-Masabumi	小林 正文	機 2
Kobayasi-Masanao	小林 正直	機 Ⅱ
Kobayasi-Sôsaku	小林 惣作	電 I
Kobayasi-Syuiti	小林 守一	機 I
Kobayasi-Torao	小林 虎雄	機 Ⅱ
Koike-Motozi	小池 元二	化 I
Koike-Sirô	小池 四郎	機 I
Kokubu-Kenzi	國府 健次	職15
Komagata-Ryôsaku	駒形 良作	機 Ⅱ
Kondô-Gorô	近藤 悟郎	機 2
Kondô-Sanzyurô	近藤杉樹郎	職現
Kondô-Seidi	近藤 誠治	機 I
Kondô-Sonosuke	近藤素之助	職現
Kondô-Tiaki	近藤 千秋	機 I
Konisi-Eisitirô	小西榮七郎	電 Ⅱ
Kôbayasi-Ryôsaku	幸林 良作	職現
Kômoto-Masahiko	甲本 正彦	機 I
Kôno-Sintarô	河野新太郎	電 I
Kosuge-Siduo	小菅 靜夫	化 Ⅱ
Kodazima-Tanzi	古田島坦二	化 I
Koyama-Gosaku	小山 吾作	化 I
Koyama-Kenzô	小山 健藏	職現
Kozima-Tadasi	小島 貞	職現
Kozima-Yosinori	兒島 義教	機 I

Kubo-Myôiti	窪 明一	機 II
Kubota-Tosio	久保田俊夫	機 I
Kuduna-Yutaka	久津名 裕	電 I
Kumata-Sadaaki	熊田 貞彰	退14
Kuriyama-Kiyosi	栗山 潔	電 II
Kuroda-Kiyosi	黒田 清	機 2
Kusabiraki-Tatuzi	草開 達二	職現
Kusakabe-Tomizô	日下部富藏	職現
Kusunoki-Minori	楠 三徳	機 I
Kuwabara-Tamizi	桑原 民二	化 2

M ノ 部

Mabuti-Tikakazu	馬淵 親殷	化 II
Maizawa-Atusi	前澤 篤	電 II
Maita-Kazuo	前田 一雄	化 I
Maida-Seiiti	前田 城一	化 I
Makino-Humio	牧野 文男	機 I
Makino-Yasuo	牧野 泰夫	化 II
Makita-Moriomi	槇田 護臣	職現
Manba-Tutomu	萬羽 邁	機 II
Mano-Bunsaku	間野 文作	電 2
Maruta-Tadao	丸田 忠雄	職現
Maruyama-Susumu	丸山 進	電 2
Masui-Tositake	増井 利武	機 I
Matubara-Masaki	松原 正樹	機 II
Matui-Tosio	松井 敏夫	電 II
Matukawa-Kiyosi	松川 潔	電 I
Matukawa-Sin'ya	松川 申也	電 II
Matukura-Tokinosuke	松倉時之助	職現
Matumura-Tatuo	松村 龍雄	職現
Matuo-Haruo	松尾 春雄	化 I
Matutani-Syôzi	松谷 庄次	電 2
Matuura-Ikuzô	松浦 幾造	電 2
Matuzawa-Haruo	松澤 春雄	化 II
Miduki-Isami	水城伊左美	化 II
Mima-Yosihumi	美馬 善文	化 I
Minagawa-Hirosi	皆川 弘	電 2
Minagawa-Kibisi	皆川 嚴	機 II
Minagawa-Tunezi	皆川 恒次	電 I
Minami-Minoru	南 實	化 I
Minami-Moriei	南 森榮	化 II
Minemura-Risuke	峰村 利助	電 II
Misaki-Tatue	三崎 辰衛	化 II
Mitigami-Sigeo	道上 重雄	化 II
Miyahara-Kanamori	宮原 金盛	化 II
Miyasita-Seiiti	宮下 精一	化 2
Miyazaki-Kôzô	宮崎 宏藏	機 2
Mori-Kenzi	盛 健治	電 2
Mori-Masao	森 正雄	機 I
Mori-Suketoki	森 相時	職現
Moritani-Itirô	森谷 一郎	職15
Moriya-Tarô	森谷 太郎	電 2
Moriyama-Hiromu	森山 擴	電 II
Morohasi-Kinzirô	諸橋金次郎	電 I
Morohasi-Yasusi	諸橋 仁	電 I
Motiduki-Yosihumi	望月 美文	化 II
Motoyama-Tadanobu	本山 忠信	電 2
Motoyosi-Masanori	元吉 正文	化 II
Murakami-Kazunobu	村上 一信	化 I
Murakami-Nobuo	村上 信男	退14
Murakami-Tetuo	村上 哲男	機 II
Murata-Sigetami	村田 茂民	電 II
Murayama-Saburô	村山 三郎	電 II
Murayama-Yosio	村上 芳男	機 2
Muroga-Yukio	室賀 幸雄	職現

N ノ 部

Nagai-Katuzi	永井 勝二	機 2

Nagai-Ken'iti	長井 健一	機 II
Nagakura-Eizô	永倉 榮三	電 2
Nagaoka-Bunkiti	長岡 文吉	電 I
Nagasaka-Tetuo	長坂 鐵男	機 2
Nagasawa-Suesiti	長澤 末七	機 I
Nagatani-Kôzô	長谷 康造	化 I
Nakamura-Kiyosi	中村 潔	化 II
Nakamura-Noboru	中村 昇	退14
Nakamura-Takeo	中村 武夫	機 II
Nakano-Kotôda	中野小藤太	機 II
Nakano-Seizi	中野 誠二	職現
Nakano-Yosio	中野 義雄	機 II
Nakanisi-Masatake	中西 正武	機 I
Nakanisi-Yosio	中西 良雄	退 1
Nakasô-Tosinosuke	中曾敏之助	機 2
Nakasono-Susumu	中園 進	職14
Nakatani-Seinosuke	中谷精之助	化 II
Nakayama-Bungo	中山 文吾	機 II
Nakayama-Sakuhei	中山 作平	機 2
Nanba-Ryûiti	難波 隆一	化 2
Nanba-Tunesige	難波 常繁	機 II
Narita-Isao	成田 功	化 II
Narumi-Kurô	成見 久郎	退14
Natui-Tamesige	夏井 爲茂	電 2
Nisiki-Seisaku	西木 晴策	機 II
Nisimura-Terue	西村 輝惠	職14
Nisiyama-Nisaburô	西山二三郎	電 II
Nisiyama-Syôgorô	西山正五郎	電 I
Nisizawa-Heiitirô	西澤平一郎	電 II
Nisizawa-Kurô	西澤 九郎	電 I
Nogami-Nobuyuki	野上 信行	化 2
Nomoto-Matusiti	野本 松七	電 II
Nonaka-Isamu	野中 勇	電 I

O ノ 部

Oda-Seizi	小田 正二	電 II
Oda-Syôroku	小田 荘六	電 II
Oda-Tokunosuke	小田德之助	電 II
Odaka-Masazi	高尾 雅次	職現
Ogawa-Kendi	小川 賢治	機 2
Ogawa-Tamotu	小川 保	退15
Ogino-Katunami	荻野 勝波	機 II
Oguma-Mineo	小熊三千夫	電 I
Oguri-Yosimasa	小栗 義全	機 I
Oka-Kunio	岡 九二男	機 II
Oka-Syôgorô	岡 正午郎	電 II
Okabe-Kinzi	岡部 欽二	職現
Okamoto-Usio	岡本 丑雄	化 I
Okamura-Ken	岡村 憲	機 I
Okamura-Kenzô	岡村 謙藏	電 I
Okui-Yosie	奥井 義衛	機 2
Oniki-Kizô	鬼木 喜藏	機 I
Ono-Nobukazu	小野 信紀	化 I
Onoyama-Sinpei	小野山辛平	化 II
Onuma-Disaku	小沼 治作	化 II
Ôhara-Kôzirô	大原孝次郎	職現
Ôi-Kitizô	大井 吉藏	化 II
Ôkubo-Tôru	大久保 透	機 I
Ômiya-Syunzi	大宮 俊二	化 II
Ômura-Masaya	大村 正也	電 I
Ônisi-Syûiti	大西 周一	化 II
Ôsaki-Tadao	大崎 忠男	機 II
Ôsawa-Tosikatu	大澤 利克	化 I
Ôsima-Kenzô	大島 健三	電 II
Ôsima-Zenkiti	大島 善吉	機 2
Ôta-Nobusige	太田 信重	機 II
Ôta-Syôzaburô	太田昇三郎	機 II

Ôti-Hirosi	大智　浩	電 I
Ôtuka-Tamekiti	大塚　爲吉	電 Ⅱ
Ôwada-Moritane	大和田盛胤	電 I
Ôwan-Seizin	大灣　政仁	化 I
Ôya-Hirokazu	大矢　廣魁	機 I
Ôyama-Tosio	大山　利雄	化 I
Otiai-Isamu	落合　勇	電 I
Oyama-Masahiko	尾山　正彦	化 I
Ozaki-Tomoo	尾崎　友夫	機 I
S ノ 部		
Saitô-Hideo	齋藤　英夫	化 Ⅱ
Saitô-Hirokuni	齋藤　博邦	化 Ⅱ
Saitô-Kin'iti	齋藤　金一	電 2
Saitô-Tadasi	齋藤　征	電 I
Saitô-Teidirô	齋藤貞治郎	機 I
Saitô-Teiiti	齋藤　貞一	機 I
Saitô-Torao	齋藤　虎雄	職現
Saitô-Yû	齋藤　勇	電 I
Sakabe-Sigetosi	阪部　重壽	職15
Sakadume-Kôzô	坂爪　幸三	化 Ⅱ
Sakai-Masao	阪井　政夫	機 Ⅱ
Sakai-Monzaemon	酒井間左エ門	電 I
Sakai-Syôiti	堺　省一	電 I
Sakurai-Masao	櫻井　正男	退15
Sakurai-Sin'itirô	櫻井新一郎	電 I
Sakurazawa-Kwanpei	櫻澤貫平	化 2
Sanemasa-Yosiharu	實政　義治	機 Ⅱ
Sano-Tamotu	佐野　保	電 2
Satô-Hideo	佐藤　秀男	電 I
Satô-Kiiti	佐藤　喜市	化 2
Satô-Ryôzi	佐藤　亮二	機 2
Satô-Seiiti	佐藤　精一	職現
Satô-Sirô	佐藤　四郎	退 2

Satô-Susumu	佐藤　晋	電 I
Satô-Syôdirô	佐藤正治郎	死15
Satô-Tetuzi	佐藤　鐵次	化 I
Satô-Tomizirô	佐藤富二郎	機 I
Satô-Tosiko	佐藤　敏子	職15
Satô-Yosirô	佐藤　義郎	化 I
Satô-Yukio	佐藤　行雄	退14
Segawa-Hidesato	瀬川　英敏	化 I
Seki-Kanae	關　香苗	電 I
Sekiguti-Masadi	關口　政治	機 I
Sekikawa-Kôtarô	關川浩太郎	電 2
Sekikawa-Seiiti	關川　精一	電 2
Sibata-Itirô	新發田一郎	退 2
Sibata-Yûzaburô	柴田雄三郎	職現
Simadu-Syûdi	島津　秋治	機 I
Simaoka-Heizô	島岡　平藏	機 Ⅱ
Simidu-Iesuke	清水　家助	職現
Simidu-Moriiti	清水　守市	職現
Simota-Sinzi	下田　信次	機 Ⅱ
Sinzawa-Yosio	新澤　義夫	機 I
Siobara-Kazuo	鹽原　一夫	死15
Siodu-Tosihei	鹽津　敏平	化 I
Sirai-Seidi	白井　清次	機 I
Sirai-Takesi	白井　武	電 Ⅱ
Sirane-Yurio	白根百合雄	化 I
Sugai-gorô	須貝　五郎	機 Ⅱ
Sugiura-Rikiti	杉浦　利吉	電 I
Sunaga-Hideya	須永　秀彌	職現
Suzuki-Iwao	鈴木　岩雄	電 Ⅱ
Suzuki-Kakuo	鈴木　格雄	職現
Suzuki-Kuraitirô	鈴木倉市郎	化 2
T ノ 部		
Tago-Teisuke	多胡　悌介	機 I

Takagi-Masao	高木　昌雄	職現
Takagi-Sueo	高木　末雄	電 I
Takahasi-Ataru	高橋　中	化 2
Takahasi-Seimatu	高橋　清松	電 I
Takahasi-Sôhatirô	高橋莊八郎	化 2
Takahasi-Tokusaburô	高橋德三郎	機 Ⅱ
Takahasi-Tunezi	高橋　恒次	電 Ⅱ
Takahasi-Yosio	高橋　芳雄	電 I
Takai-Sinsuke	高井　進介	機 Ⅱ
Takano-Hideo	高野日出男	機 I
Takano-Masuo	高野　益夫	化 I
Takatu-Tomisiti	高津　富七	化 I
Takayanagi-Susumu	高柳　進	化 I
Takasawa-Zyûzaburô	高澤十三郎	職現
Takeda-Etuzirô	武田悦次郎	職現
Takeisi-Tôzi	武石　逗治	電 2
Takeuti-Sanai	竹内　左内	職現
Takeuti-Syôzi	竹内　昇司	電 I
Takeuti-Takesi	武内　武司	機 Ⅱ
Takeuti-Tutomu	竹内　功	電 2
Takinami-Torazô	瀧波　虎造	退14
Takizawa-Seita	瀧澤　清太	化 I
Tamai-Kameo	玉井　龜雄	職現
Tamino-Yasuzi	民野　安二	化 I
Tanabe-Denzô	田邊　傳三	機 Ⅱ
Tanaka-Hideo	田中　秀雄	電 I
Tanaka-Kôhei	田中　康平	電 2
Tanaka-Teturô	田中　哲郎	化 Ⅱ
Tanaka-Tokuo	田中外久男	退15
Tanaka-Yosio	田中　芳夫	電 I
Taneoka-Kunitake	種岡　國威	電 I
Tanimoto-Yosiyasu	谷本　賀安	職13
Taniuti-Tyûtarô	谷内忠太郎	電 Ⅱ

Tatara-Sigeo	多田羅繁雄	電 I
Tatezaki-Yosisada	館崎　美定	職13
Tatibana-Yaiti	橘　彌一	機 I
Tatiiri-Minoru	建入　實	電 I
Tatikawa-Masazi	太刀川正二	電 Ⅱ
Teduka-Setuzi	手塚　節次	化 2
Tikaraisi-Masumi	力石　誠身	機 2
Tobinaga-Zindi	飛永　甚治	職現
Toda-Kinsaku	戸田　勤作	機 I
Togawa-Nobuzi	外川　信次	化 Ⅱ
Tokida-Susumu	常田　龜	化 2
Tomita-Takeo	富田　武雄	化 I
Toya-Syûkiti	戸谷　周吉	電 I
Toyosima-Kiiti	豐島　毅一	機 I
Tuboya-Zenzaburô	坪谷善三郎	電 I
Tuda-Sirô	津田　四郎	機 I
Tuda-Tadasuke	津田　忠助	機 I
Tuda-Yosibumi	津田　吉文	職現
Tukamoto-Takeo	塚本　武夫	電 2
Tukano-Ikusa	塚野　軍	電 I
Tutida-Sigesi	土田　繁	機 Ⅱ
Tutida-Susumu	土田　進	化 2
Tutida-Takesi	土田　武	化 2
Tutikawa-Kôhu	土川　孝生	化 I
Tutiya-Masaaki	土屋　正哲	職現
Tutiya-Mitituna	土屋　通綱	機 I
U ノ 部		
Ubue-Uekiti	產江　植吉	職現
Uehara-Kiyozô	上原喜代藏	機 I
Uehara-Zenzirô	上原善二郎	電 I
Uemura-Hideo	植村　英夫	化 2
Uno-Sigeta	宇野　茂太	職現
Uranisi-Siduoki	浦西　賤起	電 I

Usakura-Dyôzirô	臼倉錠次郎	職現
Utida-Muneyosi	內田　宗義	職現
Utiyama-Takeo	內山　武夫	化 II
Utugi-Sin	宇津木　信	機 II
W ノ 部		
Wada-Hidemaro	和田秀麻呂	化 I
Wakui-Yosio	涌井　義雄	死 14
Wasida-Zirô	鷲田　二郎	機 I
Wasio-Seidi	鷲尾　靜治	電 II
Watanabe-Hideo	渡邊　秀男	電 III
Watanabe-Masao	渡部　政雄	化 II
Watanabe-Sigetake	渡邊　重武	機 II
Y ノ 部		
Yamada-Teikiti	山田　貞吉	化 III
Yamagisi-Akinori	山岸　明德	化 III
Yamaguti-Hirosi	山口　宏	電 II
Yamaguti-Masamori	山口　正盛	電 III
Yamaguti-Sirô	山口　四郎	職現
Yamaguti-Yasusi	山口　恭	機 I
Yamaki-Hukumatu	山木　福松	職 15
Yamamoto-Sôtarô	山本荘太郎	電 2
Yamamoto-Yasugorô	山本康五郎	化 II
Yamamoto-Humio	山下　文雄	電 II
Yamazaki-Kenzi	山崎　憲司	化 II
Yamazaki-Kwanzô	山崎　貫三	職現
Yamazaki-Saturô	山崎　節郎	機 I
Yanase-Sigetosi	柳瀨　茂敏	電 I
Yatida-Takeo	谷內田武雄	化 III
Yazima-Makoto	矢島　眞	化 III
Yazima-Sikihu	矢島　式部	機 II
Yoden-Kidyû	余田　喜重	機 2
Yokokawa-Sirô	橫川　四郎	退 15
Yokoyama-Risaku	橫山　利策	化 II
Yonai-Kotarô	米內小太郎	機 II
Yosida-Hirosi	吉田　博	化 III
Yosida-Seidi	吉田　清治	化 I
Yosida-Yosiharu	吉田　義治	電 II
Yosida-Yutaka	吉田　豐	電 II
Yosikawa-Yosio	吉川　吉夫	電 I
Yosikosi Seidi	吉越　清治	機 2
Yosioka-Kazuo	吉岡　一雄	電 2
Yosimura-Seizirô	吉村清次郎	電 III
Yumoto-Masatosi	湯本　應利	化 III
Z ノ 部		
Zinbo-Kaoru	神保　馨	電 I

昭和2年10月25日印刷
昭和2年10月30日發行

編輯兼發行所　長岡高等工業學校

新潟市東中通二
印刷者　青木信次郎

新潟市東中通二
印刷所　青木印刷所
電話一三一九番

파 5M25